

第四十五回 貴族院議事速記録第二十一號

帝國議會

大正十二年三月十日(土曜日)

午前十時十五分開議

議事日程 第二十一號 大正十二年三月十日

午前十時開議

第一 競馬法案(政府提出)

(衆議院送付)

第二 大正十年度豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

(衆議院送付)

第三 大正十年度特別會計豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

(衆議院送付)

第四 大正十年度豫備金外ニ於テ豫算超過支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

(衆議院送付)

第五 大正五年法律第十六號中改正法律案(政府提出)

(衆議院送付)

第六 日本勸業銀行法中改正法律案(政府提出)

(衆議院送付)

第七 農工銀行法中改正法律案(政府提出)

(衆議院送付)

第八 北海道拓殖銀行法中改正法律案(政府提出)

(衆議院送付)

第九 日本興業銀行法中改正法律案(政府提出)

(衆議院送付)

第十 辯護士法中改正法律案(衆議院提出)

(衆議院送付)

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致セマス

〔瀬古書記官朗讀〕

一昨八日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決

ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

大學特別會計法中改正法律案

大正八年法律第十二號中改正法律案

同日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日之ヲ衆議院ニ送付セリ

共通法中改正法律案

同日内閣總理大臣ヨリ左ノ通政府委員仰付ケラレタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

司法省所管事務政府委員

司法省參事官 長島毅君

農商務省所管事務政府委員

農商務書記官 石黒忠篤君

外務省所管事務政府委員

外務書記官 東郷茂徳君

同日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

陪審法案特別委員會

委員長 公爵二條厚基君

副委員長 河村讓三郎君

中央卸賣市場法案特別委員會

委員長 伯爵吉井幸藏君

副委員長 高橋琢也君

同日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

朝鮮事業公債法中改正法律案可決報告書

臺灣事業公債法中改正法律案可決報告書

樺太事業公債法中改正法律案可決報告書

同日衆議院ヨリ本院ノ送付ニ係ル左ノ政府提出案ハ本院ノ議決ニ同意シ奏

上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

醫師法中改正法律案

同日衆議院ヨリ左ノ法律案ヲ提出セリ

辯護士法中改正法律案

昨九日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

瓦斯事業法案特別委員會

委員長 子爵大河内正敏君

副委員長 男爵中島久萬吉君

同日請願委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

請願委員會特別報告第三號

競馬法案

大正十年度豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

大正十年度特別會計豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

大正十年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、日程第一、競馬法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

〔左ノ通牒文及議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス以下之ニ徵フ〕

### 競馬法案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正十二年三月九日

衆議院議長 索谷 義三

貴族院議長公爵徳川家達殿

### 競馬法案

#### 競馬法

第一條 馬ノ改良増殖及馬事思想ノ普及ヲ圖ルコトヲ目的トスル民法第三十四條ノ法人ニシテ主務大臣ノ認可ヲ受ケタルモノハ本法ニ依ル競馬ヲ行フコトヲ得

第二條 年三回以上競馬ヲ開催セムトスルトキハ主務大臣ノ許可ヲ受クヘシ

第三條 競馬開催ノ期間ハ毎回四日内トス

第四條 第一條ノ法人ハ入場者ヨリ入場料ヲ徵收スヘシ但シ主務大臣ノ認可ヲ受ケ無料入場者ト定メタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第五條 第一條ノ法人ハ入場者ニ對シ券面金額五圓以上二十圓以下ノ勝馬投票券ヲ券面金額ヲ以テ發賣スルコトヲ得

第六條 學生生徒又ハ未成年者ニ對シ勝馬投票券ヲ發賣スルコトヲ得ス當該競馬ヲ開催スル第一條ノ法人ノ役員又ハ當該競馬ニ關スル開催執務委員、調教師、騎手、馬丁其ノ他競馬ノ事務ニ從事スル者ニ對シ亦前項ニ同シ

第六條 第一條ノ法人ハ勝馬投票的中者ニ對シ命令ノ定ムル所ニ依リ當該競走ニ付テノ勝馬投票券ノ賣得金ノ額ヲ超エナル範圍内ニ於テ拂戻金ヲ交付スルモノトス但シ其ノ金額ハ勝馬投票券ノ券面金額ノ十倍ヲ超ユルコトヲ得ス

第七條 入場料ノ金額、勝馬投票券ノ券面金額及發賣方法並前條ノ拂戻金ノ支給方法ニ付テハ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第八條 勝馬投票券ヲ發賣シタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ賣得金ノ額ノ百分ノ一以内ニ相當スル金額ヲ政府ニ納付スヘシ

前項ノ規定ニ依ル納付金ハ國稅滞納處分ノ例ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得但シ先取特權ノ順位ハ國稅ニ次クモノトス

第九條 主務大臣ハ第一條ノ法人ニ對シ馬ノ改良増殖及馬事思想ノ普及ノ爲必要ナル施設ヲ命スルコトヲ得

第十條 第一條ノ法人ハ豫算ヲ定メ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第一條ノ法人ハ毎事業年度終了後三月内ニ主務大臣ニ決算報告ヲ爲スヘシ

第十一條 第一條ノ法人ノ理事及監事ノ就任ハ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第十二條 主務大臣ハ公益上必要アリト認ムルトキハ第一條ノ法人ノ定款其ノ他ノ規則ノ改正ヲ命シ又ハ其ノ總會ノ決議ヲ取消スルコトヲ得

第十三條 主務大臣ハ第一條ノ法人又ハ其ノ役員ノ行爲カ法令若ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキ又ハ公益ヲ害スト認ムルトキハ左ノ處分ヲ爲スルコトヲ得

第一 競馬ノ停止

二 勝馬投票券發賣ノ停止又ハ制限

三 役員ノ解任

第十四條 左ノ各號ノ一二該當スル者ハ三年以下ノ懲役又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第一條ノ法人ニ非スシテ勝馬投票券ヲ發賣シタル者

二 第十三條第二號ノ停止又ハ制限ニ違反シテ勝馬投票券ヲ發賣シタル

第十五條 左ノ各號ノ一二該當スル者ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス  
一 第四條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依ル制限ニ違反シテ勝馬投票券ヲ

發賣シタル者

二 第五條ノ規定ニ違反シタル者

三 第五條第二項ニ掲タル者ニシテ勝馬投票券ヲ購買シタルモノ

四 第六條ノ規定ニ依ル制限ニ違反シテ拂戻金ヲ交付シタル者

五 第七條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタルニ非ナル券面金額ノ勝馬投票券

ヲ發賣シタル者

第十六條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ二百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一 第一條ノ法人ニ非スシテ勝馬投票券ヲ發賣スル者ヨリ又ハ第十三條

第二號ノ停止若ハ制限ニ違反シテ勝馬投票券ヲ發賣スル者ヨリ勝馬投

票券ヲ購買シタル者

二 第四條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依ル制限ニ違反シテ勝馬投票券ヲ

購買シタル者

三 勝馬投票券ヲ讓渡シ又ハ讓受ケタル者

四 第六條ノ規定ニ依ル制限ニ違反シタル拂戻金ノ交付ヲ受ケタル者

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔國務大臣山梨半造君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(山梨半造君) 競馬法ニ付キマシテ概略説明申上ゲマス、帝國產馬ノ現況ヲ見マスルノニ、從來政府ノ努力イタシマシタ所ノ保護獎勵ニ依リマシテ、馬匹ノ資質ハ漸次改良セラレマシタガ、未ダ尙ホ其所望ノ點ニ達セヌ所ガ多イノデアリマス、殊ニ國內ニ於ケル馬數ハ比年減少ノ傾向ヲ示シタルノミナラズ、產馬經濟ノ事情モ亦年ト共ニ困難ニ陥ル景況ガアルノデアリマス、ソレニ今回又軍備整理ノ結果トシテ、軍馬ノ購買數ニ減少ヲ來タシテ、是ガ爲ニ地方產馬事業ニ與ヘラレタル所ノ影響ハ、渺シトセヌノデアリマス、デ此趨勢ヲ以テ推移イタシマシタナラバ、國防上並ニ產業上頗ル憂慮スベキ事態ヲ生ズルヤウニナルカノ虞ガアルノデアリマス、ソレデアリマス、即チ競馬ノ振興ヲ策シマシテ、之ニ依リマシテ國民ノ馬ニ關スル思想ヲ振起イタシ、馬ノ改良増殖ニ強キ根柢ヲ與フルト云フコトハ、此間ニ處シテ極メテ有效ナル一手段ト信ジタ次第デアリマス、ソレガ爲ニ茲ニ競馬法ヲ

制定イタサウト考ヘタ次第デアリマス、デ我國ニ於ケル競馬ノ履歴ニ關シマシテハ、皆様ノ夙ニ知悉セラル所ノ次第デアリマシテ、ソレガ爲ニ此提出セラレタル所ノ法案ニ於キマシテハ、其風教上ニ及ボス影響ヲ局限スル爲ニ多大ノ注意ヲ拂ヒマシテ、以テ多年物議ヲ醸シタルヤウナ事態ヲ再ビ發セシメヌコトヲ期シタ次第デアリマス、ドウゾ御審議ノ上御協賛アラムコトヲ切望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ通告順ニ依リマシテ質疑ヲ許シマス、湯淺倉平君

〔湯淺倉平君演壇ニ登ル〕

○湯淺倉平君 私ハ大正八年ニ馬政委員ノ官制ガ定メラレマシテ以來、馬政委員ヲ命ゼラレマシテ居ル者デゴザイマス、政府ガ馬政委員會ヲ設ケラレマシタ趣旨ヲ推シ量リマスルト、今日唯今議題ニ上リマシタ所ノ競馬法ノ制定ヲ以テ其眼目トセラレテ居ツタモノト存ズルノデアリマス、此馬政委員會ニハ馬政ニ關スルコトハ細大トナク、諮詢ヲ致サレテ居ツタノデゴザイマス、然ルニ如何ナル都合デゴザイマスルカ、唯今議題トナツテ居ル法案ニ付キマシテハ、馬政委員會ニハ諮詢ガナカッタノデアリマス、ソレ故ニ馬政委員一人デアリマスルニ拘ハリマセズ、此法案ニ付キマシテ政府ニ對シテ質疑ヲ致サナケレバナラヌノヲ遺憾トスル者デゴザイマス、明治四十年前後ニ競馬ノ流行ガ非常ニ盛ニナリマシテ、明治四十一年頃ニハ其絶頂ニ達シタノデアリマス、然ルニ是ハ弊害ノ甚ダシカッタト云フ事實ニ鑑ミマシテ、政府ハ英斷ヲ以テ之ヲ御禁止ニナツタノデアリマス、爾來今日ニ至ルマデ屢々内閣ノ更迭ガアリマシタニ拘ハラズ、何レノ内閣モ競馬法案ヲ制定スルト云フコトニアル、斯様ナ見地ニ基イタモノデアラウト察スルノデアリマス、競馬ニ伴フテ躊躇ヲサレタノデアリマス、思フニ競馬法案ヲ制定シテ、馬券ノ發賣ヲ許スト云フコトハ賭博ノ禁ヲ解クノデアル、國民ノ風紀ヲ墮落セシムル所以デアル、斯様ナ見地ニ基イタモノデアラウト察スルノデアリマス、競馬ニ伴フ所ノ馬券ノ發賣ト云フコトニ付キマシテハ思フニ種々ノ見解ノアルコトハ考ヘマスガ、私ノ當局ニ伺ハムトスルノハ此法案ニ定メマシタル方法ニ依リマシテモ是ハ刑法ニ云フ所ノ賭博罪ノ一部ヲ公ニ許スト云フコトニナルデアラウト考ヘルノデアリマス、言葉ヲ換ヘテ申シマスルト、國民ノ風紀ノ頽廢考ヘマスガ、私ノ當局ニ伺ハムトスルノハ此法案ニ定メマシタル方法ニ依リ勿論、尙ホ進ンデ茲ニ一新生面ヲ開クノ緊要ナルコトヲ認メマシタノデアリマス、即チ競馬ノ振興ヲ策シマシテ、之ニ依リマシテ國民ノ馬ニ關スル思想ヲ振起イタシ、馬ノ改良増殖ニ強キ根柢ヲ與フルト云フコトハ、此間ニ處シテ極メテ有效ナル一手段ト信ジタ次第デアリマス、ソレガ爲ニ茲ニ競馬法ヲ

ノガ第一點デアリマス、次ニハ競馬ヲ許シ、馬券ノ發賣ヲ許スト云フコトニ依ラナケレバ、馬匹ノ改良増殖ヲ圖ル途ガ絶對ニナイノデアルカ否ヤト云フ點デアリマス、政府ハ明治四十一年ニ馬券ノ發賣ヲ禁止セラレマシテ以來、競馬俱樂部ニ對スル獎勵金ヲ下附セラレテ、今日ニ及ンデ居ルノデアリマス、之ニ從ツテ爾來各地ニ存在シテ居ル所ノ競馬俱樂部ナルモノハ其命脈ヲ保ツテ參ツテ居ルノデアリマス、然ルニ何故デアリマスルカ、政府ハ最近ニ至ツテ競馬俱樂部ニ與ヘル所ノ賞金ヲ減ジテ居ラレマス、又地方ニアリマスル所ノ競馬ニ對シマシテモ、獎勵金ヲ減ジテ居ルノデアリマス、政府ガ馬匹ノ改良増殖、馬事思想ノ發達ヲ企圖スルト云フコトデアリマスルナラバ、斯ノ如キモノニ對シテハ獎勵金ヲ財政ノ許ス限リニ於テ增加スル、競馬ノ賞金ヲ増スト云フコトガ當然デナケレバナラスト斯ウ心得ルノデアリマス、又馬政委員會ノ決議ヲ以チマシテ政府ニ之ガ實行ヲ促シテ居ルニモ拘ラズ政府ハ之ヲ減額イタサレテ居ルノデアリマス、是等ノ競馬俱樂部及ビ地方ニ行ハレル所ノ競馬ニ對シテ賞金ヲ增額スルト云フガ如キ方法ハ、馬券ノ發賣ニ代ユルニ穩健適法ナ手段ニ依ツテ馬匹ノ改良増殖、馬事思想ノ普及ヲ圖ル所以ノ途デハナイノデアリマセウカ、又大正八年ノ物價ノ最高イ時ニ於キマシテ現在ノ競馬俱樂部ヲ存續セシメ相當ノ効キヲナサセルニ付テドレダケノ金ヲ交付シタナラバ宜シイカト云フ政府ノ見積リニ依リマスルト、約二百萬圓ノ金ヲ以テスレバ足リルト云フコトデアラタノデアリマス、今日ハ一般行政整理ノ聲ノ高イ折柄デアリマスルガ、二百萬圓位ナ少額ナ金ヲ以テ競馬ノ獎勵ヲ致スト云フコトガ出來マスルナラバ、一般國民ノ風紀ノ墮墜ノ原因トナヘルノデアリマス、試ニ十數億ノ一般豫算ノ中ニ付テ考ヘマスルト、少額デハルベキ所ノ馬券ノ發賣ヲ公許セズニ、之ニ代ユルニ今日ノ競馬俱樂部ニ對シテ相當ノ獎勵金ヲ増額スル、此財源ヲ求メルノハ必シモ難事デアルマイト考へルベキ所ノアリマス、其實例ヲ求メテ見マスルト、農商務ノ所管アリマスケレドモ、若シ國防上馬匹改良増殖ト云フコトガ極メテ喫緊ナコトデアリト致シマスルナラバ、ソレヨリモ尙ホ必要ノ程度ノ輕シトスルモノヲ發見スルニ苦マヌノデアリマス、其實例ヲ求メテ見マスルト、農商務ノ所管ニ於キマシテ等シク畜產ノ獎勵デハアリマスルガ、繩羊ノ獎勵ト云フガ如キ百萬圓ノ金額ノ計上ガアルノデアリマス、私ハ繩羊ノ獎勵ヲ以テ必シモ不用ノ費用ナリト斷言スル者デハアリマセヌ、併ナガラ彼ヲ以テ此ニ較ベマスルナラバ、緩急自ラ相違ガアリハシナイカト思フノデアリマス、斯ノ如キ費用

ヲ國防上ノ必要ニ振向ケルト云フコトハ、必シモ不當ナ事デハアルマイト考ヘルノデアリマス、其他御承知ノ通り各省ニ瓦ツテ數十ノ調査會ト云フガ如キモノガ設ケラレテ居ルノデアリマス、馬政委員會ノ如キモ、即チ其一ツデアリマス、然ルニ是等ノ調査會ノ或ルモノハ多クハ殆ド開會ヲ見ナイモノガアリマス、或ハ僅ニ一年三回開カレルト云フヤウナモノモアルノデアリマス、現ニ馬政委員會ノ如キモ昨年ハ議會ノ末期最モ議院ノ多忙ヲ極メテ居ル折ニ突如トシテ僅カニ一回ノ開會ヲ見タノミデアリマス、本年亦同様デアリマス、斯様ナ種類ノ調査會ガ澤山アルノデアリマス、斯ノ如キモノノ經費モ亦繫切己ムヲ得ザルモノトハ認メルコトガ出來ナイノデアリマス、凡ソ此種類ノモノヲ一般歲計ニ付テ拾ヒ上ゲマスルナラバ、二百萬圓位ナ少額ノ金ヲ捻出スルコトハ極メテ容易ナ事デアルト考ヘルノデアリマス、然ルニ政府ハ此手數ニ出デラレナイノデアリマス、又本案ヲ假ニ實行イタスト致シマスレバ、一般ノ馬ノ值ヲ騰貴セシムルト云フコトハ論ノナイコトデアルト考ヘルノデアリマス、之ヲ明治四十年カラ四十一年ノ當時ニ顧ミマスルト、其時ニ於キマシテ競馬ノ流行スル當時ニ、馬ノ價格ハ殆ド五割ヲ高メテ居ルノデアリマス、是カラ推シマスルト競馬法案、競馬法ヲ制定シ馬券ノ發賣ヲ許スコトニナリマスレバ、年々陸軍ガ軍馬トシテ購入スベキモノ約四千頭、是ノ一頭ノ價格ガ二百圓位騰ルト云フ類推ガ出來ルノデアリマス、果シテ然ラバ陸軍ノ軍馬購買價格ニ於テ八十萬圓ノ支出ヲ多クスルト云フコトヲ豫期シナケナリマスレバ、年々陸軍ガ軍馬トシテ購入スベキモノ約四千頭、是ノ一頭ノ價格ガ二百圓位騰ルト云フ類推ガ出來ルノデアリマス、斯ノ如キ方法ニ依リマセズニ適法穩當ノ手段ヲ盡シマシテモ十分ニ馬匹ノ改良増殖ヲ圖ル餘地ガアリハシナイカト云フ點ヲ疑フノデアリマス、之ニ付キマシテ當局ノ所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス、第三ニハ本案ハ誠ニ馬券ノ發賣ヲ許スモノト致シマシテハ、極メテ微溫的ナモノデアルト思フノデアリマス、馬券ノ發行ヲ熱望シテ居リマスル所ノ競馬俱樂部ニ關係ノアル人々或ハ馬ヲ生産スル所ノ地方ノ人ニハ此法案ノ規定ガ厲行セラレルモノト致シマシタナラバ之ヲ以テ甘ンズルモノデハナイト考ヘルノデアリマス、ソレデ此案ハ誠ニ法案自體カラ見マスレバ、極メテ微温的ノモノデアル、政府ハ之ニ依ツテ馬券發賣ノ弊害ヲ局限スルト唱ヘラレテ居ルモノデアリマス、併ナガラ馬券發賣ニ伴フ所ノ弊害ヲ局限イタシマスルトスルト致シマスルナラバ、其效果ハ又甚ダ薄弱ナモノデアル、之ニ依ツ

故ニ此法案ガ一度刑法ノ賭博ノ禁ヲ解除スルト云フコトニナリマシタ曉ニハ、次イデ起ル所ノ要求ハ、必ズヤ此制限ヲ緩和スルト云フコトニアルコトハ、今ヨリ豫見スルニ難カラナイコトデアルト思フノデアリマス、人情既ニ隴ヲ得テ蜀ヲ望ムト云フコトハ免レナイコトデアルト思フノデアリマス、殊ニ速記録ノ配付ヲ受ケマセヌ爲ニ、マダ事ノ眞偽ハ確保イタシマセヌケレドモ、衆議院ニ於テ陸軍次官ハ現在本會ノ競馬俱樂部以外ニ引續イテ、近キ將來ニ多數ノ競馬法人ヲ許可スル見込デアルト云フ御答辯ニナッテ居ルヤニ承ルノデアリマス、果シテサウデアルト致シマスルナラバ、本案ハ即チ其倂ヲ作ルモノデアルト思フノデアリマスガ、政府ノ所見ハ如何デアリマセウ、即チ一方ニ於テハ此法案ヲ段々ト緩メル、此法案ノ制限ヲ緩メル、續イテハ現存シテ居ル競馬俱樂部以外ニ、多數ノ競馬團體ヲ許スト云フコトノ弊ニ陥ル虞ハ無イノデアリマセウカ、如何デアリマスカ、政府ノ所見ヲ伺ヒタイノデアリマス、第四ニハ競馬ナルモノハ一般ノ馬ノ生産ヲ、競馬馬ヲ作り出スコトニ偏セシメル虞ハ無イノデアリマセウカ、即チ耕作用ニ用キル所ノ馬ヲ作ルノ馬產家ノ喜バザル所デアル、又輓馬ヲ作出スト云フコトハ、馬產家ノ望マザル所トナル虞ハ無イノデアリマセウカ、競馬馬ニナリマスレバ、其價格ガ極メテ高イ、高イ所ノモノヲ生産スルト云フコトハ當然ノ結果デアルト考ヘルノデアリマス、若シ馬產地方ニ於キマシテ農耕用ノ馬ノ生産ヲ輕ンジル、或ハ又輓馬ノ生産ヲ怠ルト云フコトニナリマスレバ、其結果ハ一方ニ於キマシテハ競馬用ノ馬、或ハ乘馬ノ增加ヲ見マスルト同時ニ、農業一途ニ用キル所ノ馬、或ハ荷車ヲ輓ク所ノ馬ト云フヤウナモノノ生産ヲ減ズル、斯様ナ結果ニナリハシナインデアリマスルノヲ、更ニ五十餘萬頭ヲ増シテ二百萬頭ノ十萬頭ニ足ラナイ數デアリマスルノヲ、更ニ五百餘萬頭ヲ增シテ二百萬頭ノ馬四ノ現存ヲ理想ト致シテ居ラル、ヤウデアリマスガ、一面ニ於テ競馬用ノ馬ヲ増シ、他方ニ於テハ輓馬、耕馬ノ數ヲ減ズルト云フ結果ニナリハ致サナイノデアリマセウカ、或ハ政府ハ輓馬ノ如キモノモ亦農耕用ニ用キル所ノ馬モ矢張リ競馬ニ依ツテ改良セラル、ノデアル、競馬ニ依ツテ優良ナ馬ノ血ヲ農耕ニ用キル所ノ馬ニ混ヘル必要ガアル、斯様ナコトヲ申サレルノデアリマスガ、果シテ然リト致シマシタナラバ、農民ノ使フ所ノ耕作用ノ馬、或ハ荷車ヲ輓ク所ノ荷馬車ノ馬ガ、優良ナル馬ノ血ヲ受ケマシタ結果、其價格ガ騰貴スルノミナラズ、其飼養ガ極メテ困難ニナル、又管理ニ於キマシテモ、同様

因難ニナルコト考ヘルノデアリマス、斯様ナ虞ハ無イノデアリマセウカ、第五ニハ競馬ノ際ニ於キマシテ往々番狂ハセト云フモノガアルコトハ御承知ノ通リデアリマス、優秀ナル馬ガ競馬ニ於キマシテ優等ノ結果ヲ現ハスト云フコトハ、是ハ當然ナコトデアリマスルケレドモ、靈妙ナル馬ノ効ニ於キマシテハ、時トシテ番狂ハセガアルノデアリマス、人間デ言ヒマスト氣分ノ勝レタトカ、勝レナイトカ云フヤウナコトガ、馬ニ於キマシテモ其日ノ心持ニ依ツテ氣分ノ違フコトガアル、之ガ爲ニ優秀ナル馬ガ競馬ニ負ケルト云フコトハ、往々ニシテアルコトデアリマス、競馬ノ馬券ヲ買フ者ト致シマシテハ此番狂ハセガ最モ興味ガアルノデアリマス、ソレ故ニ過去ニ行ハシマシタル競馬ニ於テハ、往々ニシテ八百長ノ勝負ガ行ハレタト云フコトハ是ハ事實デアリマス、サウ致シマスルト、此法案ガ實行セラレマス場合ニ八百長ヲナス者ガ有リト致シマシタナラバ、是ハ如何ニナルノデアリマセウ、試ミニ其結果ニ付テ申上ゲテ見タイト思フノデアリマス、往年行ハレマシタ競馬ノ場合ニハ、假ニ二千人ガ五圓ノ馬券ヲ購入シタト致シマスルト、競馬ノ料金ハ一萬圓ニナルノデアリマス、而シテ先づ競馬俱樂部ナルモノガ、其掛金ノ一割ヲ差引イテ取ルノデアリマス、即チ競馬ノ掛金ガ總計一萬圓デアルト致シマスレバ、其内ノ千圓ハ競馬俱樂部ノ所得ニ歸シテ、殘ル九千圓ガ馬券購入者ノ勝ツタ者ノ所有ニ歸スルノデアリマス、極端ナ話ヲ申シマスルト、假ニ二千人ガ悉ク其中ノ優秀ナル一ツノ馬ニ掛けタト致シマスト、其人ミハ勝馬ニ適中ヲシタ、即チ勝ツタノデアリマスルケレドモ、其得ル所ハ一人前各、四圓五十錢ト云フ額ニナルノデアリマス、即チ掛金ガ五圓デアツテ競馬ノ勝利ニ適中ヲシナガラ、其得ル所ハ掛金ヨリモ少イ所得ニナルノデアリマス、是ハ極端ナル場合デアリマスルカラ、斯様ナル場合ハ想像ニ止マルノデアリマスルガ、理論上左様ニナルノデアリマス、之ニ反シテ、若シニ千人ノ中ノ一人ガ或劣等ナ馬ニ掛けタト致シマスルト、其人ガ假ニ一人デアツタト致シマスレバ、一人シテ五圓ノ掛け金デ九千圓ノ所得ガアルト云フコトニナルノデアリマス、是モ極端ナ場合デアリマスルガ、馬ヲ知ラナイ者ガ試ミニ自分ノ所ノ馬ニ掛けケタ、トコロガ其馬ガ同時ニ競争ヲスル所ノ中ノ最モ劣等ナモノデアツタ、何人モ之ニ掛けル者ガナカツタト云フ場合ニ於テハ五圓ノ掛け金デ九千圓ノ所得ヲ致シタノデアリマス、然ルニ此法案ニ依リマスルト、馬ニ掛けマシタ人ガ假令適中ヲ致シマシテモ、其所得ハ掛け金ノ十倍ヲ越ユルルコトガ出來ナイノ

デアリマス、左様デアリマスルト唯今申シマシタ後ノ場合即チ一人ノ人ガ勝馬ニ適中ヲシタト云フ場合ニ於キマシテハ、一萬圓ノ掛金ノ中ヨリ假リニ競馬俱樂部ノ所得ヲ一千圓ト致シマスレバ、殘リ九千圓、此九千圓ノ中カラ政府ガ百分ノ一ヲ差引クト致シマシテ、八千九百圓、此八千九百圓ノ殘リノ掛金ニ對シマシテ、勝ツテ當テタ所ノ人ハ僅カニ五十圓ヲ得ルノミデアリマス、五圓ノ掛金ト致シマスルト五十圓ヲ得ルノミデアリマス、サウナリマスルト八千八百五十圓ト云フモノハ、競馬俱樂部ノ所得ニ歸スルノデアリマス、競馬俱樂部ノ所得ハ極端ナ番狂ハセノ場合ニ於テハ非常ナル利得ヲ致スノデアリマス、斯様ナコトガ頻々アリマスレバ、此競馬俱樂部ニ關係ノ人ゝガ極メテ微温的デアル、極メテ利益ノ薄イモノデアル、此法案ノ如キ嚴重ナル制限ノ下ニ競馬ヲ行ツテモ、是デハ到底競馬ヲ行フコトガ出來ナイトシテ憂フル所ノモノガ、以外ノ不當ノ利得ヲ致スノデアリマス、是等ニ付テ警察ハ十分ニ其事實ヲ知ツテ居ル、是ガ公益法人ガ成金トナリ得ル場合ガアルト云フコトニナルノデアリマス、公益法人ガ成金ト成リ得ルト云フ場合ガアルト致シマシテ、是ガ如何ナモノデアリマセウ、斯ノ如キ缺陷ガアリト致シマシタナラバ、簡單ニ申シマスレバ、公益法人ガ成金トナリ得ル場合ガアルト云フコトニナルノデアリマス、公益法人ガ成金ト成リ得ルト云フ場合ガアルト致シマシテ、是ガ如何ナモノデアリマセウ、斯ノ如キ缺陷ガアリト致シマシタナラバ、競馬俱樂部ニ關係ノ人ゝガ果シテ此缺陷ニ乘ジナイデアリマセウカ、如何デアリマセウ、即チ八百長ヲ行ハシメタナラバ、競馬俱樂部ハ多大ナ所得ヲスルコトガ出來ルノデアリマス、斯様ナ缺陷ガアリト致シマシタナラバ、人情ノ弱點トシテ、之ニ乘ズルト云フコトガ無イト云フコトノ保證ガ出來ルデアリマセウカ、如何ナモノデアリマセウカ、政府ハ或ハ之ニ對シテ答ヘラレルノデアリマセウ、人ヲ欺イテ不當ナ利得ヲシタト云フコトニナレバ、ソレハ刑法ノ詐欺取財ニ該當スルモノデアルガ故ニ、之ニ依ツテ相當ナル制裁ヲ課スルトスレバ、其取締ハ出來ル、斯様ニ申サレルノデアリマセウ、併ナガラ過去ノ事實ニ徵シマシテモ、八百長ノ行ハレタカ行ハレナイカト云フコトヲ何人ガ立證スルコトガ出來マセウ、或ハ偶然ノ結果ト致シマシテ、之ヲ檢舉シ得ル場合モアルカモ知レマセヌ、サリナガラ甲乙口ヨリロニ傳ヘテ八百長ヲ行ハシメタ場合ニ、是ガ立證ト云フコトハ極メテ困難デアル、至難デアルト考ヘルノデアリマス、而シテ此法案ガ之ニ關係アル人ゝノ豫期スル如キモノデハナイ、極メテ微温的ノモノデアル、極メテ利益ノ薄キモノデアルト致シマシタナラバ、斯ノ如キ弊害ノ起ラナイト云フコトヲ保證スル譯ニハ參ルマイト考ヘルノデアリマスガ、政府ノ所見ハ如何デアリマセウ、第六ニハ本案ニハ種々ノ嚴重ナル

制限規定ガアリマスルガ、此取締ガ果シテ可能デアリマセウカ否カ、殊ニ學生徒ノ馬券ヲ買フコトヲ禁ジテアリマスガ、如何ニシテ其學生タルコトヲ甄別スルコトガ出來マセウ、之ニ付テモ疑ハナケレバナラスト思フノデアリマス、且又學生徒ガ馬券ヲ買ヒマシタ場合ニハ、之ニ對スル制裁ノ規定ハ本案中見出スコトガ出來ナイヤウデアリマス、諸君御承知デゴザイマセウカ、今日不良ノ學生ガ淺草アタリノ酒場ニ於キマシテ、非常ニ言語ニ堪ヘタ不行跡ノアルト云フコトハ、警視廳當局ノ絶エズ注意ヲ怠ラヌ所デアリ熟知セラレテ居ル所デアリマス、短刀ヲ懷ニシテ隊ヲ組ンデ、他人ノ酒ヲ飲ンデ居ルモノヲ脅迫シテ、サウシテ己レハ之ニ依ツテ無錢飲食ヲスルト云フ事實ハ非常ニ多イノデアリマス、是等ニ付テ警察ハ十分ニ其事實ヲ知ツテ居ル、是ガ注意ヲ怠ラレスヤウデアリマスケレドモ、遂ニ之ヲ根絶スルコトハ出來ヌノモトヲ脅迫シテ、サウシテ己レハ之ニ依ツテ無錢飲食ヲスルト云フ事實ハ非常ニ多イノデアリマス、是等ニ付テ警察ハ十分ニ其事實ヲ知ツテ居ル、是ガムト云フコトニ相成リマシタナラバ、其結果ハ如何デアリマセウ、誠ニ寒心ウガ、之ヲ十分ニ取締ルト云フコトハ言フベクシテ行ハレナイ、蠅ヲ逐フヤウナモノデアルト思フ、不良ナル學生ガ學資ヲ父兄ニ仰イデ、競馬場ニ親シデアリマス、取締ノ可能不可能ト申シテモ、或ル程度マデノ取締ハ出來マセウガ、之ヲ十分ニ取締ルト云フコトハ言フベクシテ行ハレナイ、蠅ヲ逐フヤウナモノデアルト思フ、不良ナル學生ガ學資ヲ父兄ニ仰イデ、競馬場ニ親シニ堪ヘナイコトデアルト考ヘルノデアリマス、而シテ之ニ對スル所ノ取締ハ到底出來難イコトト考ヘルノデアリマスルガ、當局ハ之ヲ可能ナリト信ゼラレルノデアリマセウカ、明治四十二年第二十五議會ニ於キマシテ衆議院ヨリ競馬法案ガ提出セラレマシタ時、時ノ政府委員ハ如何ニシテモ取締ヲ爲スコトハ出來ナイ、不可能デアル、ソレ故ニ其當時提出セラレタ所ノ法案ニハ反對スルト云フコトヲ答ヘテ居ルノデアリマス、而シテ時ノ寺内陸軍大臣モ亦其法案ニハ絶對ニ反対ヲサレテ居ルノデアリマス、今日ノ當局者ハ當時寺内陸軍大臣ガ到底取締ヲナスコトハ出來ナイ、弊害ガ續イテ起ルト云フコトノ爲ニ反対セラレマシタ所ヲ、今日デハ是ガ取締ヲナシ得ルト確信ナサルノデアリマセウカ、其點ヲ伺ヒタイト思ヒマス、次ニ本案ハ政府ノ御説明ニ依リマスルト、國防產業トノ兩方面ノ必要カラ御提案ニナツタト云フコトデアリマスガ、私ノ見ル所ヲ以テ致シマスレバ、是ハ國防ガ主ニナッテ居ルモノデハナイカト思フノデアリマス、即チ國防上必要ナル馬ノ生産ヲナサシメルト云フコトガ眼目ト云フコトデアルト思フノデアリマス、產業ト云フ方面カラ考ヘマスルナラバ、一ツハ馬ヲ生産スル所ノ馬產家ノ立場ニ立ツテ考ヘルコトガ其一ツデアリマス、又今一ツハ、農耕ノ用ニ用キル馬ト云フコ

トニ付テ考ヘル必要ガアルト思フノデアリマス、先キニモ申シマシタ如ク、耕作ニ用キル馬ハ此法案ニ依ッテ益セラレル所ハナイト考ヘルノデアリマス、唯單ニ馬ヲ生産スル所ノ地方ニ取リマシテハ、馬ノ價格ガ低落スルト云フコトニ付キマシテハ、誠ニ同情ニ堪ヘヌノデアリマス、ソレ故ニ斯様ナ地方ニ對シテハ、軍馬ノ購入價格ヲ高メルト云フコトガ當然ノコトデアル、之ニ對シテモ馬政委員會ニ於キマシテハ、當局ニ委員會ノ決議ヲ以テ軍馬ノ購買價格ヲ高メラレルヤウニト云フ希望ヲ述べテ居ルノデアリマス、然ルニ是ハ十分ニ實行ヲ見テ居ラヌノデアリマス、軍馬ノ購買價格ヲ高メラレルナラバ、馬產地方ノ人ノ救濟ハ之ニ依ッテ出來ルノデアリマス、又競馬法案ニ依ッテ耕作ニ用キル馬ノ改良ヲ求メルコトハ出來ナイノデアリマス、或ハ極端ニ申シマスルナラバ、我ガ國ノ如キ山林面積ガ全面積ノ八割六分ヲ占メテ居ルト云フヤウナ、傾斜ノ多イ國ニ於キマシテハ、耕作サレル所ノ田畠ガ極メテ小サナ區劃ニ分レテ居リマシテ、而カモソレガ場所ニ依ッテハ柵ノヤウナ工合ニナツテ居ル國柄ト致シマシテ、馬ノ體格ヲ必要以上ニ大キクスル一云フコトハ、是ハ不便デアル、却ッテ在來ノ馬ヲ以テ便利トスルモノデハナイカト思フノデアリマス、即チ斯様ナ見地カラ考ヘマスルト、政府ガ競馬法ヲ制定シ、馬券ノ發賣ヲ許スト云フコトハ、唯國防上ノ目的ノミヨリ出デテ居ルト見テ然ルベキデアラウト思ヒマス、果シテ然ラバ陸軍省ニ屬シテ居リマシタ所ノ馬政局ヲ殊更ニ農商務省ニ移管セシメラレタ理由ハ何レニ在ルノデアリマセウカ、私ハ軍備縮小ノ聲ノ高イ折柄、陸軍當局者ガ軍縮ノ表面ヲ糊塗スルガ爲ニ、一方ニ減ジテ他ノ省ニ移シ替ヘタ、簡單ニ申シマスルト軍縮ノ一ツノ手品デナイカト思フノデアリマスガ、陸軍當局ハ農商務省ニ馬政局ヲ移管シテ之ニ依ッテ以テ國防ノ目的ヲ達スルコトガ出來ルト考ヘラレルノデアリマセウカ否カ、此點ヲ伺ヒタイノデアリマス、最後ニハ、滿洲朝鮮方面ニ競馬俱樂部ノ設立ヲ許シ、馬券ノ發行ヲ許スト云フ御見込ガアルノデアリマセウカ否カ、御承知ノ通リ先年大連ニ彩票ノ發行ヲ許サレマシタ際、支那ヨリ頻々時ノ我が政府ニ抗議ヲ申込みマシテ、時ノ政府ハ斷然之ヲ禁止セラレタノデアリマス、カルガ故ニ彼地ニ於テ競馬ヲ許シ、馬券ノ發賣ヲ許スト云フコトハ、國際道義上如何ナモノデアラウカト云フコトニ付テ、外務當局ハ懸念ヲ有ツテ居ラレタ筈ト思ヒマスガ、現今尙ホ政府ハ之ニ付テ同様ノ考ヲ有ツテ居ラレルノデアリマセウ

カ否カ、以上ノ諸點ニ付キマシテ、當局ヨリ詳細ナル御説明ヲ希望イタシマス

〔國務大臣山梨半造君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(山梨半造君) 御答ヲ致シマス、第一ハ賭博ヲ公許シテ、詰リ馬ノ爲ニ人ヲ犠牲ニスルヤウナコトハナイカト、斯ウ云フ御問ヒデアリマス、成程は競争ニ依ッテ此勝負ヲ決スルモノデアリマスカラシテ、賭博類似ノモノニナルヤウニ思ヒマス、併ナガラ此競馬ヲ以テ直チニ他ノ賭博ト同一ト言フコトハ如何ノモノデアラウカ、斯ウ我ムハ考ヘルノデアリマス、即チ此競馬ニ於キマシテハ、馬ト乗手ト、斯ウニツカラ觀察ヲ下シ得ルノデ、ソレデアリマスカラシテ單ニ勝負ヲ判斷シ得ズシテ、之ヲ賭スルモノトハ大分趣ガ違ウト、私ハ信ズルノデアリマス、又此競馬ヲ許スト云フコトニ付キマシテモ、此馬ノ判斷竝ニ乘御者ノ技倅ト云フコトト、又馬ノ履歴、血種等ニ付テ大ニ考慮研究ヲ要シ、人智ヲ開發セシメルコトガアル、此人智ヲ開發シテ、サウシテ馬ヲ知ラセ、サウシテ馬ヲ利用スルト云フコトヲ起シタイト云ノガ、此二ツノ理由ニナツテ居ル次第デアリマス、唯射倖心バカリヲ助長シテ、而シテソレニ依ッテ人ノ精神ヲ攦亂スル、斯ウ云フモノトハ多少趣ガ違ウヤウニ我ムハ考ヘテ居ルノデ、ソレデアリマスカラシテ、單ニ其方面ヨリ賭ケヲスルト云フコトカラ見ラレタラ、サウナルデアリマセウガ、私ハ此競馬ニ趣味ヲ持チ來スヤウニナリマシタナラバ、今申シマシタ通リノ研究心ヲ起シ、而シテ其研究ニ依ッテ馬ト云フコトヲ知リ、即チ此馬ヲ知ッテ利用スルト云フコトニナルダラウ、斯ウ實ハ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ第二遍殖ヤシテ、之ヲ減ジタカ、斯ウ云フヤウナ御問ヒデアリマス、ソレデ競馬ヲセナカツタナラバ、他ニ馬匹ノ改良ハ絶對的ニ出來ナイカ、斯ウ云フヤウナ御質疑デアリマス、サウシテ此競馬ガ必要デアルナラバ、ナゼ此競馬獎勵金ヲ一ドル通リ之ヲ利用スル、斯ウ云フコトガ私ハ他ノモノニ於テハ其比ヲ見ヌモノト思ツテ居リマス、即チ競馬ヲ外ニシテ出來ナイコトハ此點デアラウト思ツテ居リマス、ソレカラ競馬獎勵金ヲ殖シマシテ減少シタ、成程大正十年ニ十萬

圓殖エタト思ッテ居リマス、是ハ唯其年度一年限ノ増加ヲ臨時ニ支出シタト  
斯ウ云フコトニナッテ居リマス、十一年度ニ於テハ其臨時費ヲ繼續スルコト  
ガ出來ズシテ、之ヲ平常ニ復シタ、斯ウ云フ譯ニナッテ居リマスカラ、一年  
成程一遍殖エタモノヲ更ニ減少シタト云フ形ニナリマシタガ、アレハ經常費  
的ニ殖ヤス事ガ出來ナカッタ爲ニ、唯其年度ニ殖ヤシタト斯ウ云フ事ニナッテ  
居ルノデアリマス、私ガ今申シマシタ所ノ競馬ノ外ニ於テ得難キ一點ガア  
シテ其目的ヲ達シ得ルカ、斯ウ云フ點ニ付テ一言申上ゲテ置キタインオデアリ  
マス、唯競馬獎勵金ト云フモノニ付キマシテハ、唯其賞與ト、ソレト此競馬  
ニ用キル所ノ馬匹ノ購買ヲ補助スルト云フコトニ唯ナッテ居ル爲ニ、此競馬ニ  
參與スル者ニ前申シマシタ所ノ詰リ馬ヲ知ルコトヲ獎勵サセルコトガ、ソレ  
ニ於テハ十分ニ出來ナイノデアリマス、ソレデ此馬券ノ發行ニ依ッテ多少射  
倖心ヲ助長シ得ル弊ガアリマスルケレドモ、其射倖心ヲ多少利用イタシマシ  
テ、利害ヲ直接ニシテ、サウシテ馬ノ事ヲ深ク研究サセ、知ラセタイ、サウ  
シテ馬ノ需要ヲ漸次殖シタイ、斯ウ云フコトカラ起ツタノデアリマス、此唯  
獎勵金デハ、其目的ガ或點ニ於テ達シ得ラレヌ、斯ウ云フコトヲ申上ゲテ置  
キタイト思ヒマス、第三點ニ於テ微温的デアル、私モ微温的デアルト思ヒマ  
ス、併ナガラ之ヲ微温的ガカラシテ漸次擴張シテサウシテ行クカト斯ウ云フ  
ノデアリマスガ、元來此微温的ナラザレバ弊害ガ多出スルノデアリマス、  
弊害ヲ除去スルニハドウシテモ微温的ナラザルヲ得ヌノデアリマス、私ハソ  
レデアリマスカラシテ、弊害ヲ助長スルト云フコトニ向ヒマシテハ、ドウシ  
ト、乘馬ヲ持ツテ行キマシテモ、重キ馬ニ化シテ到頭輓馬ニナッテ仕舞フト云  
云フト、駄馬ヤ重輓馬並ニ乘馬ノ如キハ等閑ニ附スルカ、斯ウ云フ問モ起  
リマセウガ、是ハ土地ト密接ノ關係ヲ有ツテ居リマシテ、土地ニ因リマスル  
ト、乘馬ヲ持ツテ行キマシテモ、重キ馬ニ化シテ到頭輓馬ニナッテ仕舞フト云  
フヤウナコトガアルノデアリマス、是ハ著シク日本デ見エマスルノハ、即チ  
北海道カラ津輕、南部ノ北部ニカケマシテハ、乘馬ガ澤山出來マスガ、秋田  
ニ行キマスト輓馬ニ適合スルモノガ自然ニ多クナルト云フノガ、即チソレヲ  
表證シテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスルカラシテ、種牡馬ノ配置モ之  
ニ適合スルヤウニ自然ニ設置スルヤウニナルノデアリマス、デ如何ニ優良ナ  
ル乘馬ヲ持ツテ行キマシテモ、輓馬ニ適合ノ地ニ行キマスレバ、自然ニ輓馬ニ  
ナルト云フヤウナ關係ニナッテ居ルノデアリマスカラ、此輓馬モ重イノガ良  
イカ輕イノガ良イカト申シマスルト云フト、我國ニ於キマシテハ道路ノ關係  
地形等カラシテ、輕輓馬ガ宜シイ、又我ガ武裝ノ關係カライタシマシテ重輓  
馬ハサウ澤山要ラヌ、輕輓馬ガ多クアレバ宜イ、斯ウ云フコトニ決著イタシ  
マシテアリマスカラ、輕輓馬ヲ主トシテ成ルベク蕃殖サセヤウ、斯ウ云フ工  
合ニナッタノデアリマス、又輕輓馬ハ或時ハ利用シテ乘馬ニナシ得、又或時  
ハ之ヲ駄馬ニモ利用シ得ルカラデアリマス、デ第五番目ニハ番狂ハセノコト  
少シク見解ヲ異ニシテ居ルノデアリマス、要スルニ此競馬ハ、昔短距離ニ於

テ、サウシテ輸贏ヲ決スル時分ニハ此極ク薄イ、極ク僅少時間ニ或距離ヲ  
迅ク歩ク馬ヲ利用イタシタノデアリマスガ、今日ハ其弊害ヲ知リマシテ長距  
離、而モ其負擔量等モ增加イタシマシテ、其勞力ニハ堪ヘ得ル力ト速度ト此兩  
方面カラ之ヲ觀察スルコトニナッタノデアリマス、即チ競馬ニ優秀ナル馬ハ之  
ヲ種牡馬トシテ非常ニ適當スル、斯ウ云フコトニ目下ノ所デハナッテ居リマ  
ス、ソレガ爲ニ此種牡馬トシテ之ヲ利用シマスカラシテ、決シテ此農耕馬ヲ  
少クスルト云フコトハ決シテナイコトト、私ハ信ジテ居ル、要スルニ優秀ナ  
ル種牡馬ヲ得ルノデアル、斯ウ云フコトニナルト思フノデアリマス、ソレカ  
ラ茲ニ於テ私ハチヨット我ムガ計畫シテ居ルコトヲ申上ゲテ置ク方ガ便利ト  
思ヒマスルノデ、一言茲ニ添ヘテ置キタイト思ヒマス、我ムノ信念ハ軍馬即農  
馬、農馬即軍馬、斯ウ云フ方針デ今進ンデ居ルノデアリマス、ソレデアリマ  
スルカラシテ、軍馬ニモ適合シ、農馬ニモ適合スル、ソレハドウ云フ種類ノ馬  
デアラウカ、斯ウ云フコトカラ研究イタシマシテ、我ムハ先づ日本ノ馬ハ主  
トシテ、輕輓馬ニ適合スルコトヲ以テ、其兩用ニ適シ得ルモノト、斯ウ考ヘ  
テ、其種ノ馬匹ニ最モ重キヲ置イテ居ルノデアリマス、斯ウ申シマスルト  
云フト、駄馬ヤ重輓馬並ニ乘馬ノ如キハ等閑ニ附スルカ、斯ウ云フ問モ起  
リマセウガ、是ハ土地ト密接ノ關係ヲ有ツテ居リマシテ、土地ニ因リマスル  
ト、乘馬ヲ持ツテ行キマシテモ、重キ馬ニ化シテ到頭輓馬ニナッテ仕舞フト云  
フヤウナコトガアルノデアリマス、是ハ著シク日本デ見エマスルノハ、即チ  
北海道カラ津輕、南部ノ北部ニカケマシテハ、乘馬ガ澤山出來マスガ、秋田  
ニ行キマスト輓馬ニ適合スルモノガ自然ニ多クナルト云フノガ、即チソレヲ  
表證シテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスルカラシテ、種牡馬ノ配置モ之  
ニ適合スルヤウニ自然ニ設置スルヤウニナルノデアリマス、デ如何ニ優良ナ  
ル乘馬ヲ持ツテ行キマシテモ、輓馬ニ適合ノ地ニ行キマスレバ、自然ニ輓馬ニ  
ナルト云フヤウナ關係ニナッテ居ルノデアリマスカラ、此輓馬モ重イノガ良  
イカ輕イノガ良イカト申シマスルト云フト、我國ニ於キマシテハ道路ノ關係  
地形等カラシテ、輕輓馬ガ宜シイ、又我ガ武裝ノ關係カライタシマシテ重輓  
馬ハサウ澤山要ラヌ、輕輓馬ガ多クアレバ宜イ、斯ウ云フコトニ決著イタシ  
マシテアリマスカラ、輕輓馬ヲ主トシテ成ルベク蕃殖サセヤウ、斯ウ云フ工  
合ニナッタノデアリマス、又輕輓馬ハ或時ハ利用シテ乘馬ニナシ得、又或時  
ハ之ヲ駄馬ニモ利用シ得ルカラデアリマス、デ第五番目ニハ番狂ハセノコト

ニ付イテ御話ガアリマシタ、是ハ御尤モノ御尋デ、是デ競馬ガ甚ダシキ弊害ヲ發生シタノデアリマス、此弊害ガ先づ一番ニ澤山起ツタノハ此競馬關係者ガ馬券ヲ買ヒ得ルカラシテ、自然ニ斯ウ云フコトノ弊害ヲ起シタダラウト思フノデアリマス、ソレト一人デ多數ノ馬券ヲ買ヒ得ルト、斯ウ云フヤウナコトガアリマス、デ私ハ國防ハ陸軍コトガアッタ爲ニ、此起因ヲナシタモノト思フノデアリマス、ソレガ爲ニ今回ハ是等ノ者ノ馬券ヲ買フコトヲ一切禁止イタシマシタ爲ニ、此弊害ハ多少除去セラレルコト私共ハ信ジテ居ルノデアリマス、ソレカラ番狂セニ付テ十倍ヨリ戻金ヲセヌノデアリマスカラ、會社ガ甚ダ多數ノ利益ヲ得ルカラ、之ニ依ツテ弊害ガ生ジハセヌカト、斯ウ云フヤウナ御考慮ガアルヤニ拜承シタノデアリマス、是モ御尤モノコトト思ヒマス、併シ是ハ斯クノ如キコトガアリマシタナラバ、主務大臣ノ命令ニ依ツテ之ヲ他ノ増殖ノ獎勵ニ用キルト云フヤウナ方法ニ致シタイト自分等ハ考ヘテ居ル、デ拂戻ノ方法ヲ規定スルトカ云フヤウナコトガ本法文ニ書イテアルノハ、ソレ等ノ爲デアリマス、第六項ハ學生ナドニ賣ルトカ……賣ラナイト云フヤウナコトガアルガ果シテソレガ些ノ遺憾ナク取締ガ出來ルカ、斯ウ云フコトデアリマス、是ハ決シテ絶無ト云フ譯ニハ是ハ保證シ難イト思ヒマス、法ヲ潜ツテ爲スモノガ頻々アル世ノ中デアリマスカラ、如何ニ法ヲ決メテ置イテモ斯ノ如キ違法者ヲ生ジ、違法者全體ガ皆是ガ處分ヲ受ケルカト、斯ウ云フコトニナリマスレバ、甚ダ結構デアリマスガ、ソレハナカナ個人智ノ及ブ所デハアリマセヌ、多少此點ニ付テハ法ヲ潜リ、サウシテ其潜ツタ罰ヲ受ケズニ濟ム者ガアルノハドウモ已ムヲ得ヌコト思ヒマス、併ナガラ是等ノコトハ周到ニ周到ナル注意ヲ拂ヒマシテ、爲シ得ルダケスノ如キ事ノナイヤウニシタイ、斯ウ思テ其取締法ヲ色ト考ヘテ居ル次第デアリマス、ソレカラ七項ハ國防產業ト云フガ、恐ラク國防ガ主デアラウ、斯ウ云フノデアリマス、是ハ前ノ第四項ニ申シマシタコトデ、大概御分リト思ヒマス、迎モ此國防一點張デ、唯此平時殆ド農耕ニ使ヘヌ馬ヲ澤山ニ國ニ繫蓄シテ置カウト云フヤウナコトハ、是ハ出來得ベカラザルコト私共ハ信ジテ居ル、即チ前ニ申シマシタ通り、軍馬ハ農馬ニ適合シ、農馬ハ軍馬ニ適合スト云フヨリ外ハ仕方ガナイト思テ居ルノデアリマス、之ニ尚ホ一ツノ疑點ヲ挾マレマシテ、斯ノ如ク國防ニ必要デアルナラバ、何故之ヲ農商務省ニ渡スカ……馬政局ヲ農商務省ニ渡スカスウ云フノデアリマス、私ハ是ハ先年自分ガ大命ヲ拜シタ時カラ、此馬政

局ハ成ルベク早く農商務ニ移シタイト云フコトヲ申シタノデアリマスガ、唯其時機ガ來ナカッタ爲メニ、今年ニナッタ次第デアリマス、デ私ハ國防ハ陸軍ノ一點張ト云フコトハ最早時勢ニ適合セヌト、私ハ考ヘテ居ルノデ、即チ各省ガ各其職分ニ從ツテ國防ノ方ニ盡力スル、斯ウ云フコトガ私ハ自然デアルトスウ考ヘタノデアリマス、デアリマスルカラ馬政局ハ、是ハ農商務ニ移サウガ、之ヲ陸軍ニ存置シヤウガ、國防ト云フコトニ付テハ、一點ノ差ハナイ、斯ウ云フコトヲ私ハ信ジテ居ツタノデアリマス、唯此金ヲ陸軍省カラ農商務ニ移シテ、軍費ノ少イノヲ銜フト云フヤウナ小サナ考カラ之ヲ起シタ次第デアリマセヌ、決シテ國防ハ陸軍ガ唯一手販賣ニスルト云フコトハ、此進ンダ世ノ中ニハ適合セヌト私ハ斯ウ思ツテ居ルノデス、又滿洲朝鮮方面ニ競馬ヲ許スカ否カト云フ最後ニ御問ガアリマシタ、是ハ私共ハ滿洲朝鮮ニ競馬ヲ許スヲ可トスルト云フコトニ付テ未ダ決心ヲ持タヌノデアリマス、ソレハ何故ナレバ取締ノ比較的出來ル日本デサヘモ之ヲ尙ホ許シテ居ラナカッタノデアリマス、其曉ニ之ヲ滿洲朝鮮ニ先ニ許スト云フヤウナ考ハ、實ハ私共ニ於テ起ラナカッタ考デアリマス、今後ノ研究ニテ如何決スルカ、是ハマア未定ノ問題デアリマス、今日私ノ肚ノ裡ニハマダ決心ヲ有ツテ居リマセヌ

○湯淺倉平君 段々アトニ質問ノ御通告ニナッタ方モアルト思ヒマスカラシテ此上多クハ御尋イタシマセヌ、ガ私ノ了解イタシマシタ所ハ、第一ノ問ニ對シテハ本案ハ刑法ノ賭博ノ解禁デアル、賭博ノ一部ノ解禁ヲ爲スモノデアルト云フ點ハ肯定セラレタヤウデアリマスカラ、此點ニ付キマシテハ御尋イタシマセヌ、ソレカラ最後ノ第八ハ滿洲朝鮮ニ對シテ許スカ否カト云フコトハ未定デアルト云フコトヲ伺ヒマシタノデ、之ニ付キマシテモ此上繰返シマセヌ、第二問ノ……第二問ニ關シテ御答ニナリマシタ中デ、ドウシテモ競馬ニ依ラナケレバ馬事思想ノ增進ヲ圖ルコトガ出來ナイト云フ御答辯デゴザイマシタガ、現在當局ガ御執リニナツテ居リマスル乘馬團體ノ獎勵、此方法ノ如キハ國民ヲシテ馬ニ親シマシタル所ノ方法デアリ、馬事思想ヲ增進セシメル方法ノ一ツデアルト考ヘルノデアリマス、殊ニ地方ニ行ハレル競馬ノ如キモ所謂競馬俱樂部、公認競馬俱樂部デハアリマセヌガ、其外ニ行ハレテ居ル地方競馬ニ對シテ御獎勵ニナルト云フコトモ、是モ完全デハアリスマイガ、矢張リソレ等ノ目的ヲ達スル一ツノ方法デアルト思フ、殊ニ乘馬團體ノ如キモ該思想ノ獎勵ニナルコトト考ヘルノデアリマスガ、乘馬團體ノ獎勵ト云

フガ如キモノデハ、馬事思想ノ發達ヲ圖ル所以デナイ、斯様ニ御言明ニナルノデアリマセウカ、ソレカラ第三問ニ付キマシテハ、是ハ半バ了解イタシマシタ、即チ引續イテ、現存ノ競馬俱樂部以外ニ許可ヲスル見込ハ無イトノ御答辯デアリマシタカラ、其點ハ了解イタシマシタ、併ナガラ本案ノ各種ノ制限ガ、ココニ初メテ刑法ヨリ禁ヲ解カレタ、此案ガ成立ツモノト致シマシタナラバ、此各種ノ制限ハ漸ヲ追フテ、競馬ヲ行ヒ、馬券ノ發行ヲ便利ナリトスル所ノ當事者ノ熱心ナル運動ガ之ヲ動カスト云フコトヲ豫見スルモノデアルマス、此點ニ付キマシテハ、或ハ將來ニ對スル豫見ノ相違トモ見ルベキモノデアルト思ヒマスカラ、此點ハ重ネテ御尋ヲ致シマセヌ、第四ノ農耕ニ用キ馬ノ如キハ若シ優良ナル馬ノ血ヲ混ヘテ、改良スルト云フコトニナリマスレバ、其飼養管理ガ困難デアル、即チ驛ノ高イ馬ノ血ガ在來ノ驛ノ鈍イ馬ニ混ジルト云フコトニナリマスルカラ、極メテ微妙ナ關係ニ於テ是ガ管理ヲ注意シナケレバナラヌ、飼養ノ方ニ於テモ亦困難ニナル、又馬ノ値ガ高クナル、斯様ナコトニナッテ、其結果ハ左様ナモノヲ用キルヨリモ、值ノ安イ、飼養管理ノ便利ナモノヲ用フルト云フコトニナリハシマセヌノデアリマセウカ、殊ニ御承知ノ通り、馬ノ値ノ高イ爲ニ、或ハ飼養管理ノ爲ニ多クノ費用ヲ要スルガ爲ニ、朝鮮ノ牛ガ續々トシテ這人ッテ居ルヤウデアリマス、是ハ飼養管理ノ費用ノ安イモノニ就クト云フ自然ノ經濟上ノ原則ニ從ツテ居ルノデハアリマセヌカ、果シテサウデアルト致シマスレバ、競馬馬乃至乗馬ト云フ方ハ増殖モシ、發達モ致シマセウガ、農耕用ノ馬、或ハ荷物ヲ運ブ所ノ馬ハ其數ヲ或ハ減ズルト云フヤウナ結果ヲ起シハ致シハセヌカ、此點ニ付キマシテノ御答辯ハドウモハツキリ分リマセヌ、ソレカラ八百長ニ依ッテ、公益法人ナルモノガ不當ノ利得ヲ得ル機會ヲ與ヘル處ガアルト云フ點ニ付キマシテノ御答辯ガ事實左様ナ處ノアルト云フコトダケハ御認メニナツタヤウデアリマスルガ、之ニ對シテハ相當ノ取締ヲ爲スト云フ御答ニ止ッテ居リマシテ、私共ハ其立證ガ困難デアル、取締ガ殆ド不可能デアルト云フ杞憂ヲ懷キマスル點ニ付キマシテハ、了解ヲ致スコトガ出來ナカッタノデアリマスガ、是モ或ハ究極所見ノ相違ト云フコトニ歸スルカモ知レマセヌカラ、之ニ付キマシテモ御尋ネハ致シマセヌ、第六ノ點ニ付キマシテモ、取締ガ出來ル出來ナイト云フテ居ルノデハナイカト云フ點ニ付キマシテハ、何等御答辯ガ無カッタヤウニ

考ヘルノデアリマス、第七ノ點ニ付キマシテハ繰返シテ御尋ハ致シマセヌ、約メテ申シマスルト、乘馬團體ノ獎勵ト云フガ如キハ馬事思想ノ普及發達ニ非常ニ刺激ノアルモノデアル、斯様ナ方法ガアルノデハアリマセヌカ、即チ答辯デアリマシタカラ、其點ハ了解イタシマシタ、併ナガラ本案ノ各種ノ制限ガ、ココニ初メテ刑法ヨリ禁ヲ解カレタ、此案ガ成立ツモノト致シマシタナラバ、此各種ノ制限ハ漸ヲ追フテ、競馬ヲ行ヒ、馬券ノ發行ヲ便利ナリトスル所ノ當事者ノ熱心ナル運動ガ之ヲ動カスト云フコトヲ豫見スルモノデアルマス、此點ニ付キマシテハ、或ハ將來ニ對スル豫見ノ相違トモ見ルベキモノデアルト思ヒマスカラ、此點ハ重ネテ御尋ヲ致シマセヌ、第四ノ農耕ニ用キ馬ノ如キハ若シ優良ナル馬ノ血ヲ混ヘテ、改良スルト云フコトニナリマスレバ、其飼養管理ガ困難デアル、即チ驛ノ高イ馬ノ血ガ在來ノ驛ノ鈍イ馬ニ混ジルト云フコトニナリマスルカラ、極メテ微妙ナ關係ニ於テ是ガ管理ヲ注意シナケレバナラヌ、飼養ノ方ニ於テモ亦困難ニナル、又馬ノ値ガ高クナル、斯様ナコトニナッテ、其結果ハ左様ナモノヲ用キルヨリモ、值ノ安イ、飼養管理ノ便利ナモノヲ用フルト云フコトニナリハシマセヌノデアリマセウカ、殊ニ御承知ノ通り、馬ノ値ノ高イ爲ニ、或ハ飼養管理ノ爲ニ多クノ費用ヲ要スルガ爲ニ、朝鮮ノ牛ガ續々トシテ這人ッテ居ルヤウデアリマス、是ハ飼養管理ノ費用ノ安イモノニ就クト云フ自然ノ經濟上ノ原則ニ從ツテ居ルノデハアリマセヌカ、果シテサウデアルト致シマスレバ、競馬馬乃至乗馬ト云フ方ハ増殖モシ、發達モ致シマセウガ、農耕用ノ馬、或ハ荷物ヲ運ブ所ノ馬ハ其數ヲ或ハ減ズルト云フヤウナ結果ヲ起シハ致シハセヌカ、此點ニ付キマシテノ御答辯ハドウモハツキリ分リマセヌ、ソレカラ八百長ニ依ッテ、公益法人ナルモノガ不當ノ利得ヲ得ル機會ヲ與ヘル處ガアルト云フ點ニ付キマシテノ御答辯ガ事實左様ナ處ノアルト云フコトダケハ御認メニナツタヤウデアリマスルガ、之ニ對シテハ相當ノ取締ヲ爲スト云フ御答ニ止ッテ居リマシテ、私共ハ其立證ガ困難デアル、取締ガ殆ド不可能デアルト云フ杞憂ヲ懷キマスル點ニ付キマシテハ、了解ヲ致スコトガ出來ナカッタノデアリマスガ、是モ或ハ究極所見ノ相違ト云フコトニ歸スルカモ知レマセヌカラ、之ニ付キマシテモ御尋ネハ致シマセヌ、第六ノ點ニ付キマシテモ、取締ガ出來ル出來ナイト云フテ居ルノデハナイカト云フ點ニ付キマシテハ、何等御答辯ガ無カッタヤウニ

クナレバ、是ハ價ガ高クナルノハ相當ト思ヒマス、其代リニ良クナッタダケノ價ガ矢張リアリマスルノデ、是ハ馬ノ糶場ナドニ行キマスルト云フト、良キ馬ノ方ガ早ク糶落チテ、惡馬ガ殘ルト云フ關係ハ、是ハ馬ノ糶場ニ行クト種々其證明ヲ見ルノデアリマス、今日ハ矢張リ良キモノヲ用キテ多數ノ仕事ヲシヤウト云フ念ガ起ツテ參リマシタ、是ハ私ハ馬ノ改良ト同時ニ馬ノ值ガ上ガルコトハ至當デアリマセウガ、ソレガ爲ニ飼養ガ減ズルト云フコトハナカラウト、斯ウ信ジテ居リマス、ソレカラ第五ノ番狂ハセ、是ハ私ハ利益カラスウ云フコトヲ故意ニヤルコトガ多イダラウト斯ウ思ヒマス、ソレガ爲ニ其利益ト云フコトノ本ヲ斷ツタナラバ、斯ノ如キ弊害モ多少減却シ得ルダラウ、實ハ斯ウ云フ意味デ申上ゲマシタノデアリマスガ、私ノ説明ガ惡カッタ為ニ其點ガ貫徹シナカッタラウト思ヒマス、ソレカラ第六ノ點ニ於テノ取締ト云フコトハ、私共ガ細則ヲ設ケテナシ得ルダケ之ヲ取締ツテ行キタイト云フノデ、實ハ研究シテ居ルト云フコトヲ、唯申上ゲタニ過ギマセヌ

○湯淺倉平君 第六ノ點ニ付テハ制裁規定ガ缺ケテ居ルノデハナイカト云フ點ニ付テハ遂ニ御答辯ガ無イヤウデアリマスガ、其點ヲ一ツ……ソレカラ第五ノ八百長ノコトニ付キマシテハ陸軍大臣ハ私ノ當初説明イタシマシタコトヲ御了解下サラヌヤウニ見エルノデアリマス、私ハ過去ノ競馬ニ於テハ賭ヲナスモノガ八百長ヲナサシメルト云フヤウナコトガ有ッタデアリマセウガ、今度ハ俱樂部ノ關係者ガ八百長ヲナサシメタ場合ニ於テハ俱樂部ガ非常ナ利得ヲスル、或ハ馬ノ持主ガ或ル場合ニハ賞金ヲ得ンガ爲ニ、或ル場合ニハ賞金ニ望ミナク立派ナ馬ヲ持ツテ居ルト云フ虛榮心ノ發露ヨリ致シマシテ八百長ヲナサシメル斯様ナ場合ガ無キニ限ラヌト思フノデアリマス、斯ノ如キ場合ニ於テノ取締ト云フコトガ困難デアル、困難デアルト云フヨリモ至難デアル、殆ド立證スルコトガ不可能デハナイカト斯様ナコトヲ御尋シタノデアリマス、併ナガラ此點ニ付キマシテハ、問答ヲ繰返シマシタ所デ、ソレハ取締ルノデアル、出來ルダケノ努力ヲスルノデアルト、斯ウ云フ御答辯以上ノ御答ヲ得ルコトハ出來マイト思ヒマスカラ、其點ハ最早御尋ヲ致シマセヌ、唯一點残リマシタノハ制裁規定ガ缺ケテ居ルノデハナイカト云フ點ニ付テハ、何ノ御答モナイヤウデアリマス、是ハドウ云フ譯デアリマスカ、其點ダケヲ御尋イタシマシテ是デ終ル積リデアリマス

〔國務大臣山梨半造君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(山梨半造君) 第五點ノ番狂ハセノコニ付キマシテハ、私ハ唯ニ、八百長ガ多々アッタノデアリマス、ソレカラ此競馬會社ガ乘御者ト結託シテサウシテ此八百長ヲヤラセル、斯ウ云フコトニ付テハ各其制裁ノアルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、詰リ此乘御者ガ馬券ヲ買得タ爲ニ其利益ヨリシテ詰リ八百長ヲヤル、サウ云フコトハ根絶シタイト云フノデ、是ニハ詰リ馬券ヲ買フコトヲ禁ジタ、之ニ依テ此方面カラ來ル弊害ハ減少シ得ルダラウ、ソレカラ會社ト乗手ト結託シテヤリマシタ時ニハ、十倍以上拂戻ガ出來ナイト云フノデ、其拂戻以外ノ金ハ皆利益ニナルヤウニ御考ノヤウデアリマスルカラ、ソレハサウデハナイ、ソレガ爲ニ拂戻方法等ヲ規定シテ、斯ノ如キコトガアッタナラバ、他ノ改良増殖費ニ當テル爲ニサセルノデアルト云フコトヲハ、私ハ有ルト信ジマス、是ハ道徳ノ制裁ニ俟ツヨリ外ナカラウト思フ、殆ド湯淺君ノ申サレタ通り、微妙ナル關係デアリマスルカラ、是ハ判斷ハ餘程ムヅカシカラウト思フ、從ツテ之ニ制裁ヲ加ヘルコトモムヅカシカラウ、是ハ自然ニ殘ルノデアリマスカラ、是ハ道徳ノ制裁ニ委スルヨリ外ナカラウト自分ハ信ジテ居ル、サウシテ第六ノ方ノ學生ノコトニ付キマシテハ學生ガ買ヒマシテモ、學生ニハ其罪ヲ著セルト云フコトハ規定ガナイノデアリマス、唯禁ラ犯シテ學生ニ賣ッタモノハ制裁ヲ受ケルト云フコトガ載テ居ルニ過ギナインデアリマス

○議長(公爵德川家達君) 湯淺君ハモウ御質疑ハ終リマシタカ

○湯淺倉平君 甚ダ要領ヲ得マセヌデゴザイマスケレドモ、質問ハ是デ此場合ハ止メマス

○議長(公爵德川家達君) 上山君ニ伺ヒタイト思ヒマスガ、是ヨリ上山君ニ發言ヲ許サウト存ジマスガ、上山君ノ御質疑ハ大分時間ヲ要シマセウカ

○上山滿之進君 少シバガリ時ガ掛リマス

○議長(公爵德川家達君) チヨット聞エマセヌ

○上山滿之進君 少シバガリ時ガ掛リマス

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ休憩ヲ致シマシテ、午後ハ一時ヨリ開會イタシマシテ

午前十一時四十七分休憩

午後一時十六分開議

○議長(公爵徳川家達君)是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス、午前ニ引續キマシテ居リマス通告順ニ依リマシテ質疑ヲ許シマス、上山君

「上山満之進君演壇ニ登ル」

○上山満之進君 競馬法案ニ付キマシテ二三點質疑ヲ致シタイト思ヒマス、午前ニ引續キマシテ私ノ間ハムト欲シテ居リマシタコトハ大部分午前ニ湯淺君カラ尋ねラレマシテ政府ガ是ニ答辯ガアリマシタ、政府ノ答辯ニハ了解ノ出來ナイ點ガ澤山アリマスケレドモ、凡テ其重複スル點ハ省キマシテ唯二三點ダケニ付テ御尋ネシタイ、陸軍大臣ハ午前ノ御答辯ニ於テ此競馬法案即チ馬券ヲ許スコトガ刑法ニ禁ゼラレタル賭博ノ一部分ノ禁ヲ解イタモノデアルト云フコトハ御認メニナッタ、私ノ聽カント欲スル所ハ、今日ノ如キ時代ニ於テ刑法ノ賭博ノ禁マデ解イテ、何故馬ノ一部分ノ改良ヲシナケレバナラヌカト云フ點ニアルンデアリマス、毎々而カモ數年來此議場ノ問題ニナリマシタ綱紀ノ肅正ヲドウ御覽ニナルノデアリマセウカ、近年ノ社會ノ風教ノ弛廢シタコト、綱紀ノ紊亂シタコト、之ニ伴テ官吏社會デハ官紀ノ廢頽シタコトハ、普ク人ノ知ル所デアッテ、現内閣ハ綱紀ノ振肅ヲ以テ重要ナル使命トシテ立ツタノデアリマス、サレバコソ現内閣ハ就任ノ初メニ於テ其三大政綱ノ一、而カモ其筆頭ニ綱紀ノ振肅ヲ掲ゲテ居ルノデアル、而シテ内閣成立以來茲ニ八箇月、如何ナル點ニ於テ綱紀振肅ノ實ガ舉タノデアリマセウカ、之ヲ言フコトヲ甚ダ私ハ遺憾トスルノデアル、ソレハ別ト致シテ、斯ノ如キ事情ノ下ニアッテ更ニ風紀ヲ紊亂シ、綱紀ヲ壞廢スルト云フヤウナコトヲナサルト云フコトガ、ドウシテモ諒解ガ出來ナイ、此點ニ付テ今少シ徹底シタ御論ヲ伺ヒタイ、陸軍大臣ハ陸軍事務ノ主管者デアリマスノデ、斯ル大體問題ニ付テハ餘リ感興ヲ御惹キニナラヌカモ知レマセヌ、併シ國務大臣トシテハ、最モ深ク御考慮ニナラケレバナラヌコトデアル、私ハ斯ル立場ニ居ラレル陸軍大臣ノ御答辯ヲハウト申サヌ、陸軍大臣ガ御答ヘニナッテモ差支ハアリマセヌガ、出來マスナラバ國政ノ全般ヲ背負テ居ラレル總理大臣ノ御答ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、其次ニ伺ヒタイコトハ唯今提出ニナッテ居リマス競馬法案ト馬政委員會トノ關係デアリマス、私ハ馬政委員會ニハ何等ノ關係ヲ有ツテ居リ

マセヌノデ、此質問ヲ發スルニ極メテ便利ナ立場ニ在ルト自分ハ思フノデアリマス、抑モ馬政委員會ハ何ノ爲ニ設ケラレタ、馬ノ行政ニ關スル重要ナル事項ヲ詰問スルコトニナッテ居ルダラウト思フノデアリマス、馬ノ行政ニ關スル最モ重要ナル事項ノ一ツニ馬券問題ガ無イト仰セニナルノデアリマセウカ、寧ロ馬政委員會ノ設ケラレタノハ、從來贊否兩論ノ紛糾シテ居ツタ馬券問題ヲ解決スルノガ私ハ唯一ノ目的デアラウト思フ、然ルニ拘ラズ此度提出ニナリマシタ競馬法案ハ馬政委員會ニ掛ケナイ、馬政委員會ノ議ヲ經ナイデ唯馬政委員會ニ斯ノ如ク議ガ決定シタト云フコトヲ報告シタニ止ツタサウデアリマス、凡ソ政府ガ或事項ヲ審議スルニ必要ナリトシテ設ケタ機關ガアリナガラ、其機關ニ豫テ審議セント欲シタ重要ナル問題ヲ詰問シナイデ、俗ナ言葉デ申セバ出シ抜イテ、サウシテ進行ヲスルト云フコトハ、ドウ云フ譯ナノデアリマセウ、甚ダ當局ノ御態度ニ付テ私ハ疑問ヲ抱カザルヲ得ナイ、自ラ設ケタ重要ナル機關ヲ自ラ輕ンズルト云フコトガ、廳テ又官紀ノ廢頽ト云フコトニモナルヤウニ私ニハ考ヘラレル、此惑ヒヲ第二ニ解イテ戴キタイ、第三ハ競馬法案ノ提出ノ時期ニ付テノ御尋デアリマス、御承知ノ通りニ馬政ハ從來陸軍ノ所管デアリマシタケレドモ、大正十二年度ヨリハ農商務省ノ所管ニ移ルコトノ計畫ヲ現内閣ハ立テラレタ、現ニ唯今色ゝノ點ニ於テ其豫算ガ審査サレテ居ル最中デアリマス、惟フニ是ハ議會ノ承認モ經テ政府ノ豫定通リ大正十二年度即チ來四月一日、更ニ詳シク申シマスレバ今日ヨリ二日ノ後ニハ馬政事務ハ全部農商務省ニ移ルノデアリマス、此時期ニ於テ競馬法案ナルモノヲ陸軍省カラ御出シニナッタト云フコトハ、ドウ云フ趣意デアリマスカ、成程事務ノ引繼ギノ場合ニ當ツテ、引繼ノ爲ニ何カ必要ナ過渡ノ規程デモアレバ、ソレハ當然ノ處置デアリマセウ、併ナガラ競馬問題馬券問題ハ馬政ノ上ニ非常ナ重大ナル位置ヲ有ツテ居ルモノデアル、サウシテ是ハ事務ノ引繼ギニ對シテ何等ノ關係ヲ有タナイ問題デアルト云フコトハ申スマデモナイ、ソレヲ此機會ニ於テ御出シニナッタコトハ如何ニシテモ、私ニハラナケレバナラヌコトデアル、私ハ斯ル立場ニ居ラレル陸軍大臣ノ御答辯ヲ實行スル人ガ同一デアル事ヲ必要トスル、如何ニモ農商務大臣モ國務大臣デモナニ、ソレヲ此機會ニ於テ御出シニナッタコトハ如何ニシテモ、私ニハラナケレバナラヌコトデアル、私ハ斯ル立場ニ居ラレル陸軍大臣ノ御答辯ヲトシテ此案ニ御賛成ニナッタデアリマセウ、併ナガラ此案ハ明カニ農商務省デハ審査セラレナカッタ案デアルト私ハ思フ、此案ガ通過ノ曉ニ於テ陸軍大臣ハ何等ノ責任ヲモ持タナイノデアリマス、是ハ申スマデモナイコトデアリ

マス、此案が出来テ其責任ヲ持ツ者ハ農商務大臣デアル、農商務大臣一個人ハ、現在ノ農商務大臣一個人ハソレハ種々ナ事情カラ何時御更リニナルカ知レマセヌガ、併ナガラ農商務省ハ永久ニ其責任ヲ有タナケレバナラヌ、尙ホ人ニ付テ申シマスト、大臣ハ兎モ角モトシテ是カラ先キ實行ノ責任ヲ持ツ者ハ、實行ノ衝ニ當ツテ苦勞ヲスル者ハ何人カト云フト、農商務省ノ畜産課ノ人ミデナケレバナラヌ、畜産局ニナレバソレ等ノ人ミハ其局ニ附屬シテ相當ノ苦勞ヲシナケレバナラヌ、其實行ノ衝ニ當ルベキ人ミハ此法案ニ何等ノ意見ヲモ述ブルコトガ出來ナカッタデアラウト思フ、或ハ之ヲ一見サセラレテハ何カ少々申シタカ、ソレハ私ハ知リマセヌガ、併シ此案ヲ本當ニ實行的ニ考ヘテ自分ガ責任ヲ取ツテ實行スルト云フ立場カラ考ヘルノト、サウデナイノトハ、其審査ノ程度ニ於テ甚ダシキ深淺ノ差ノアルコトハ、申スマデモナイコトト思フノデ、何故ニ此馬券法案ト私ハ申シマス、馬券法案ガ必要ナリトシテモ、何故ニ農商務省ニ馬政ガ管轄ヲ移サレタ後ニ、農商務省デ徐ロニ審議ヲ盡シテ而シテ後ニ提出スルカ、或ハシナイカ、提出ヲスルトシテモ如何ナル形ニ於テ提出スルト云フコトニ決メラレナカッタデアルカ、陸軍大臣ハ唯斯ウ云フムヅカシイモノヲ御決メニナッテ、御決メニナリ放シデ後デ何等ノ責任ヲ御持チニナラナイ、サウシテ此立案ニ付テ深ク關係ヲ持タナイ、或ハ何等ノ關係ヲ持タナイ農省務省ノ人ミガ、此實行ノ苦勞ニ當ラナケレバナラヌ、斯ウ云フ不道理ノコトハ是ハ私ニハ了解ガ出來ヌノデ、此點ヲ御説明ヲ願ヒタイ、是ハ陸軍大臣ガ御答辯下スツテ何ノ差支ハアリマセヌガ、行政全般ノ統一ヲ保ツテ行クト云フ意味ニ於テ此問題ハ頗ル重大ト思ヒマスカラ、御都合次第デ總理大臣カヲ御答下サレバ尙ホ結構デゴザイマス、次ニ伺ヒタイノハ馬政ト産業トノ關係デアリマス、競馬法案ハ國防及産業ノ爲ニ提出セラレタト云フ陸軍大臣ノ御説明デアリマス、綠ヲ迪テグルド廻ツタラバ、産業ニモ關係ガアリマセウガ、直覺イタセバ、實ハ産業ニハ餘リ關係ノナイ案ダト私思フ、抑此馬ノ行政ト云フモノヲ將來ドウシタラ宜イガト云フコトハ、頗ル重大ナ問題デ、ナカナカ困難ナ問題デアル、サレバコソ以前ハ一般ノ馬ノ行政ハ農商務省デ所管シテ居リマシタガ、陸軍方面トノナカナカ折合ガ困難デ、遂ニ内閣直屬ノ機關トシテ馬政局ガ設ケラレ、其後ニ馬政局ガ陸軍ニ移ツテ、又今度農商務省へ移ツテ行クト、斯ウ云フ歴史ヲ持ツテ居ル、陸軍當局ノ希望トシテハ、内地ニ於テ今日ノ百五十萬頭以上ニ多大ノ馬匹ノ

頭數ヲ殖シタイト云フコトガ一箇條デアルラシイノデアリマス、其點ニ付テ伺ヒタイ、本來土地ニ關スル產業ノ發達ノ歴史ヲ見マスルト、種々ノ變遷ヲ經テ、其中デ牧畜ナルモノハ其土地ガ發達スレバスル程衰ヘテ來ルノガ當然ノ順序デアル、先年巖手縣知事ヲシテ居ラレタ私ノ友人ガ、巖手縣ノ產業ノ發達ヲ計ラントレバ馬ヲ廢メルヨリ外ニ途ガ無イト云フコトヲ公言ヲシテ、其爲ニ大變ニヤカマシイ問題ヲ起シタコトガアリマス、此言葉ハ縣知事トシテハ聊カ矯激ニ瓦ツテ居タダラウト私モ思フ、併ナガラ其言葉ノ中ニハ深キ真理ヲ含ンデ居ルコトヲ同時ニ認メザルヲ得ヌノデ、私ハ今日直チニ產馬事業ヲ潰シテ仕舞ハナケレバナラヌト云フノヂヤアリマセヌ、凡ソ事業ノ發達スルノニハ、ソレゾレノ經路ガアツテ、又各々歴史ヲ持ツテ居ルコトデ、一朝一夕ニ人爲ヲ以テ左右スルト云フコトハ勿論出來ナイノデアリマス、又出來テモスベキコトデハナイ、自然ノ順序ヲ經テ、盛衰共ニ其受クベキ當然ノ運命ニ歸著スベキヨリ外ハ無イ、決シテ產馬事業ヲ呪咀スルモノデナシ、又現在ノ產馬事業ノ狀態ヲ破壊シヤウトスルノデハアリマセヌ、唯々經濟理法ハ、遺憾ナガラ牧畜業ガ世ノ發達ト伴フテ其勢ヲ減ジテ、而シテ他ノ地域ニ向ツテ更ニ其生存發達ノ場所ヲ求メルト云フコトダケラ申スノデアリマス、其意味カラ致シテ日本ノ内地ハ近代、殊ニ此明治維新以來驚クベキ進歩發達ヲ遂ゲテ、其利用狀態ガ大イニ進ンダノデアリマス、此土地ニ於テ現在ノ產馬事業ヲ維持スルト云フコトスラ既ニ多大ナ困難ヲ嘗メナケレバナラナイ、然ルニ更ニ其頭數ヲ増加サセル、之ガ爲ニ廣漠タル牧場ヲ新ニ立テヤウト云フヤウナコトハ行ハルベキモノデナイ、將來ノ產馬政策トシテハ滿蒙ノ如キ土地ノ利用率ノ低イ方面ニ向ツテ、其發展地ヲ求メナケレバナラナイ、斯様ニ私ハ考ヘルノデアリマス、殊ニ國防ノ見地カラ言ヒマスルト、私ハ國防ニ付テハ全然素人デアリマスガ、素人ナガラ思フニ、將來萬々一陸軍ノ大兵ヲ動カスコトアリトセバ、蓋シ亞細亞ノ東北ノ部分デアラウト思ハレル、果シテサウデアツタナラバ、其方面ニ於テ軍馬ヲ養成スルト云フコトガ國防上カラモ適當デナイカト考ヘルノデアリマス、是ハ全然素人ノ申スコトデ、私確信ヲ持チマセヌケレドモ、サウ云フ風ニ素人ナガラ考ヘテ居ルト云フコトヲ附加ヘテ申上ゲルノデアリマス、要領ハ將來ノ產馬事業、是ハ内地ノ關係、及ビ植民地ノ關係、之ニ付テノ御考ヲ承リタイ、是ハ陸軍大臣カラ勿論承リマスルガ、實ヲ申セバ、馬政ガ農商務省へ移ツテ、軍馬ノ關係、農馬ノ關係

係其他各種ノ馬ノ用途ニ付テ、公平ニ慎重ナ調査ヲ農商務省ガ遂ゲタ上デ、斯クノ如キ問題ヲ決定シテ貰ッテ、サウシテソレヲ我ガ承ルコトガ最モ望マシイコトナノデアリマス、今日承ルコトハ其點ダケデ云フト適當デナイト思ヒマス、併ナガラ斯ル問題ガ矢張リ今ニ馬政局ヲ捨テントセラル陸軍カラ提出セラレタ以上ハ、矢張リ馬ニ付テ各省大臣ノ中デ比較的智識ヲ持ッテ居ラレルト推定セザルヲ得ナイ陸軍大臣カラ此點ノ御答辯ヲ伺ヒタイ

〔國務大臣山梨半造君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(山梨半造君) 御答イタシマス、第一點ノ刑法ノ禁ヲ解イテ、此風教上ヲ害スルト云フノハ、綱紀肅正ニ害ガアラウ、斯ウ云フコトデアリマス、私ハ本日午前ニ於テ是ガ全然賭博デアルヤ否ヤト云フコトハ私ハ申上ゲズニ、此競馬ト云フモノニ付キマシテハ、斯ノ如キ著眼點ガアルカラシテ著シク是ガ達ツテ居ルヤウデアル、斯ウ云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、是ハ刑法ノコトニ關シマシテハ、司法當局者ヨリ須ク詳細ニ説明シテ頂戴シタ方ガ宜カラウト思ヒマス、ソレデ風教ヲ害スル、斯ウ云フコトデアリマシタガ、私ハ此法案ヲ説明イタシマスル時ニ付キマシテモ、此風教ヲ害スル點ハ著シク注意ヲ密ニシテ、サウシテ是等ノ弊害ヲ杜絶スルコトニ努メテ、サウシテ今度ノ法案ニ於テハ此風教ヲ害スルト云フコトハ、大體ニ於テ其要ヲ得タモノト實ハ考ヘテ居ツタノデアリマス、ソレデアリマスカラ、綱紀肅正ヲ一般ニ行フト同時ニ此競馬法ヲ施行シテ、尙ホ其監督ヲ密ニシタナラバ、此風教ヲ紊亂スルト云フコトハ概略之ヲ杜絶シ得ルモノト信ジテ居ルノデアリマス、ソレカラ第二點ノ問題ニ於キマシテ、馬政委員會ハ主トシテ此競馬法ニ付イテ設ケラレタ、斯ウ云フヤウナコトデアリマス、是ハ此事モ問題トナツテ付議サレタコトデアリマス、此外ニ付テモ、重要ナ案件ガアリマシテ、是ハ各其當時付議セラレタノデ、第一期計畫ニ於キマシテハ、大體其問題ガ研究サレ終ツテ、殘ツテ居ルノガ、唯此馬券問題ダケデアリマス、併シ馬券問題ト云フコトニ付キマシテモ、其時期ト方法ハ廟議ニ委セルガ、兎ニ角此馬匹ノ旺盛ヲ來スノニハ、此馬券問題モ一方ト云フコトガ會議ニ於テ認メラレタノデアリマス、サウシテ此會議ニ於テ著シク馬券問題ハ詳細ニ論議サレマシテ、大體ニ於テ此缺點等ハ遺憾ナク摘發サレマシテ、凡ソ是ダケノ摘發セラレタモノヲ防止イタシマシタナラバ、先づ風教ヲ害スルコトガ出來ナイダラウト云フ實ハ方針ヲ得タヤウニ、私ハ考ヘタノデアリマス、ソ

レデアリマスカラ、此論議サレテ改正ヲ要スル點ヲ詳細ニ考ヘマシテ、殆ド此消極的ニ之ヲ立案イタシマシタナラバ、私ハ實ハ其意思ヲ得タモノト考ヘタノデアリマス、シテ時期モ漸次切迫ニナツテ居リマシテ、此會議ヲ開クノ時日ヲ失フト云フヤウナ虞ガアリマシタ爲ニ、敢ヘテ會議ヲ開カヌトカ云フ積リデハナカツタノデアル、其時機ヲ得ズ甚ダ殘念デアツタ次第デアリマス、ソレハ既ニ決定イタシマシタ爲ニ唯之ヲ報告ヲスルト云フコトニ致シタ譯デハアリマセヌ、其會議ニ論議サレタコトハ著シク尊重シタノデアリマス、尊重イタシマシテ成案ヲ更ニ熟議ヲ願ヒタカツタノデアリマスガ、右ニ申シマシタ譯デ其時機ヲ得ナカツテ、私ハ甚ダ殘念ニ思ツテ居ル次第デアリマス、決シテ此無視シタト云フ譯デハゴザイマセヌ、是ハ御了承ヲ願ツテ置キタイト思フ、第二點ハ此法案ノ提出ノ時機ニ付テ御尋ねガアツタノデアリマス、此案ヲ作リマシテ之ヲ完成スルニ付キマシテ、農商務省ノ當局者トハ熟議ヲ致シマシテ、農商務省ニ移管シヤウガ、陸軍省ニ於テ之ヲ處理シヤウガ、決シテ異存ノナキマデニ熟議ヲ實ハ凝シタノデアリマス、ソレデアリマスカラシテ、實ハ是ハ農商務省ト同時ニ本省ハ出サウカト、斯ウ云フ議モアリマシタケレドモ、是ハ目下所管ガ陸軍省ニナツテ居ルカラ、陸軍大臣ノ名デ出スト云フコトニ、實ハシタノデアリマス、デ農商務大臣トモ其協議ハ宜ク致シマシテ決シテ農商務省ニモ之ニ付テハ、此案ニ付テハ異存モナク、此實行ニ付テハ又異論ガナキ筈デアリマス、而シテ何故之ヲ農商務省ニ移ス時期ニ於テ提出シタカ、斯ウ云フコトニ付イテ申上ゲマス、是ハ御存ジノ通りニ會計ノ十一年度ニ於キマシテ、馬匹ガ著シク減少セキバナラヌ、斯ウ云フコトニナツタノデアリマス、百五十萬頭アル中、千六百頭ノ購買ガ減少テモ、馬產地ニハ何等關係ガナイヤウニチヨット考ヘラレマスガ、決シテサウデハナイノデアリマス、要スルニ軍馬ノ購買ガ一耀場ニ於テ二、三頭デアツタ所モアリマスルガ、之ニ依フテ此耀場ノ景況ヲ維持シテ行クト云フヤウナ狀況デアリマス、現ニ十一年度ノ秋ノ購買ニ掛ツタ時ニ是等小サナ耀場ヲ皆購買ヲ止メルト云フヤウナコトニナリマシテ、其耀場ニ非常ナ打撃ヲ與ヘマシタ爲ニ、產馬地ニ恐慌ヲ來タシタ、斯ウ云フコトデアリマスカラシテ、何等カ免ニ角ケノ摘發セラレタモノヲ防止イタシマシタナラバ、先づ風教ヲ害スルコトガ之ニ代ツテ馬匹ノ生産ヲ多クスル方法ヲ求メネバナラヌ、斯ウ云フコトガ

切ナル爲ニ、此一萬三千頭ノ軍馬ノ減少シタノハ、此一大時期ヲ茲ニ劃シタ  
モノト信ジマス、之ヲ補足スル爲ニ一日モ緩フスルコトガ出來ナイ爲ニ、移  
管スル其間際ニ提出スルノ已ムヲ得ニヤウニナツタ次第デアリマス、ソレカ  
ラ第四點デアリマスガ、是ハ餘リ此競馬ハ產業ニ關係ガアルマイ、斯ウ云フ  
コトデアリマスルガ、是ハ午前ニモ申シ上ゲマシタ通リニ此競馬ニ於テ良種  
牡馬ヲ得ヤウト、斯ウ云フノデアリマスカラ、是ガ產馬ノ根源ニナツテ居リ  
マスカラ、產業ニ關係ノナイトハ申サレヌヤウニ思フ、ソレカラ陸軍ニ於テ  
ハ百五十萬頭ヲ更ニ増加スルコトヲ希望シテ居ル、而モ之ヲ内地ニ求ムル、  
斯ウ云フヤウナコトデアリマスガ、是モ馬政委員會ニ掛ケマシテ研究ヲ願ッ  
タノデアル、是ハ種々ノ方面ト交渉ヲ致シマシタ、上山君ノ御尋ノ通リニ内  
地ハ著シク開墾サレル爲ニ、此廣漠タル土地ヲ得ルト云フコトハ甚ダ困難ト  
云フコトハ、其時ニモ明瞭ニ分ツタノデアリマス、分ツタ爲ニ此馬數ノ増加ハ  
多少マダ開墾ノ餘地ノアル原野ヲ有スル地方ニ之ヲ求メナラヌノデ、之  
ヲ先ヅ北海道ヨリ朝鮮ニ飼養シヤウト云フコトニナリマシテ、現ニ陸軍ノ牧  
馬場モ之ヲ一ツハ朝鮮ニ移シ、又一部分ハ内地ヲ止メテ之ヲ北海道ニ移スト  
云フヤウニ、著々其意見ヲ實行シツツアル次第デアリマス、上山君ノ御説ニ  
依リマスルト云フト、滿蒙ニ求メタナラバ後來豫想セラレル所ノ大兵ヲ動カ  
ス地ニ馬ヲ得ルヤウニナルガラ、是ハ宜カラウ……ソレハ御尤ノ御説デアリ  
マス、御尤ノ御説デアリマスルガ、此滿蒙ガ……甚ダ申シ兼ネマスガ、是  
ハ假想デアルカラ、敢テ此處デ申述ベル次第デアリマス、日本軍ノ所有ニ歸  
シテ其購買等ガ自由ニナレバ、是ハ如何ニモ上策デアリマスルガ、是ガ領有サ  
レルト云フコトハナカナカ一朝一夕デハ到底出來ヌコト、思ヒマス、シテ見  
レバ滿蒙ノ此良馬ヲナカナカ日本ノ自由ニハ成リ兼ネルモノガ多カラウト思  
ヒマス、併ナガラ果シテサウ云フコトガ假想シ得ラル、ナラバ、一部分ナリ  
トモ是ハ利用スルコトガ出來マスナラバ、日本ニ於テ之ニ產馬ヲシヤウト云  
フコトニナリマスルト、是又隨分困難デアルマイカト、斯ウ云フ節モアリ  
マス、唯糧ニ敵ニ賴ルト云フ方法デ、滿蒙ノ狀態ハ、即チ占領地ノ狀態ハ、  
滿蒙ノ馬匹ヲ利用スルト云フコトハ、是ハ假想ノ下ニアツテハ甚ダ良イ策ト  
思ヒマスガ、デアリマスカラ此滿蒙ニ於ケル馬匹ハ斯ノ如キ假想ガアルナラ  
バ、是ハ取調べテ置クト云フコトハ甚ダ必要ト、斯ウ云フコトノ結論ニナリ  
行クダラウト斯ウ考ヘテ居ル

○上山滿之進君　今日ノ競馬法案ト綱紀問題トノ關係ニ付テ陸軍大臣ノ御答  
辯ハ私ニ能ク分リマセヌ、陸軍大臣ハ一方ニ綱紀振肅ヲスル、一方ニ馬券ヲ出  
ス、何ノ差支セナイト云フ御話デアリマス、片手デ胃散ヲ飲ミツ、片手デ暴飲  
暴食ヲスルト云フコトニシカ取レナイ、陸軍大臣ハ綱紀問題ニ付テ餘リ趣味  
ヲ有ツテ御出ニナラス、此上陸軍大臣ニ向ツテ問フテモ仕方ガアリマセヌ、丁度  
總理大臣ガ御出ニナリマシタカラ、總理大臣ニ先刻伺フ積リテ演壇デ申述ベ  
マシタケレドモ、御出席ガアリマセヌデ、今其要領ヲ極ク簡單ニ申述ベテ御所  
見ヲ伺ヒマス、綱紀ノ振肅ガ今日ノ喫緊ナル要務デアルト云フコトハ、總理大  
臣モ能ク御承知ノコトデ、又總理大臣ハ之ニ對シテ全力ヲ盡シテ居ルト仰セ  
ニナツテ居ル、此時ニ當ツテ一口ニ云ヘバ賭博ヲ許スト云フコトハドウ云フ事  
柄ナンデアリマセウ、此馬券ヲ許スト云フコトガ風紀ニ深ク關係ノアルト云  
フコトハ誰モ否認スルコトガ出來ヌダラウト思フノデス、陸軍大臣モ是ハ御  
否認ニハナラナイ、唯陸軍大臣ハ此制裁ハ極ク嚴重ニスル、故ニ大部分ハ弊害  
ヲ除クコトガ出來ルト信ズルト、斯ウ云フ風ニ仰セニナリマスケレドモ、抑  
國民ニ公ニ賭博ヲサスト云フコト自體ガ非常ナ弊害デアル、其自體ヲ許シテ  
置イテ其末節ヲ多少イデクラレテモ、ソレハ弊害ヲ輕クスルコトニハナリマ  
セウガ、弊害ヲ根絶ノ出來ナイノミナラズ、弊害ノ大部分ハ依然トシテ其儘ニ  
シテアルノデ、寧ロ言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、其弊害ヲ起スノガ其馬券ノ目的デ  
アル、ソレヲ起シタ上デ根絶スル方法ヲ採ルト云フコトハ、片手デ暴飲暴食ゾ  
シ片手デ胃散ヲ飲ムノト同ジコトデアル、總理大臣ハ今日ノ綱紀問題ヲ如何  
ニ御考ヘニナルカト云フコトヲ疑ハザルヲ得ニヤウニナル、其點ニ付テノ御  
ゴザイマスガ、總理大臣ノ唯今ノ御答辯ヲ伺ツタ上デ申述ベマス

〔國務大臣男爵加藤友三郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵加藤友三郎君)　上山君ノ競馬ト綱紀肅正ト之ガ關係ニ付テ  
ノ御意見ハ一應御尤モナ御意見ト私モ認メルノデアリマス、勿論綱紀ヲ肅正  
イタシマスル上ニハ、之ニ惡影響ヲ及ボスベク考ヘラレマスル事柄ハ如何ナ  
ル事柄デモ之ヲ致サナイニ越シタコトハナイト思フ、此點ニ付キマシテハ異  
論ノナイコトデアラウト思ヒマス、今回ノ競馬法案ニ付キマシテ、其内容ニ  
於テ金ヲ賭ケルト云フコトガ即チ綱紀肅正ノ趣旨ニ反スルト云フ御意見ハ一  
應御尤ニ私モ考ヘル、此見地カラハ私ハ實ハ希望イタサナイノデアリマ

ス、併ナガラ一方ニ於キマシテハ良イ馬ヲ作リタイト云フ希望ハ國家トシテモ、軍事上ノ見地カラモ、各種ノ方面カラノ多年ノ要望デアルノデス、而シテ此要望ヲ充タサウト致シマスルニハ、今日マデ政府ノ考ヘテ居リマスル所デハ、此法案以外ニ良案ヲ見出シ得ナイノデアリマス、良案ヲ見出シ得マセヌガ爲ニ、多クノ弊害ヲ來サナイ範圍内ニ於テハ、一方馬ヲ獎勵スルト云フ方ノ側ノ利益ガ大デアル、決シテ之ガ爲ニ弊害絶無ナリトハ當局ト致シテモ考ヘ得ラレナイノデアリマス、良馬ヲ得ル方ノ利益大ナリト考ヘマシテ、此法案ヲ提案イタシタ次第デアリマス、故ニ綱紀肅正ト云フ一點カラ考ヘマスレバ、上山君ノ御意見ハ私ハ更ニ異存ハナイ、私一個ト致シマスレバドチラカト云ヘバ希望シナイ、綱紀肅正ト云フ一點カラ考ヘマスレバ……併シ良馬ヲ得ル方法ヲ講究スル上カラ見マシタナラバ、已ムナク此法案ヲ提案シ之ガ成立ヲ希望イタザルヲ得ナイ、斯様ナ次第デアリマス

○上山滿之進君 結局意見ノ相違ト云フコトニ歸著スルデアラウト思ヒマスガ、今一言此點ニ付テ申述ペタイ、馬券ノ發行ヲ許シテ乘馬ノ改良ヲ圖ラウト云フコトハ、陸軍ノ多年ノ希望デアリマスコトハ御承知ノ通リデアリマス、古クカラ問題ニナツテ居ッテ午前ニモ質問應答ノ中ニ現レマシタ節ニ、曾テハ之ヲ默認シテ、弊害ニ堪ヘズシテ中止シタ、更ニ衆議院デ其建議ヲシタ時ニ、時ノ陸軍大臣寺内伯デアリマシタカ、子デアリマシタカ、明瞭ニ反對ノ意見ヲ唱ヘタ、寺内陸軍大將ハ馬ノコトニ付テ特別ニ熱心ナ人、デアッタコトハ私ハ承知シテ居ル、職務上常ニ此馬ノ問題ニ付テ可ナリ烈シク論議ヲサレタコトヲ私ハ記憶シテ居ル、斯ル馬ニ熱心ナ陸軍大臣デアッタ矢張リ此馬券ニ反対ヲシタ明言ヲシテ居ラレ、又其後寺内伯ガ内閣ヲ組織サレテ、其内閣ニ於テモ馬券ノ問題ハ、馬政委員會ニ於テ評議サレタコトト思ヒマスケレドモ、何モ具體的ノ案ニハナツテ居ラナイ、其後ノ内閣ニモ成ラナイ、斯ノ如キ歴史ヲ有ツテ居ルコトハ能ク御承知デアラウト思フ、何故サウデアルカト云フト綱紀ヲ紊亂スルカラト云フコトガ、是ハ唯一ノ理由デアッタ云フコトモ御承認ニナルデアラウト思フ、トヨロガ近年綱紀ノ紊亂斯ノ如ク甚シキ時ニナツテ、今度ハ逆ニ綱紀ノ紊亂ヲスルモノヲ御出シニナルト云フ御精神ガ分ラヌノデアリマス、無論綱紀問題ヲ一切考ヘナケレバ、幾ラ國民ガ博打ラシテモ差支ナイ、幾ラ射倖心ヲ煽ツテモ差支ナイ、盛ニ馬券ヲ出サレル方ガ馬ダケハ良クナルデアリマセウ、ケレドモソレデハ國民ハ堪ラナイ、サ

レバコソ長イ歴史ヲ持ツテ居ル馬券問題ガ今日マデ頭ヲ擡ゲ得ナカッタノデアリマス、然ルニ今日ハ斯ノ如ク綱紀ノ紊亂シタ世ノ中ニ於テハ、又綱紀ノ肅正ヲ最モ重大ナル任務ノ一ツシテ居ル内閣ニ於テ、突忽トシテ是ガ現ルト云フコトガ、ドウシテモ不思議 NANDA、況シヤ先刻申述ベタ通リニ、陸軍大臣ハ折角設ケラレタ馬政委員會ヲ抜カレテ、サウシテ今日ヨリ日デ數ヘテ二十日ノ後ニハ馬政ハ總テ農商務省ニ行カウト云フ今日唯今、陸軍大臣ノ手ニ依ツテ、此重大ナル案ガ出サレタ、彼是ヲ考ヘ合セテ、如何ニシテモ了解ガ出來ナイ、此意味ヲ以テ私質問ヲ致シタノデアリマス、此以上質問シテモ、意見ノ相違ト云フコトニ結局落付クノデアラウト思ヒマス、私ハスル時代ニ於テ、斯ル賭博行爲ヲ公認スベキモノデナイト思ツテ居リマス、是ダケニ此點ハ止メテ置キマス、ソレカラ後ノ陸軍大臣ノ御答辯ハ、第三、結リ何故ニ今馬政ヲ農商務省ニ移サウトシテ居ル此時ニ當ツテ、態々陸軍省カラ御出シニナルカト云フ問ヒニ對シテハ、農商務省ト宜ク打合セテアル、斯ウ仰セニナル、是ハサモアルベキコトナノデアリマス、併ナガラ私ノ申シタノハ、サウ云フコトダケデヤナイ、矢張リ農商務省ガ自分ノ手ニ此問題ヲ執ツテ十分ニ研究シタ上デ、サウシテ進退ヲ定メナケレバナラヌ性質ノモノデアル、ソレダケ重大ナモノヲ此場合ニ御出シニナツタト云フコトニ對シテノ御答辯ハ甚ダ満足ヲシナイ、陸軍大臣ハ其理由ノ一ツシテベ、一萬三千頭ノ軍馬ガ市場ニ出テ行クカラ、ソレデ困ルカラ之ヲ出シタノダト云フコトヲ理由ノル、斯ル重大ナモノヲ此場合ニ御出シニナツタト云フコトニ對シテノ御答辯ハ甚ダ満足ヲシナイ、陸軍大臣ハ其理由ノ一ツシテベ、一萬三千頭ノ軍馬ニ依ツテ、馬ノ市價ガドノ位シマセウカ、低落スルノヲ防グ爲ニ永久ニ國民ハ而モ是ハ青年ガ餘程之ニ興味ヲ持ツテ居リマスガ、第二ノ國民タル青年ノ馬ニ依ツテ、馬ノ市價ガドノ位シマセウカ、低落スルノヲ防グ爲ニ永久ニ國民ハ而モ是ハ青年ガ餘程之ニ興味ヲ持ツテ居リマスガ、第二ノ國民タル青年ノ氣風ヲ廢穎サセルト云フコトヲナナルコトガ分ラヌ、斯ウ云フノガ私ノ趣意デアリマス、是ニ付テハモウ質問ヲ致シマセヌ、ソレカラ第四ノ點ハ即チ日本ニ馬ヲ盛ニスルト云フコトハ時代錯誤デアル、サウ云フ主張ハ時代錯誤ナリト云フコトヲ申シタ、是ハ大體御同意下サツタヤウデアリマス、大變私シテモ差支ナイ、幾ラ射倖心ヲ煽ツテモ差支ナイ、盛ニ馬券ヲ出サレル方ガ馬ダケハ良クナルデアリマセウ、ケレドモソレデハ國民ハ堪ラナイ、サ

意デアッタナラバ、内地デ態トスノ如キ綱紀ヲ素シ、風紀ノ廢颓スル虞ノアルモノヲ、今泡ヲ食ツテヤラナイデモ、馬政ガ農商務省ニ移ツタ曉ニ於テ、農商務省デ能ク慎重ナ審理ヲ經テ、然ル後ニ若シ私ノ先刻申述ベマシタ、而シテ陸軍大臣ガ大體ニ於テ御同意下サッタ點ガ善イト云フコトナラ、其方ニ對シテ其軍馬ノ仕事ヲヤルナラバ、内地ニ於テ斯ノ如キ將來恐ルベキ制度ヲ此場合ニ設ケルト云フコトハ適當デナイト思フ、旁々是ガ農商務省ニ行ツテ能ク研究サレテ、而シテ此案ヲ出ス出サヌト云フコトニ決メルコトガ適當デナイカト云フ私ノ腹ガアッテ質問シタノデアリマス、其點ハ御尋ネスル必要ハナイ、第二ノ點ニ戻ツテ馬政委員會ノ問題ハ、今質問スルコトヲ御許シヲ願ヒタイ、陸軍大臣ハ、馬政委員會デ競馬法案ノ大體ハ同意ヲ經タモノトハ仰セラレナカッタガ、同意ヲ經タル同様ナモノダト云フ御答辯ガアリマシタ、是ハ私ノ知ツテ居ル限リデハサウデナイ、ドウ云フ點ヲ以テ現ニ提出サレテ居ル競馬法ノ大體ニ馬政委員會ハ異論ノナイモノダト仰セニナルノデアリマスカ、是ヲ明カニ御答ヲ願ヒタイ、私ハサウデナイト思フ、馬政委員會デハ、何ノ議モ決ラナイ、モウ少シ露骨ニ申シマスト、馬政委員會ニ掛ケルト、ナカナカ面倒デ仕方ガナイノデ、ソレデ馬政委員會ニ掛ケヌデモ宜イト云フ風ニ私ニハ了解サレル、若シサウデアルト甚ダ宜シクナイコトデアリマスカラ御尋ネシタノデアリマス、故ニ馬政委員會ハ此法案ヲ大體認メテ居ルモノト云フ風ノ御答辯デアッタナラバ、若シサウデアッタナラバ、ドウ云フ點ヲ馬政委員會ガスウ云フ意見ヲ持ツテ居ルト云フコトヲ仰セニナルカ伺ヒタイ、質問ハ此點ダケ……

〔國務大臣山梨半造君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(山梨半造君) 御答イタシマス、御答ノ前ニ當リマシテ、私ノ申シタコトガ少シ誤解サレテ居リマスノデ、私ノ言ヒ方ガ惡カッタノデ、ソコデ價ヲ安ウスル爲ニ之ヲ設ケル、斯ウハ申サナカッタノデアリマス、私ハ一萬三千頭ノ馬ガ減ッタ、ソレガ爲ニ千六百頭ノ購買馬數ヲ減ラサネバナラヌヤウニナツカラト、斯ウ申上ゲタノデアリマス、陸軍省デ買上ゲル馬ガ千六百頭バカリ減ル譯ニナルカラ、唯ココデ申上ゲタノデアリマスカラ、チヨット申上ゲテ置キマス、ソレカラ第四點ニ付テ、朝鮮ニモ產馬ヲ獎勵シタラ宜カラウ、是ハ私共最モ意ヲ得タコロデアリマシテ、既ニ著手ヲ致シテ居リマ

スカラ、是ハ御了解ヲ願ヒマス、而シテコ、デチヨット申上ゲテ置カネバナラヌノハ、此產馬地ニ唯軍馬ノ養成ヲシタラ宜カラウ、斯ウ言ヒマスガ、軍馬ハ唯購買スル場所ダケデ、是ハ僅少ナモノデアル、我よりガ馬ノ餘計ニ存在スルコトヲ欲スルノハ戰時ノ爲ニ之ヲ養成スルノデアリマス、ソレデアリマスカラ、寧ロ私共ハ產馬地ニ目的ヲ附ケズシテ、馬ハ之ヲ需要スル地方ニ附イテ居ル次第デアリマス、產馬ノ獎勵ハ詰リ需要地ニ於テ其結果ヲ陸軍ニ持チ來ス、斯ウ云フヤウナ譯ニナツテ居ル、唯產馬地ハ我よりガ購買スル馬ノ一部分ガ買ハレルダケデハ、戰時ニ要スルトコロノ此馬ハ、之ヲドウシテモ需要地ニ多ク求メネバナラヌ、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマスカラ、假令產馬地ヲ北海道朝鮮ニ移シマシテモ、此馬ノ需要地ハ内地ニシテ置カネバ非常ニ不利益ヲ來タス、斯ウ云フノデアリマス、ソレデ内地ニ此需要スルモノ、澤山ヲ存在サセルコトガ最モ必要ナノデアリマス、ソレカラ私ガ第二點ニ申シマシタノハ矢張リ私ノ言ヒ方ガ惡カッタ、私ハ御同意ヲ得タコトハ申上ゲナカッタ、此弊害ノアル點ハ委細論及サレタ爲ニ茲ニ於テ其弊害ヲ除去スル其標準ヲ得タノデアリマス、標準ヲ得タ心得マシタカラ、其標準ニ掛ケタカッタノデアリマスガ、殘念ナガラ其時期ヲ得ナカッタカラ掛ケナカッタ、此點ヲ申上ゲテ御了承ヲ……

○上山滿之進君 唯今第二ノ點ニ付テ陸軍大臣ハ馬政委員會ハ、此馬券發行ヲ許スト云フコトニ大體同意デアッタト云フ風ニ仰シヤツタト承リマシタガ、是モサウデナカッタノデアリマスカ

〔國務大臣山梨半造君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(山梨半造君) ソレハ私ハ此競馬ト云フコトヲ施行セナケレバナラスト云フコトダケハ認メテ貰ツタ、此事ヲ申シタ積リデアッタ

○上山滿之進君 私ハ廣イ意味ノ競馬デ御尋ネシタノデハナイノデ、此競馬法案ハ、即チ馬券ヲ骨子トシタ競馬ヲ馬政委員會ハヤラナケレバナラヌモノト云フ意見デアッタト云フヤウナ風ニ御話ニナツタト思フノデアリマス、サウデアリマスカラ、如何デアリマスカラ、若シサウデアレバドウ云フ點ヲ以テサウ御認メニナリマシタカ、之ヲ具體的ニ伺ヒタイ、モウ少シ具體的ニ申スト、馬政委員會ノ速記録ナルモノガアル筈デゴザイマスガ、ソレニ付テ御答ヲ願

ヒタイ

## 〔國務大臣山梨半造君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(山梨半造君) 私ハ馬券ニ伴フ競馬ト云フコトハ馬匹改良ニハ必要ヲ認メマス、斯ウ云フコトニ解シテ居リマス

○上山滿之進君 私唯今ノ意味ガ能ク分リマセヌガ、私ノ御尋ねシタノハ、馬券發行ヲ許スト云フコトガ馬匹改良ニ必要ナリト云フコトノ陸軍省ノ意見ヲ馬政委員會ガ大體ニ於テ認メタノデアル、斯ウ仰セニナツタト思フ、其通リデアリマスナラバ、何ニ依テサウ仰セニナルカト云フコトヲ伺ヒマス、私ノ聞ク所ニ依レバサウデナイヤウデアリマスカラ、是ハ大事ナ點デアリマス、若シ陸軍大臣ノ仰セニナルヤウニ、馬政委員會ガ馬券發行ヲ馬匹改良ノ爲ニ必要ナリト云フコトヲ大體認メテ居ルト云フコトデアルナラバ、理論ノ上ハ別トシテ、實質ニ於テハ今度馬政委員會へ此案ヲ御掛ケニナラナイコトガ自ラ分カルノデ、是ハ私ノ聞ク所ニ依ルト、馬政委員會ハ馬券發行ノ可否ニ付テハ何等ノ意見ヲモ是マデ決メテ居ナイ、其決メテ居ナイ馬券發行ガ骨子ニナツタ競馬法案ヲ馬政委員會へ掛ケヌデ御出シニナツタト云フコトデアル故ニ、餘程了解スベカラザルコトデアルト云フコトニ私ハ思ヘルノデ、此點ハ大事ナ點デアリマスカラ、私ノ先刻承ツタ通リデアリマスレバ、斯ウ斯ウノ事柄ガアツカ左様ニシタイト云フコトヲ、願ハクバ馬政委員會ノ速記録ニ付テ、會議錄ト申シマスカ、記録ニ依テ御教示ヲ仰ギタイ

## 〔國務大臣山梨半造君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(山梨半造君) 今此處ニハ速記録ヲ持ツテ居リマセヌカラ、速記

錄ヲ朗讀シテ申上ゲルコトハ出來マセヌ、私ハ斯ウ考ヘテ居リマス、馬券ニ伴フ競馬ハ、必要ナラムモ時期方法ハ廟議云々トシテアル、ソレデ私ハ其通り申上ゲタノデアリマス

○上山滿之進君 モウ此邊デ私ノ質問ハ措キタイト思ヒマス、私ノ記憶ト陸軍大臣ノ仰セニナルコトガ違ツテ居ル、私ノ記憶ノ通リデアルト馬政委員會ヘ御掛ケニラヌコトハ非常ニ重大ノコトデアルト思フ、不幸ニシテ唯今御手許ニ其ドチラノ記憶ガ正シイカ明カリスル書類ヲ御持合セガナイサウデアリマス、是ハ書類ノ御捕ヒニナツタ上デ又承ハリタイ、但シ勿論此案ハ特別委員ニ掛ルコトデアリマスカラ、特別委員會デスル點ニ付テ十分ナル審査ノアルコトヲ希望シテ置キマス

## 〔阪本彰之助君演壇ニ登ル〕

○阪本彰之助君 私ハ若シ此競馬法即チ馬券發賣ト云フコトガ國防上及產業上ニ付キマシテ重大ナル關係ガアリ必要ガアルト云フコトデアリマスナラバ、或場合ニハ格別ナル犠牲ヲ拂フト云フコトモ已ムヲ得ヌ場合モアルカト存ジマスノデアリマスガ、私寡聞ニシテ誤ツテ居ルカモ存ジマセヌガ、競馬ニ使フ馬ヲ作ルト云フコトハ國防上ニ要スル馬及產業上ニ要スル馬トハ殆ド沒交渉デアルト存ジマスノデアリマス、成ルホド同ジ馬デアリマスカラ、競馬用ノ馬ノ良イ馬ガ幾ラカ出來マスレバ、其キレッバシガ軍馬用若クハ產業ニ使アルノデアリマス、之ヲ譬ヘテ申セバ車夫ガ病氣ヲシテ居ル、或ハ運轉手ガ居ナイカラ若旦那ラ雇ッテ來テ車ヲ引カセル、マダ免狀ヲ御有チニナラヌ貴公子ニ「ハンドル」ヲ持タセルト云フコトニ近イト思フノデアリマス、競馬ニ使ヒマスル馬ハ甚ダ講釋ラシク申スト、私承ツテ居ル所ニ依ルト「サルブレット」ノ系統ニ屬スル足ノ細イ形ノ良イ馬ヲ使フ、是ガ即チ競馬ニ使フ馬トシテ最モ良イノデアリマス、見ル見ル心地ノ良イ、之ヲ人間デ申シマスト、近頃ノ「ハイカラ」ソロリトシタ、私ノヤウナ弱イ方ノソロリトシタ馬デハナイノデ、走ル奴デアリマスカラ、強イ一方デハゴザイマセヌガ、競馬用ハ形ガ細クテ氣ガ強ク、所謂競馬用ノ馬ト云フモノハ別ニチヤント標準ガアツテ作ルノデアル、之ヲ一般ノ軍馬ナリ產業上ノ馬ニ使フ其獎勵ニ必要デアルカラ競馬ヲ獎勵シテ馬券デモ賣ラセナケレバナラヌト云フコトハ私ニハ少シモ分ラヌノデアリマス、極メテ簡単ニ申シテ宜イコトデアリマスガ故ニ、之ヲ普通ノ農事ニ比べテ見ルト詰ラヌモノデアルケレドモ、幸ニ古來ノ慣習ニ依ツテ產馬地方ハ馬ト云フモノハ可愛イモノデアリマスカラ、飼付ケテ見ルト、オカミサンモ娘モ共ニ此馬ヲ愛シテ養ヒ立テルト云フ良慣習ガ殘ツテ居リマシテ、ソレ故ニ今日マデ馬ト云フコトハ產馬地方デハ相應ニヤツテ居ルノデアリマスガ、偶々此競馬用ニ使ヒマス馬ヲ少數ノ中デアリマスルガ、一頭ガ數千圓ニモナル譯デアリマスカラ、此方ニ向ツテヤルノハ不時ナ利益ヲ得ルノモアリマスガ、普通唯今此案ニ付テ御要求ナサル所ノ普通ノ軍馬、軍馬ト

申シテモ將校ノ乗用ヲ首メ、騎兵ノ使フ若クハ平生ノ乗馬用ニ使フ、下ヅテ  
ハ馬車馬ニ使フ、駄馬ニ使フト云フヤウナ馬ト競馬用ノ馬ヲ作ルト云フコ  
トハマルデ別ノ方面ニ向ツテ使フノデアリマシテ、即チ產馬改良ノ上ニ於  
キマシテ「アングロノルマン」若クハ之ニ類スル系統ノ種ヲ取ラナケレバ  
ナラヌノデアリマス、是ハ無骨ナ大キイ所ノ式ノモノデアリマシテ、多少  
「サルブレット」ノ血ヲ入レルト云フコトモ必要ダサウデアリマスガ、根據  
ハ「アングロノルマン」ノ系統ノ方ニ置クベキモノダト承ツテ居リマス、此  
方ニ向ツテ目的ヲ達シタ馬ハ競馬ニハ適セヌノデアル、私ニ言ハスレバ此堅  
イ大キイ強イ馬ヲ作ルト云フコトナラ、軍馬ノ買上ニ成タケ大キナ金ヲ御拂  
ヒニナリ、又產馬地方ニ向ツテ相當ノ補助ヲ御與ヘニナリ、普通軍用若クハ  
產業上ニ使フ馬ヲ產スルト云フコトニ向テ相當ニ農家ニ利益ノアル方法ヲ  
御講ジニナルノガ最モ喫緊ノ急務デアルト思フ、之ヲ閑却シテ置イテ、競  
馬ヲ許シテ馬券ヲ賣ラセルカラ、段々馬ガ良クナル、一般ノ馬事思想トハ面  
白イ言葉ヲ使ハレマシタガ、馬事思想ヲ發達スルト云フコトハ、私共ハドウ  
シテモ信ズルコトハ出來ナイ、先刻上山君ハ某地方官ガ、實ハ我ガ縣下ノ產  
業ヲ發達セシメントスレバ、馬ヲ止メタイト云フ述懐談ヲ申シタト云フコト  
デアリマシタガ、是ハ確ニ眞理ノアルコトト私共ハ存ジマスルノデアリマ  
ス、古來ノ慣習デ產馬ヲ致シマス所ハ、成ルベク其良慣習ヲ保存シテ、成ルベ  
ク國家ノ爲ニ馬ヲ產セシメヤウト思ヒマスルガ爲ニ、地方官ハ相當ニ勉強サ  
レルノデアリマスガ、普通ノ農事ニハ…殊ニ養蠶地方ニハ養蠶ヲシタ方ガ  
餘程利益ニナリマスルノデ、洵ニ不引合ナ仕事デアリマシテ、國家ノ上カラ  
申シテ、產業上ト云フ方カラ申シマスルト引合ハヌ仕事デ、其引合ハヌ仕事  
ヲ引立テル爲ニ、競馬ヲ許シテ馬券ヲ發行スルコトハ、ソレハ單ニ都會ノ地  
ニ於テ射倖心ヲ挑發シ、若クハ僅ナ區域ニ於テ、競馬ヲ造ツテ賣出スト云  
フ、矢張リ產業上カラ言ヒマシテモ、少シ投機的ノ產馬方法ノ部分ダケガ幾  
目的ノ期待セラル所ノ用ハ爲スモノデハナイト私ハ信ズル者デアルノデア  
リマス、併ナガラ再三繰返シテ當局大臣ヨリモ御説明ガアリマスカラ、私ノ  
申ス所ハ全ク誤ツテ居ル、唯今細イ所ノ形ノ紳士的ノ馬ヲ拵ヘテ、ソレデ車  
夫、馬丁、運轉手ハ少し上品ナ方ニ屬シマスルガ、モウチット勞働者ノ方ニ  
向クモノガ、漸次若様ヲ上手ニ育テルト云フコトヲ目的トシタモノガ、勞働者

ノ側ニモ適當スル、之ヲヤレバ勞働者ガ盛シニ殖エルノデアルト云フ御議論  
ハ、ドウ云フ所カラ出ルノデアリマセウカト云フコトヲ承ツテ見タイノデア  
リマス

#### 〔國務大臣山梨半造君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(山梨半造君)御答イタシマス、競馬用馬ガ實用馬トハ全ク違ヒ  
マシタコトハ、數世紀以前ノコトデアリマス、例ヘバ四分ノ一哩ヲ早く走ラ  
セ、長クモ一哩デ勝負ヲ付ケヤウト云フヤウナ當時デアリマス、目下ノ競馬  
ハ決シテサウ云フヤウナ競馬デハナインデアリマス、少クモ一哩多キハ三  
哩、四哩此長距離ヲ走ラセテ其持續力ヲ試スノデアリマス、ソレデアリマス  
カラシテ、此馬政局アタリノ種牡馬デモ、一年一年ニ試験ヲ致シマスルノ  
ハ、其種牡馬中ニ競馬ヲ行ツテ、サウシテ其健康ナルモノハ老年ト雖モ、之  
ヲ種牡馬ノ用ニ立テル、斯ウ云フヤウナ工合ニナツテ居ルノデ、ソレデチヨッ  
ト此競馬用ノ馬ヲ御覽ニナリマスルト、如何ニモ瘠セタヤウニ見エルノデア  
リマス、之ハ總テ脂肪ヲ付ケテ置クト云フト、其競馬ノ時ニ心臓ノ壓迫スル  
等ノ弊害ガアルタメ、又抵抗力ヲ増スト云フヤウナ爲ニ、其脂肪ヲ脱去スル  
爲ニ汲々トシラ、唯競馬ニ堪エル間ダケノソレダケノ飼料ヲヤルノデアリマ  
ス、一朝彼ヲ種馬ニスル場合ハ、通常ノ飼料ヲ與ヘ、多少ノ脂肪ヲソレニ加  
ヘマスレバ、普通ノ馬ニナルノデアリマス、骨格其モノガ備ツテ居ルノデア  
リマス、ソレデアリマスカラシテ、競馬用ト實用馬トハ少シモ懸隔シテ居ラヌ  
ノデアリマス、即チ競馬ニ優秀ナルモノハ、之ヲ種牡馬ニ採用シテ、サウシテ  
之ヲ馬産ニ用ユル、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、ソレカラ如何ニモ產  
馬地ノミヲ獎勵イタシマスレバ、馬ハ殖エルヤウデアル、斯ウ云フノデアリ  
マスガ、是ハ馬ヲ使フ者ガ餘計ナケレバ是モ亦幾ラ馬ガ餘計アッテモ、ヤリ  
方ニ困ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ、馬ヲ成ルベク知ラセテ、午前  
ニモ申シマシタ通り、其馬ヲ利用スル人ヲ澤山造ルノガ必要ナノデアリマ  
ス、ソレデ先程上山君ノ問ニ御答シタ時ニモ申上グマシタガ、陸軍ガ戰時此  
馬ヲ徵發スルニハ、產馬地ニアラズシテ却テ馬ヲ用フル地方ナノデアリマ  
ス、馬ヲ用フル地方ト產馬ノ地方トハ自カラ違ツテ居ルノデアリマス、其點  
ヲ重ネテ私ハ申上グテ置キマス、ソレカラ又競馬ハ都會ノ人ガ云々、是ハ大  
ニ趣ガ違ツテ居ル、東京横濱ニ競馬場ガアルカラサウ仰セデアリマセウガ、  
矢張リ是ハ田舎ノ方ニ澤山、十一箇所中ノ多クハ田舎ノ方ニ散在シテ、殊ニ

產馬地ノ方面ニ餘計ニ設ケテアルノデアリマス、デアリマスカラシテ、此產馬地デ馬ノ直グ出來タモノヲ試ス、又田舎ノ馬ヲ用ユル地方ニ於テハ、益、此馬ノコトヲ深ク知ルヤウニシタイ、斯ウ云フ積リテ、其十一箇所ノ競馬場モ決シテ都バカリデハナイノデアリマス、地方ニ散在シテ居ル次第デアリマス

○阪本彰之助君

先刻上山君ノ御尋ニ對シテ當局大臣ノ御答ニハ此法律ガ若

シ成立シタ曉ニ許ス所ハ極ク範圍ガ狭イヤウナ御答辯デアッタヤウニ承リマ

シタガ故ニ、斯様ナ狭イ範圍ダケニ御許ニナルト云フコトナラバ、是ガ全國的ニ田舎マデ行キ瓦ルモノデナイト認メマシテ述ベマシタノデアリマシタガ、假ニ十一箇所御許ニナルモノト見マシテモ、春秋二回多クモ年二三回競馬會ヲ開キ、ソレダケニ使フ馬ト云フモノハ數ニ限リガアル、之ニハ乗手ガ決シテ乘ルノデアル、競馬ト云フモノヲ見、競馬ヲ喜ブト云フ範圍ハ、……見ルノハ誰デモ素人デ喜ンテ見マスケレドモ、之ヲ非常ニ熱心ニ守リ立テル範圍ト云フモノハ、餘リ廣イモノデナイ、是ガ盛シニ行ハレ馬券ヲ行ヘバ大變人氣ハ引立チマセウガ、ソレガ爲ニ他ノ產馬ガ盛シニ殖エルト云フコトハ本員トシテハ最モ信ジラレヌノデアリマス、ノミナラズ此方ニ一ツ熱ガ上リマスト云フモノハ、餘リ廣イモノデナイ、是ガ盛シニ行ハレ馬券ヲ行ヘバ大變人氣ト非常ニ馬ヲ造ル利益ヲ想像シテ、例ヘバ美術ガ盛シナ時ニ、田舎ノ詰ラナイ人ガ美術々々デ詰ラナイ物ヲ持出シテ、何時モ博覽會へ出シテ落第シテ田舎ヘ持シテ歸ルヤウナコトデ、餘リ實用ニ適シナイ馬ヲ造ルト云フヤウナコトニナリハセヌカ、故ニ寧ロ馬ヲ、產馬地ノ馬ヲ殖ヤスヨリモ、需要者ヲ増スコトガ必要デアルト云ナラバ、競馬ノ爲ニ使フ需要ト云フモノハ限リアルモノデ、ソレヨリハ總テノ人々ガ乘馬ヲ好ム思想ヲ起ス方ガ、前年乘馬飼養令ト云フモノガアッテ、高等官ノ或程度以上ノ人ハ、必ズ馬一頭カ二三頭飼ハナケレバナラナイト云フノガアリマシタガ、今日ハ時代ガ變シテ居リマスカラ、斯様ナコトハ行ハレ難イカモ知レマセヌガ、兎ニ角官吏バカリデナシニ、上流ノ人ガ馬ニ乘シテ歩クト云フコトヲ、一ツニハ流行ニナリ、或一面ニハ先程申シマシタ通リニ軍馬ナドハ既ニ法外ニ高ク、賭博ト云フヤウナ弊害ニ比ベマスレバ國庫ハ少シ餘計ノ金ヲ御出シニナッテモ構ハヌ、種牡馬ナドヲ高ク御買ヒニナリ、馬ノ値ヲ耀上ゲテ、サウシテ馬産者ガ喜ンデ馬ヲ造ル、サウシテ之ヲ利用スルノハ一般ノ上下ヲ通ジテ馬ト云フモノヲ用キルト云フ……近頃自動車ガ流行リマシテ馬車ナドニ乗ラヌヤウニナッタコトハ誠ニ残念デアリマス、馬車ヲ無税ニスルトカ若クハ何等カ方法ヲ設ケテ矢張リ馬

〔國務大臣山梨半造君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(山梨半造君) 御答イタシマス、私ハ午前湯淺君ノ御質問ニ對シ

テ馬ニ關スル思想ヲ普及セサルコトニ付テハ、モウ實際アラム限リノ力ヲ盡シテ縷述イタシテ置キマシタ、ソレガ今阪本君ノ御話ヲ聞クト全ク誤解サレテ居ルヤウニ思ヒマスルガ、私ハ觀覽シテ居ル者ガ馬ノコトヲ研究スルヤウニナル、競馬ヲ唯見ルト云フノデナクシテ、馬ヲ見ルト云フ能力ガ付イテ來ル、サウシテ馬ノ趣味ガソコニ湧イテ來ル、ソレカラ漸次馬ヲ乗用スルコトモアリマセウシ、又ソレヲ他ニ使用スルト云フコトモ考ヘ及ブヤウニナッテ、漸次ソレガ普及スルヤウニナルダラウト云フコトヲ申シタノデアリマス、ソレニ從シテ需要ガ増スノデアリマス、私ハ唯競馬馬ノ需要ヲ増スト云フコトハ是ハ決シテ申サナイノデアリマス、ソレデアリマスカラ、私ハ午前ノ回答ニ於テ殆ド盡シ得テ居ルト思ヒマスルノデス、今重ネテ更ニ之ヲ詳細ニ申述べルコトダケハ控ヘヤウト、斯ウ思ヒマス

左様ナモノデハナイカト思ヒマス、ソレハ誠ニ非常ニ意見ニ距離ガアルノデアリマスカラ、此所デ御討論ヲ申上ゲルノハ不都合デアリマスカラ差控ヘマスガ、斯様ナ見地ヨリ私ハ先づ以テソレニ付テハ如何デアルカト云フコトニ非常ニ結構ナ根據ガアルカト思ヒシタガ、今マデノ所デハ別段大シタコトモナイヤウニ思ヒマス、尙ホ能ク熟考ヲ致スコトニ致シマス

○議長(公爵徳川家達君) 土方君

〔土方寧君演壇ニ登ル〕

○土方寧君 此競馬法案ノ是非ニ付キマシテノ意見ハ他ノ機會ニ於テ申スト云フコトニ致シマシテ、唯今ハ政府ニ對シテ單ニ質問ヲスルニ止メタイト思ヒマス、質問ハ約十點ホド可ナリ多ク書イテ居リマスガ、ソレデーツツノ點ヲ簡単ニ御尋ネシテ之ニ對スル明瞭ナル御答ヲ得タイト思フカラデアリマス、中ニハ隨分細目ニ瓦ツテ質問モゴザイマス、此法案ノ或ル特種ノ箇條ノ解釋適用ニ付テノ質問ノ如キハ見様ニ依ツテハ委員會又ハ第二讀會デスルノガ適當ト思ハレルカ分リマセヌガ、併シサウ云フ細カイ所マデ今此際第一讀會ノ初メニ伺フト云フノハ何故デアルカト申シマスト、前ニ苦イ經驗ヲ經タ馬券付ノ競馬デアリマス、無制限ニ許シテ……ソレニ鑑ミテ此度ハ種々ノ方面カラ色ムナ制限ヲ付シテ、其制限内ニ於ケル所ノ今度名ガ變ツテ居リマスガ、皆サンガ馬券ト仰ツシヤイマスカラ馬券ト申シマスガ、馬券ノ賣買ニ依リ、競馬ト云フモノハサホド害ガ無イト云フノデ、全體ノ法案ガ立ツテ居リマスカラ本員ノ考デハ今意見ハ申シマセヌガ、其制限ガ決シテ效果ガ無イト云フ考デアリマスルカラ、ソレデ少シ細目ニ瓦ルヤウニ見ヘマスケレドモ、法案全體ノ運命ニ關スルト思フカラ伺フノデアリマス、是ハ法文ノ上デハ無論御尋スルマデモナイ、極リ切ツタコト、思ヒマスガ、第一ノ點ハ學生生徒及ビ未成年者、是ハ第五條ノ規定デ馬券ヲ買フコトガ出來ナイコトニナッテ居ル人々デアリマス、斯ウ云フノデアリマシテ、入場料ヲ拂ツテ競馬場ニ臨ンデ見物スルコトハ毫モ差支ナイコトニナッテ居ルト思ヒマスガ、云フマデモナイト思フガ、私ニ取ツテハ大切ナコトデアリマス、之ヲ確メタイ、第五條ノ馬券賣買ヲ禁ゼル者デアッテモ入場金ヲ拂ツテ競馬場ニ入ツテ見物スルコトハ妨グナイト云フコトニナッテ居ルカ、ソレハ確カ其通りイコトニナッテ居ル、其理由ガドコニアルカ、マア私ガ想像シマスル所デハ、

教育上有害デアラウト云フコトデアラウト思ヒマスガ、ソレダケノ説明ナラバ私ハ聞キタクナイ、ソンナラ教育ノ目的ハ在學中ニ限ルト云フ點カラ來ルノデアル、學校ニ居ル間ハ有害デアル、學校ヲ出タラ差支ナイト云フコトノ見解ヲ聞キタイ、ソレガ第二デアリマス、ソレカラ第三ニハ未成年者、學生生徒又ハ第五條第二項ニ色ムナ名前ガアリマスガ、競馬關係者デス、關係者自ラ馬券ヲ賣買スル、買フコトハ出來マセヌガ、ソレガ爲ニ他人ノ名義ヲ以テ買タナラバデス、其名義人トソレカラ出金者トニ對スル處分如何、是ハ説明シナクトモ問題ガ分ルダラウト思ヒマスカラ説明シマセヌ、名義人ト出金者兩人ニ對スル處分如何、ソレカラ第四デアリマスガ、此馬券ヲ購買セントスル者ガデスネ、大多數マア素人デアリマセウ、ソレガマア斯ウ云フコトヲヤレバ、自然馬ノ趣味モ覺エルト云フガ、陸軍、農商務等ノ人ハ多ク馬ノコトハ能ク御分リデセウガ……自分ノ良イト思ツタ馬ニ對シテ馬券ハ多クハ買ツテモ失敗スル、成ルベク當テタイト云フノガ人情デアリマスカラ、ソコデ馬券ヲ購買セントスル者ガ、第五條第二項ノ自ラ馬券ヲ買フコトハ出來ナイ競馬ノ關係者ニデス、其意見ヲ徵スルト云フコトハ差支ナイカ、内々聞クンデス、自分ハ能ク分ラナイカラ、ドウ云フ馬ナラ勝ツ見込デアルカト云フ意見ヲ聞ク、自ラ馬券ノ購買ガ出來ナイ人ニ對シテ、意見ヲ徵スルノガ差支ナイカト云フコト、ソレト牽連シテ居ルアレデアリマスガ、第五ニハデス、此競馬關係者ガ馬券ヲ購買セントスル者カラ、意見ヲ徵セラレタ時ニ、只デ意見ハ言ハナイトスウ云フ、俺ガ言タ意見ヲ採用シテ競馬ガ勝ツ、若シ的中シタナラバ半分吳レイトカ、三分一吳レイカ云フ約束ヲシタナラバ、其契約ハ有效ナリヤ否ヤ、ソレカラ第六ニハデス、矢張リ第五條ニ自ラ自己ノ名義ヲ以テ馬券ヲ購買シ得ザル者ガデス……實際ハマアヤツテモ分ラヌ場合ガ多イデセウ、競馬ニ入場出來ルコトニナル以上ハ……ヤツテ見タイガ金ガ無イ、大變ニアレハ巧イ話デ、當レバ十倍ニモナルト云フコトダカラ行ツテヤツテ見タイガ金ガ無イ、囊中無一文ダカラ金ヲ借シテ吳レヌカ、情ヲ告グテ金ヲ借リル、其貸借モヒマスガ、云フマデモナイト思フガ、私ニ取ツテハ大切ナコトデアリマス、之ヲ確メタイ、第五條ノ馬券賣買ヲ禁ゼル者デアッテモ入場金ヲ拂ツテ競馬場ニ入ツテ見物スルコトハ妨グナイト云フコトニナッテ居ルカ、ソレハ確カ其通りモ含ンデ居ル、ソレカラ第七ニハデス、本法ハ色ムナ制限ガ附シテアル、ソレヲ取詰メレバ弊害ヲ陸軍大臣ハ除却スルコトガ出來ルト仰ツシヤル、私ハ信

ジマセヌケレドモ、サウ仰シヤル、ソレガ爲ニ、取締ル爲ニ、經費ヲ要シヤウト思ヒマスガ、今度ノ豫算ニハ何ニモ此法律ヲ實施スルニ付テノ必要ノ經費ガ計上シテナイ、無一文デ取締ガ出來ルト云フ積リデアルカ、若シ金ガ要レバドコカラ出ス積リデアルカ、無駄ノ金ヲ出スト云フナラバ、經費節減ト云フ趣意ニ反スル、無駄ナ金ガ残ツテ居ルト云フコトデアルカ、ソレヲ伺ヒタイ、經費ガ要ラヌト云フコトデアルカ、要ルト云フコトナラバ、追加豫算デモ御出ニナルカ、ソレカラ第八ニハ是、本日湯淺君ガ第一ニ申サレタコトデアリマスガ、ソコガハッキリセヌカラ更ニ伺ヒマス、此馬券賣買ト云フコトハ、リマスガ、ソレハ尤モト思フ、ソレハ判斷力ハ要リマセウ、ソレダカラ純粹ノ賭博トハ違フト思フト云フ御答ガアッタ、ソレハ私ハ幾分ハ御尤ナ御答ト思フ、判断ヲスルニハ馬ノコトヲ研究シナクチヤナラヌ、ソレガ爲ニ馬ニ趣味ヲ持ツテ、サウ云フ御答デアリマシタガ、併シ判斷ノ力ヲ要スルカラト云フ、ソレナラバ政府トシテ是ガ賭博ノ性質ヲ持ツテ居ルモノデハナイト云フコトガ責任ヲ以テ断言スルヤ否ヤト云フコトヲ重ねテ伺ヒタイ、隨ツテ未成年者ガ、自己ノ名義ヲ以テ馬券ヲ買ッタ云フコトニ付テデスネ、別ニ之ト云フ制裁ガ無ケレバ、刑法ノ條項ニ依ツテ刑罰ヲ科セラレルナリ、何ナリト云フコトニナリマスカ、其事ヲ確メテ置キタイ、ソレカラモウ一つ伺ヒタイノハ、本案ノ全體ノ考案ノ骨子トナッテ居ルモノハ、前ニヤツタ無制限ノ馬券ノ賣買ハ弊害ガ有ツタカラ、物議ガ起ツテ之ヲ廢止シタ、之ニ反シテ今度ハ制限ヲシテ弊害ガ無クナルヤウニ、少クナルヤウニト云フ色々ノ制限ガアリマスガ、此制限ヲ設ケテ、制限内ノ馬券ノ賣買ハ適法デアル、制限ヲ一步デモ越セバ違法デアル、罰金刑、若クハ自由刑ヲ科スル、サウシテ犯則ノ無イヤウニ取締ル、ソレデモドウモ犯則者ガアレバ仕様ガナイ、ソレガ發覺スレバ罰スル、サウ云フヤウナ法律ヲ作ルト云フコトハ殊更ニ犯人ヲ作ル法律デヤナイカト云フコトヲ伺タヒイ、是ガ無ケレバ罪人ガ出來ナイノダカラ、罪人ヲ作ルノ官紀振肅ト云フ施政方針ニ背反スルノデハナイカ、此點ニ付テハ實ハ満足イノハ、此案ハ一體陸軍關係ノ方ハ大變御熱心デアリマスガ、我國ノ現在ノ壯丁ノ體格ト云フモノハ、徵兵検査デ陸軍關係ガ一番能ク御承知デアリマ

ス、私共統計ニ徵シテ見ナクテモ、情ケナイコトニハ我國ノ青年ノ體格ハ、歐米文明國ノ青年ヨリ劣るテ居ル、之ヲ改善スルト云フコトニ付テハ大イニ出来ルダケノ盡力ヲ盡サナクチヤナラヌト思ヒマス、現在ニハ教育ノ制度モバドコカラ出ス積リデアルカ、無駄ノ金ヲ出スト云フナラバ、經費節減ト云フ趣意ニ反スル、無駄ナ金ガ残ツテ居ルト云フコトデアルカ、ソレヲ伺ヒタマスガ、其外ニ最モ有效デアラウト思フコトハ、丁度此競馬法ヲ作ルヤウニ、素人角力ヲ獎勵ナサツテハドウカ、今マデモ昔カラ全國至ル所ニ年々一度位ハ鎮守ノ祭ノ時ニ素人角力ナドガアリマスガ、是誠ニ年ニ一回位範圍ガ狭ク行ハレテ居ルガ、若シ素人角力ヲ獎勵スルト云フコトニナリマスト、其方法トシテハ、馬券デヤナイ、人券ダ、勝者投票券ト云フモノノノ賣買ヲ許スコトニシタナラバ、ドウデアルカ、忽チ全國津浦ニ至ルマデ、競馬トハレテ居ルガ、馬券デヤナイ、人券ダ、勝者投票券ト云フモノノ賣買ヲ許スコトニシタナラバ、ドウデアルカ、忽チ全國津浦ニ至ルマデ、春夏秋冬、年四回位ハ行フ、其結果ハ實ニ著シク見エルグラウト思フ、ソレダケ御勇氣ハ無イノカ、馬ノ改良ノ爲ニ投機心ヲ起シテ宜イ位ナラバ、人身ノ改善、強健ナラシムルニ必要ナ手段トシテハヤツテ宜ササウダ、ドウデス、ソレヲ伺ヒタイ、ソレガ十一デス、一番終リハ是ハ漠然トシタコトデアリマスガ、ドウモ此法案ニ付テ政府當局ハ御説明ノ大意ヲ伺ツタ所デハ何分ニ本員ノ腑ニ落チヌコトガ多ウゴザイマス、斯ウ云フヤウナ競馬法ヲ實施スルト云フコトニナリマスト云フト、教育勅語ノ精神、之ヲ根據トシテ居ル德育、智育、體育ナド……德育ノ趣旨ニ背反スルコトハナイカ、先刻モ質問中ニアリマシタガ、此内閣ハ綱紀振肅ト云フコトヲ政綱ノ一眼目トセラレテ居リマスガ、斯ノ如キ投機心ヲ挑發シテ輕佻浮薄ノ人心、既ニサウ云フ狀況デアルノニ、ソレヲ助長セシムル惡結果タルヲ知ツテ實施スルト云フコトデアッテ、ドウシテ綱紀振肅ト云フコトガ出來マセウカ、諸種ノ疑獄事件ガ起ツタリ、實ニ是ハ文明國ニ曾テ見ルコトノ出來ナイ著明ナ人ガ連續的ニ禁獄ニナッテ居ル、近年之ハ斷ジテ文明國ニ見ルコトノ出來ナイ實ニ嘆カハシイコトデアル、其本ハ心ガ治マラヌカラデアル、私ハ最後ニ伺フノハ、斯ウ云フ法案ヲ施行シテ、教育勅語ノ趣意ニ反スルト思ハヌカ、内閣ノ一眼目トセラルル所ノ御答ガナケレバ、政府ノ誠意ニ疑ヒヲ抱カザルヲ得ナイト思ヒマスガ、意足見ハ他日述ベマス

〔國務大臣山梨半造君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(山梨半造君) 先づ第一ニ上山君ノ御質問ニ對スル不十分ナル答解ガアリシタカラ、ソレダケ先キニ一ツ申上ゲマス、此答申案ニハ斯ウ云フコトガ戴ッテ居リマス、「競馬法ヲ制定シ、極メテ嚴密ナル監督ノ下ニ馬券ノ發行ヲ許スコトハ云々」ト、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、是ハ私ハ馬券ノ伴フ競馬法、斯ウ解釋ヲシタ次第デアリマス、是ダケ御答イタシマスル、ソレカラ土方君ノ御質問ニ御答イタシマスガ、一ヨリ九ニ至ルマデハ私ヨリカ司法當局カラ答解ヲシタ方ガ適切ト思ヒマスカラ、司法當局ニ讓リマス、第十ノ素人相撲ヲ入レテハドウカト云フコトデアリマスガ、是ハ體育ニハ各學校ニ於テハ定マッタモノモアリマスカラ、是デ體育ト云フモノハ十分出來ルト思ヒマス、併ナガラ凡テニ競技ト云フモノガアリマス、此競技ニハ相撲モアリマス、鬼ゴトモアリマス、競走モアリマス、是ハ私ハ今デハ陸軍ニ於テモ其體操ノ外ニ競技ト云フモノヲ設ケテ、是ハ實際行ツテ居ルカラ、是ハ又日本人トシテ自然ニヤツテ居ルコトト思ヒマス、第十一ノ德育ニ反セザルヤト云フ問題デアリマス、是ハ上山君ノ問ニ對シテ、總理大臣ガ明瞭ニ御答ヘニナツタト思ヒマス、私モ德育ニ多少害ガアルト云フコトハ認メテ、今朝來御答シテ居ルノデアリマス、併ナガラ是ハ他ニ取締方法モアリマスルカラシテ、其害ハ大ナラザルモノト判定スル次第デアリマス

〔政府委員林頼三郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(林頼三郎君) 唯今ノ土方博士ノ御質問ノ中デ法律問題ニ關スル部分ニ付テ、私ヨリ御答ヲシタイト考ヘマス、第一ハ學生、生徒、未成年者、是ハ馬券ヲ買ウコトハ出來ヌノデアルガ、入場料ヲ拂ッテ見物スルノハ宜シカ、是ハ宜シイコトニナツテ居リマス、ソレカラ第三ニ御尋ネニナリマシタノハ、第五條第二項ニ掲ゲテアルモノガ、他人ノ名義ヲ以テ馬券ヲ買ッタ場合ニ、名義人ノ出金者、之ニ對スル處分ハドウナルカ、斯ウ云フ御尋ネデアリマスガ、是ハ刑法ノ一般ノ原則ニ依テ支配イタシマスノデ、其實際ノ關係如何ニ依テ、或ハ教唆者トナリ、或ハ正犯トナリ、或ハ從犯トナリマセウ、要スルニ刑法ノ共犯ニ關スル一般ノ理論ニ依テ之ヲ決スル、即チ刑法ノ總則ニ讓ツテアル次第デアリマス、ソレカラ第四ハ馬券ヲ買ハムトスルモノガ、第五條第二項ニ掲ゲテアル所ノ意見ヲ徵スルノハ差支ナイカト、斯ウ云フ御尋ネデアリマスガ、差支ナイカト云フ御趣意ハドウ云フ意味デアルカ、能ク

諒解シ兼不マスガ…

〔土方寧君「ドウナルカ否ヤ」ト述フ〕

別ニソレハ禁止シテゴザイマセヌ、從ツテ制裁モゴザイマセヌ、單ニ意見ヲ聽クト云フコトニ止マルナラバ…併ナガラ是モ實際問題デ、或ハ共犯關係ガ生ズルコトガアルデアラウ、又實際問題トシテ考ヘレバ、共犯關係ガ生ズルコトガ多イトハ考ヘマセヌ、單ニ意見ヲ聞クダケト云フコトデアルカト云フ御尋ネナイ、斯ウ云ウ風ニ御答ヘシテ差支ヘナイト考ヘマス、ソレカラ第五、第六、是ハ意見ヲ徵セラレタ場合ニ勝ツタラバ半分分ケルト云フ契約ヲスル、或ハ情ヲ告ゲテ金ヲ借リタ場合ニ、ソレ等ノ契約ノ效力ハドウデアルカト云フ御尋ネデアリマスガ、此法案ニ於テハサウ云フ點ニ付テ、民法ノ除外例ヲ決メテ居リマセヌ、ソレデアリマスカラ、サウ云フ問題ハ民法ノ原則ニ從ツテ、其效力ヲ決スル、斯ウ云フコトニ御諒解ヲ願ヒタイ、ソレカラ第八デアリマスガ、馬券ト刑法ノ賭博若クハ富籤トノ關係ハドウナツテ居ルカ、斯ウ云フ御尋ネニ拜承イタシマシタ、御承知ノ通り、此馬券ニモ色ゝ種類ガアリマスノデ、單ニ此馬券ト廣ク申シマスト云フト、刑法トノ關係ガ簡單ニ申スコトハ困難デアリマス、此法案ニ定メタ馬券ハドウ云フ關係ガアルカト云フコトニ制限シテ御答ヘヲ致シマス、無論御尋ネモサウグラウト考ヘマス、申スマデモナク、通俗ノ賭博、博奕ト申シマス事柄ハ此法律的ニ正確ニ申シマスト、是ハ少シ専門的ニナツテ恐レ入リマスガ、大凡二ツニ分ケラレテ居リマス、即チ狹イ意味ノ賭博、ソレカラ富籤、ソレカラ單純ナ射倖行爲ト云フ三ツニ分ケラレテ居リマシテ、賭博ト富籤ハ刑法デ定メテ居リマス、ソレカラ單純ナ射倖行爲ハ特別法規デ定メテ居リマス、要スルニ射倖心ヲ挑發シテ、社會ノ風氣ニ甚シキ害ノアルヤウナ行爲ハ色ゝナ方法ヲ以テ取締ヲシテ居リマス、其三ツノ廣イ意味ノ賭博行爲ガアルノデアリマスガ、其區別ハ是ハ學問的ニ申スト色ゝムヅカシイ問題モアリマス、又或ル部分ハ學者ノ說モ一定イタシテ居ラヌノデアリマス、併シ根本ノ違フ點デアリ、且ツ殆ド多數ノ學者ノ異論ヲ容レタ點ヲ述べテ其區別ヲ申上グマスト云フト、賭博ノ方ハソレニ關係シタ當事者ガ互ニ損失ヲ負擔スル危險ヲ負フノデアリマス、偶然ノコトニ依ツテ利益ヲ得ルコトノアル代リニ損失ヲスルコトモアル、ソレハ其當時者雙方ガサウ云フ狀態ニ置カレル、ソレハ賭博ノ特質ト申シテ居リマス、ソレカラ富籤ノ方デアリマスト、一方ノ當事者ガ非常ニ儲ケルコトガアルト同時ニ、

賭ケタ金ヲ損スルコトモアル、一方ノ當事者ハ損ハ絶對ニシナイ、サウ云フノガ富籤デアリマス、富籤ヲ賣リマシテ、サウシテ當ツタ者ハ非常ニ儲ケル、當ラヌ者ハ皆取ラレテ仕舞フ、賣ル方ハ結局自腹ヲ切ラヌ、集メタ金ノ中、デ仕拂フ、斯ウ云フノガ富籤デアリマス、若シ普通ニ云フ富籤デアリマシテモ、賣ル者モ損ヲスルト云フ關係デアレバ刑法ノ意味デハ賭博ト云フコトニナリマス、ソレカラ射幸行爲ニ付テハ御尋不ハナカッタノデアリマスガ、ソコマテ申サヌト今ノ關係ガ十分分ラヌト思ヒマスカラ、附加ヘテ申上ゲテ置キマスガ、賭博富籤ニ屬セズシテ射幸心ヲ唆ルヤウナ行爲ガアリマス、是ハ懸賞デアリマス、景物ヲ附ケル、物ヲ賣ル場合ニ景物ヲ籤ニ依ッテ附ケテヤル、或ハ入場券ヲ賣ル時ニ番號ニ依ッテ、或物ヲヤルト云フヤウナコトガ行ハレル、ソレヲ貰ヒタイ爲ニ買フトカ、這入ルヤウナコトガアリマスノデ、是モ矢張リ射幸心ヲ或程度ニ於テ唆ル、此方ハ特別法規デ取締ツテアルノデアリマスガ、賭博富籤ト違ヒマス點ハ、此方ハ拂ッタダケノモノヲ得ルトカ、拂ッタダケノ權利ヲ得ルトカ、入場券ヲ買ツテ入場シテ見ルコトガ出來ル、代金ヲ拂ッテ物ヲ受取ル、少シモ之ハ損失ハナイ、損失ハナクシテ偶然ノコトニ依ッテ利益ヲ得ル、是ダケノ關係ニナリマス、利益ヲ得ルカドウカト云フコトガ、矢張リ偶然ノコトニ繫ガルト云フ關係ニナッテ居リマス、大體ノコトデアリマスガ、今申シタヤウナ二ツノ分類ガ出來テ居リマス、ソコデ此法案ニ於テ認メマシタ馬券ヲ賣リマス關係デアリマスガ、是ハ賭博ニハ當リマセヌ、刑法ノ狹イ意義ノ賭博ニハ當リマセヌ、法案デ御承知下サイマス通り、此法案ニ於キマスル馬券ト云フモノハ、第一條デ定メマシタ公益法人、馬事リマスカラ、買フ者同士ノ間ニハ何等ノ關係ガ生ジナイ、ソコデ買フ者ト思想ノ普及ヲ圖ルコトヲ目的トスル公益法人、之ガ一方ハ當テ、アリマス、一方ハ馬券ヲ買フ者デアリマス、買フ者ト法人トノ間ノ關係ガ生ズルノデアリマスカラ、買フ者同士ノ間ニハ何等ノ關係ガ生ジナイ、ソコデ買フ者ト法人トノ關係ヲ見マスト云フト、買フ者ノ方ハ巧ク當レバ十倍以下ノ利益ヲ得ル代リニ、當ラナケレバ馬券ノ代金ヲ損スル、斯ウ云フ關係ニナリマス、偶然ノコトニ依ッテ一方ノ者ハ利益ヲ得ルコトモアレバ損ヲスルコトモノ博打トハ趣ガ違ヒマスケレドモ、矢張リ刑法ノ學問ノ方面カラ申シマスト、其部類ニハ這入ツテ參リマス、趣キハ無論達ヒマスガ、這入ラヌト云フ譯ニハ行キマセヌ、兎ニ角一方ハ損失ヲ負擔スル危險ガアリマスガ、併ナガラ

法人ノ方ハマルキリ損ヲ負擔スル危險ハナイ、法人ノ方ハ馬券ヲ賣得シタ金ノ範圍内ニ於テ之ヲ仕拂フト云フコトガ第六條ニ明記シテアリマス、法人ハ絶對ニ損失ハ負擔シナイ趣意ニ出來テ居リマス、ソレデアリマスカラ賭博ト仕拂フ、云フ中ニハ這入リマセヌ、結局法人ガ馬券ヲ賣リマシテ、サウシテ其馬券ヲモ、賣ル者モ損ヲスルト云フ關係デアレバ刑法ノ意味デハ賭博ト云フ關係ニナリマス、結局當籤ト云フコトニナルコト、考ヘテ居リマス、ソレデアリマスカコマテ申サヌト今ノ關係ガ十分分ラヌト思ヒマスカラ、附加ヘテ申上ゲテ置キマスガ、賭博富籤ニ屬セズシテ射幸心ヲ唆ルヤウナ行爲ガアリマス、是ハ懸賞デアリマス、景物ヲ附ケル、物ヲ賣ル場合ニ景物ヲ籤ニ依ッテ附ケテヤル、或ハ入場券ヲ賣ル時ニ番號ニ依ッテ、或物ヲヤルト云フヤウナコトガ行ハレル、ソレヲ貰ヒタイ爲ニ買フトカ、這入ルヤウナコトガアリマスノデ、是モ矢張リ射幸心ヲ或程度ニ於テ唆ル、此方ハ特別法規デ取締ツテアルノデアリマスガ、賭博富籤ト違ヒマス點ハ、此方ハ拂ッタダケノモノヲ得ルトカ、拂ッタダケノ權利ヲ得ルトカ、入場券ヲ買ツテ入場シテ見ルコトガ出来ル、代金ヲ拂ッテ物ヲ受取ル、少シモ之ハ損失ハナイ、損失ハナクシテ偶然ノコトニ依ッテ利益ヲ得ル、是ダケノ關係ニナリマス、利益ヲ得ルカドウカト云フコトガ、矢張リ偶然ノコトニ繫ガルト云フ關係ニナッテ居リマス、大體ノコトデアリマスガ、今申シタヤウナ二ツノ分類ガ出來テ居リマス、ソコデ此法案ニ於テ認メマシタ馬券ヲ賣リマス關係デアリマスガ、是ハ賭博ニハ當リマセヌ、刑法ノ狹イ意義ノ賭博ニハ當リマセヌ、法案デ御承知下サイマス通り、此法案ニ於キマスル馬券ト云フモノハ、第一條デ定メマシタ公益法人、馬事

法規ニ觸レル範圍ニ於テ制裁ヲ受ケルト云フ關係ニナリマス、御尋ハ大體ソラレル關係ニナリマス、併シ此法案ガ成立イタシマシテ、勝馬投票券ガ認メラリマス、結局當籤ト云フコトニナルコト、考ヘテ居リマス、ソレデアリマスカテ、此競馬法ガ無イモノトシラスノ如キ行爲ヲスレバ矢張リ刑法ニ於テ罰セラレル關係ニナリマス、併シ此法案ガ成立イタシマシテ、勝馬投票券ガ認メラレマスレバ、其關係ハ刑法ノ賭博若クハ富籤カラ離サレテ、此法案ノ取締法規ニ觸レル範圍ニ於テ制裁ヲ受ケルト云フ關係ニナリマス、御尋ハ大體ソラレダケト心得マシテゴザイマス、一應御答ダケヲ致シテ置キマス

○土方寧君 本員ノ質問ノ大部分ハ司法當局及ビ陸軍大臣カラ御答ヲ得マシタガ、ドウモ満足イタシ兼ネマスガ、主モニ意見ノ違ヒニナルデアリマセウ、司法當局者カラト言ツテ政府委員ガ代ツテ御答辯ニナッテ一番詳シク伺ッタガ、ドウモ満足イタシ兼ネマスガ、主モニ意見ノ違ヒニナルデアリマセウ、司法當局者カラト見タ上ノ話デ、私ハ是ハ法律ニナッテ居ナイ、競馬法案ガニハ伺ッタガ、馬券ノ賣買ハ賭博又ハ富籤ノ性質ヲ有スルモノデハナイト云フ詳シイ御話デ、却テ私ノ問ハムトスル要領ニ觸レテ居ラヌ、此競馬法案ガ法律デアツタモノト見タ上ノ話デ、私ハ是ハ法律ニナッテ居ナイ、競馬法案ガニハ伺ッタガ、馬券ノ賣買ガアルトスルナラバ、刑法ニ照シテドウ云フコトニナルカト云フコトヲ聽カムトシタガ、ドウモ今ノ長イ御話ヲ捉ヘルト、刑法デ賭博デヤナイヤウダガ、先ヅ富籤ト云フ制裁ヲ受ケナケレバナラヌト云フヤウニ聞エマシタガ、ナルカナラヌカ分ラナカッタ語尾ガ……ソウ云フ法律ガナケレバ取締ル必要モナシ、犯罪人モ出テ來ナイ、一定ノ制限外例ヲ設ケルト云フヤウナコトデ、ソシナラ意味ガ分ル、此法案ニ除外例ヲ設ケレバ……其處ヲ聽キタカッタ、ソレカラ何ハ御答ヲ得ナカッタ、斯ラベ違法デアル、罪人ヲ造ルト云フコトニナリハセスカト云フコトヲ御尋不シマシタガ、ソレハ御答ガナイ、ソレカラ第二ノ質問モ御答ガナカッタ、學生、生徒、未成年者ニ限ツテ何故馬券ヲ賣ルコトガ出來ナイカ、マダ御答モ得ナイ

○政府委員(林頼三郎君) 私ノ御答ノ仕方ガ不十分ナ爲ニ重ねテ御尋ヲ蒙ツテ恐縮ノ次第デアリマスガ、若シ此法案ガ、成立セズト云フコトニシマシテ、

此法案デ認メタヤウニ馬券ノ關係ガ刑法トドウナルカト申シマスト云フト、富籤ニ該當スル、斯ウ云フ趣意デアルト御答シテ居ッタノデアリマス、ソレカラ又此法案ハ犯罪ヲ製造スル法案デハナイカト云フ御尋ガアツト云フコトデアリマスガ、實ハソレハ獨立ノ御尋ネト考ヘズニ居ッタモノデスカラ、御答ヲシナカッタノデアリマス、ソレハマルデ反對ノコトデアルト考ヘテ居ルノデス、今御答シマシタ通り此法案デ認メナケレバ富籤ニ當ルノデアリマス、一切ノ行爲ガ刑法デ罰セラレルコトニナリマス、此法案デ刑法ノ例外ヲ認メテ或ル範圍ニ於テ罰シナイコトニシタ、ソコデ法律ニ定メタ制限ニ反スル者ノミヲ罰スル、制限ニ反スル者ハ罰スル譯デアリマスカラ、條文ノ數ハ成ルホド多イノデアリマス、併ナガラ罰スペキ事柄ハサウ云フ意味ニツク御諒解ヲ願ヒタイ、ソレカラ第二ノ御問ヒデアリマシタガ、是ハ純粹ノ法律問題デナイト思ヒマシタカラシテ、私ハ御答シナカッタノデアリマス、ソレデアリマスカラシテ茲ニ體格ヲ願ヒタ、ソレカラ第二ノ御問ヒデアリマシタガ、是ハ純粹ノ法律問題デナイト思ヒマシタカラシテ、私ハ御答シナカッタノデアリマス、要スルニ此競馬ニ馬券ヲ作ルト云フコトハ、馬事思想普及ノ爲ニ極メテ必要デアルト同時ニ、一面ニ於テ此伴射心ヲ唆ルト云フヤウナ心配スペキ事情ノアルト云フコトハ是ハ先ホド總理大臣カラモ申サレタ通りデアリマス、ソレデアリマスカラマダ學事ニ勤シムデ居ルト云フヤウナ者デアルトカ、或ハ未成年者デアルトカ云フヤウナ者ハサウ云フ者ハ携ルコトヲ禁ズルト云フコトガ宜カラウ、是ダケノ趣旨デアリマス、勿論其未成年者デナクテ、學校へ行ッテ居ラヌ者デアルトカ云フ者、其點ニ付テ御不審ガアッタヤウデアリマスガ、ソレハ學校は今教育ヲ受ケテ居ル者ト、ソレカラ又年ハサウ行ッテ居ラヌケレドモ、當人ハ社會ニ立ッテ色ゝノ仕事ヲヤッテ居ル者トハ、是ハドウモ區別シナケレバナラスト思フ、ソコニ此法案ノ區別ヲ立テタ趣旨ガアルノデアリマス、左様ニ御諒承ヲ願ヒマス

○土方寧君 モウ少シ……陸軍大臣ニ先刻伺ッタ問題ノ御答ノ中ニ諒解シナカッタ點ガアル、此事ハ案ノ比較ノ上カラ法案ヲ見テ伺ッタダケデ、青年ノ體格云々ト云フコトハソレハ外ニモ方法ハ有ラウト私ハ考ヘル、私ノ考デハ素人相撲ノヤウニデスネ、勝者投票券ヲ許スト云フコトガ一番宜カラウ、其時ニハ判斷力ヲ要スルト思フ、甲ガ勝ッタ、乙ガ負ケタ云フコトハ、アレハ品行方正デアッテ酒モ飲マヌ、優等學生ダ、實ニ感心ナ奴ダ、ソレデアルカラキット勝ツト云フヤウニデスネ、マア投票券ヲ買フト云フコトニナル、ソレガ間接ニハ德育ノ獎勵ニナルノデ非常ニ宜イコトト思フンダガ、其外ニ方

法ガアルカナイカ知ラヌ顔ヲシテ馬ダケガ競馬ニ依ッテ出來ルト云フコトハアルマイ、馬ハ特別ノモノダカラト云フト……馬ト人トノ輕重ヲ顛倒シタニ過ギナイ、全體人ヲ以テスルカ、馬ヲ以テスルノカ……ソレヲ一ツ伺ヒマス

〔國務大臣山梨半造君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(山梨半造君) 私ハ大變ニソレハ考ヘガ違ッテ居ルヤウニ思ヒマス、人間ヲ教育スルニハ各國ニ決ッタモノガアリマシテ、ソレデ其範圍ヲ越ヘヌヤウニシテ行ッテ行クノデアリマス、ソレデアリマスカラシテ茲ニ體格ヲ獎勵スルガ爲ニ素人相撲ヲ獎勵スルト云フヤウナ考ハ私ハ毛頭浮バヌノデアリマス、素人相撲デナクシテ、詰リ此學校ノ規定シテアル所ノ體操ノ科目ヲ見マスルト云フト、其年齢ニ從ツテ其體格相當ニ總テノ規定ガアル、又教員ハ其科目ヲ適當ニ綜合シテ體格ニ應ズルヤウニ行ッテ居ル、即チ其外ニ先ホド申上ゲマシタ競技ト云フモノガアッテ、其競技ガ體格相當ニ適合シテ之ヲ當籍メテ居ルノデアリマス、デアリマスカラ之ヲ馬ト同事ニスルト見テハ、私ハ却テ本末ヲ誤ルト云フヤウニ考ヘテ居ルノデアル、ソレカラモウ一つ、第七點ニ於テ回答スルコトヲ落シマシタガ、此事ヲ申上ゲマス、此法案ニ於テ實行シタナラバ監督ノ爲ニ金ガ要ルグラウ、斯ウ云フ點デアリマス、是ハ今勝馬投票ヲ許シテ居ラヌ場合ニ於テモ取締ラ十分ニシテ居ルノデアリマスカラ、其取締リノ方法ヲ考ヘ、サウシテ其注意ヲ致シマシタナラバ、此人員等デ實際行ヒ得ルコトト今ハ信ジテ居ルノデアリマス、從來之ガ益々發展シマシテ人ガ澤山這入ルト云フヤウニナツテ人員ガ澤山要ルト云フヤウニナル、斯ウ云フコトニナリマスレバ、實際費用ヲ增加スルヤウニナルグラウト斯ウ思フ

○土方寧君 今ノ素人相撲ノ獎勵ト申シタノハ、自分ハ宜イト思ツテ申シタノデハナイ、唯比較ニ申シタノデアリマス、ドウモ唯今ノ御答辯デハ満足出来マセヌガ、繰返シテモ同ジコトデアリマスカラ、意見ヲ述ブル時ニ述ベルコトニ致シテ、モウ今日ハ之デ止メマス

○上山滿之進君 先刻陸軍大臣ガ馬政委員會ノ答申書ニ依ッテ、私ノ質問ニ御答ニナリマシタガ、實ハ初メノ方ヲ少シシカ御讀ミニナツテ居ナイ、全部御讀ミニナルト達ヒマス、私ノ記憶スル所ト陸軍大臣ヨリ其前ニ御述ベニナツタノトハ全ク裏腹デ、ソレハ此答申書ノ全部ガ公表サレレバ、ソレデ能ク分ルコトト思フノデアリマスガ、併シ問題ガ細末ニ亘リマスカラ、ドウゾ特

別委員會デ十分御審査ヲ願ヒタイ、私ハ馬政委員會ニ於テハ大體馬券ニ贊成

デアルト云フ意見ヲ出シタト仰セニナッタラシイ、陸軍大臣ノ御見解ト、私

ノ承知シテ居ルコトハ全然違テ居ル、此處デ詳シク論議スル事ヲ差控ヒ

マスカラ、特別委員會デ能ク御審査ヲ願ヒタイ、是デ止メマス

○議長(公爵徳川家達君) 是デ通告者ハ終リマシタ

○子爵西大寺吉光君 唯今議題ニナツテ居リマス競馬法案ハ重要ナル案件デ

アリマスカラ、本法案ノ特別委員ヲ十五名ニサレムコトノ動議ヲ提出シマ

ス、滿場ノ諸君御賛成ヲ請ヒマス

○大山綱昌君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 西大路子爵ノ本案ノ委員ノ數ヲ十五名トスル動議

ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀イタサセマス

〔小林書記官朗讀〕

競馬法案特別委員

侯爵細川謙立君	伯爵兒玉秀雄君	子爵高倉永則君	外務大臣	海軍大臣	内閣總理大臣兼
子爵井上匡四郎君	子爵秋田重季君	子爵西尾忠方君	陸軍大臣	陸軍大臣	男爵加藤友三郎
男爵宇佐川一正君	荒川義太郎君	男爵名和長憲君	司法大臣	司法大臣	伯爵内田康哉
男爵伊藤文吉君	石渡敏一君	加太邦憲君	農商務大臣	農商務大臣	山梨半造
川上親晴君	湯淺倉平君	犬上慶五郎君	内務大臣	内務大臣	岡野敬次郎

〔國務大臣市來乙彦君演壇ニ登ル〕

大藏大臣	市來乙彦
文部大臣	鎌田榮吉
遞信大臣	水野鍊太郎
農商務大臣	荒井賢太郎
内務大臣	子爵前田利定

○議長(公爵徳川家達君) 次ハ御異議ナケレバ日程第二ヨリ第四マデ一括シテ説明ヲ煩ハシ議題ト致シマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第二、大正十年度豫備金支出ノ件、第三、大正十年度特別會計豫備金支出ノ件、第四大正十年度豫備金外ニ於テ豫算超過支出ノ件、承諾ヲ求ムル件、衆議院送付、會議

大正十年度豫備金支出ノ件

大正十年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過支出ノ件

右本院ニ於テ承諾スヘキモノト議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送

付候也

大正十二年三月九日

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長柏谷義三

一大正十年度豫備金支出ノ件

一大正十年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過支出ノ件

右帝國憲法第六十四條第二項ニ依リ承諾ヲ求ムル爲

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

大正十二年二月十日

○國務大臣(市來乙彦君) 唯今議題ト相成リマシタ大正十年度ノ事後承認ノ件ニ付キマシテ説明ヲ致シマス、大正十年度ノ一般會計ノ第一豫備金ノ豫算額ハ六百萬圓ゴザイマシタ、之ヲ支出イタシマシタル金額ハ五百九十四萬圓ゴザイマス、支出ヲ致シマシタル主ナル事項ハ外務省ニ於ケル電信料内務省ニ於ケル檢丁並ニ新兵旅費、農商務省ニ於ケル染料ノ製造獎勵等ニ關スル經費ゴザイマス、並ニ大正十年度ノ一般會計ノ第二豫備金ノ豫算額ハ八百萬圓ゴザイマシタ、之ヲ支出イタシマシタル金額ハ七百八十餘萬圓ゴザイマス、其主ナル事柄ハ國際聯盟總會ノ參列費、華盛頓會議ノ參列費、並ニ各省所管ノ災害復舊費等ゴザイマス、右ノ一般會計ニ於テ支出ヲ致シマシタ外ニ、朝鮮總督府臺灣總督府並ニ其他ノ特別會計ニ於テモ豫算ノ超過ノ支出並ニ豫算外ノ支出ガアリマスルノゴザイマス、以上ハ何レモ緊急已ムヲ

得ザルガ爲ニ支出ヲ致シマシタモノデゴザイマス、何卒御審議ノ上承諾ヲ與ヘラレムコトヲ希望イタシマス  
○議長(公爵徳川家達君) 別段御質疑モナイト存ジマスカラ、特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

〔瀬古書記官朗讀〕

大正十年度豫備金支出ノ件外二件(承諾ヲ求ムル件)

特別委員

伯爵松木宗隆君 伯爵大原重明君 伯爵實吉安純君  
黒岡帶刀君 男爵武井守正君 男爵土屋光金君  
男爵安藤直雄君 橋本圭三郎君 麻生太吉君

○議長(公爵徳川家達君) 日程第五、大正五年法律第十六號中改正法律案政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス以下之ニ倣フ〕

大正五年法律第十六號中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十二年三月七日

右特別委員長

男爵 古市公威

貴族院議長公爵徳川家達殿  
〔男爵古市公威君演壇ニ登ル〕

○男爵古市公威君 大正五年法律第十六號中改正法律案ノ特別委員會ハ本月三日ト七日ト兩度ニ開キマシテ審査ノ結果、出席委員ノ全會一致ヲ以テ本案ヲ可決スベキモノト議決イタシマシタ、提出ノ理由ハ農商務大臣ノ説明ニ依テ諸君御承知ノコトニアリマスガ、要スルニ研究所當初ノ計畫ニ齟齬ヲ生ジマシタ、一方收入ニ於テ資金ノ募集ガ意ノ如クナリマセヌデ、約二百萬圓ノ豫算ニ比シテノ缺陷ヲ生ジ、又一方支出ノ方デハ物價ノ騰貴ニ依テ是亦二百數萬圓ノ豫算ニ比シテノ超過ヲ生ジマシタ、尤モ總テ物價騰貴トハ申サレマセヌ、例ヘバ敷地ノ如キハ當初官有地ヲ借用スル考デアリマシタ、現在ノ敷地アリマス、右ノ次第ニアリマスカラ既ニ昨年度即チ十年度ニ於テ資金トシテ

保存イタシタ金額カラ經常費ヲ補ツテ居ルヤウナ次第、アリマス、此儘ニ繼續イタシマスト、四五年ノ中ニ資金ヲ皆消費シテ仕舞ハナケレバナラヌ、即チ研究所ノ自滅デアリマス、是ハ重大ナ事柄デ各國ニ於テモ、殊ニ此歐洲大戰以後競フテ理化學ノ研究ニ熱心シテ居ル場合、此研究所ガ衰微スル、次第ニ依ツテハ自滅スルヤウナコトガアツテハ一大事デアリマス、研究所ハ設立以來五六年ニ過ギマセヌガ、既ニ見ルベキ成績ヲ擧ゲテ居ルノハ御聞キ及ビノコトト存ジマス、頗ル將來有望デアル場合デアリマスカラ、何トカシテ之ヲ救濟セネバナラスト云フコトハ、是ハ誰モ考ヘル、然ラバ更ニ資金ヲ得ル手段ハアルカト云フト、今日ノ財界ノ狀況デハ逆モ望ムベカラザルコトデアル、茲ニ於テ政府ガ斷然意ヲ決シテ國庫ノ補助ヲ増加スルト云フコトニナリマシタノデアリマスカラ、是ハ最モ時宜ニ適シタ處分トシテ大イニ賞讃シテ宜シイト考ヘルノデアリマス、諸テ案ニ依リマスト二百十五萬圓ヲ増加スル、サウシテドウナルノカト申シマスルト、既ニ決定シテ居ル國庫補助ニ之ヲ加ヘマシテ大正十二年年度カラ二十一年度マデ十箇年ノ間毎年二十五萬圓宛ノ資金ヲ研究所ガ得ルコトニナル補助ヲ……ソレニ今二百萬圓ホドノ資金ガ残ツテ居リマス、是ガ約七分ニ廻ツテ居リマスカラ、是デ十四五萬圓ヲ得ラレル、兩方合セテ約四十萬圓ノ金額ガ得ラレル、大正十一年度ノ經常費ノ豫算ハ四十萬圓デアリマス、先づ其金額ハソレデ得ラレル、此四十萬圓ト云フ金額ニ付テモチヨット申上ダテ置イテ宜カラウト思フコトハ、最初ノ計畫デハ確カ資金カラ三十五六萬圓ノ利息ヲ一年ニ得ル計畫ニナッテ居リマスガ、ソレニ經常費ニ當分充テルト云フ考デアツタノデアリマスガ、其當初ノ三十五六萬圓ノ計畫ニ比スルト云フト四十萬圓ト云フ金ハマダ少ウゴザイマス、今日ノ物價カラ考ヘテ……先づ是デ計畫ヲ立テル、尤モ此外ニ既ニ研究所ニ於テ發明イタシマシタモノカラ收益ガアリマス、是ガ今日ノ所デハ約二萬何千圓カホド一年ニアル、是ハ遠カラヌ將來ニ十萬圓ニハ達スル見込デアル、サウ致シマスト五十萬圓ト云フ金額ニナルノデアリマス、而シテソレデ大正二年ノ中ニ於テ今日マデノ理化學研究所ノ成績カラ推シテ見ルノニ、必ズ從ツテ此案ハ百年ノ計デハナイ、其先ハ未知數ノコトデアリマスガ、今カラ十年ノ中ニ於テ今日マデノ理化學研究所ノ成績カラ推シテ見ルノニ、必ズヤ又相當ノ成績ヲ擧ゲテ此有要ナルコトヲ益世ノ中デ知ルヤウニナルダラウ、又一般ノ状況モ何時マデモ今日ノヤウナ状態デ居ルモノモアルマイ、

然ラバ他ニ資金ヲ得ル手段モアルダラウ、斯ウ云フ考デアルノデ、未知數ノコトデ勿論アリマスルガ、委員會ニ於テハ、先づ今日ノ處分トシテ、此急ヲ救フ、此邊ガ此程デ然ルベキモノト認メテ可決イタシタノデゴザイマス、尙ホ附加ヘテ申シマスレバ、或委員カラ元來、此理化學研究所ハ、公益法人

デ基礎的ノ研究ヲセネバナラヌノダカラ、妄リニ收益ヲ目的トシテ、而シテ應用ニ沒頭スルヤウナコトガアツハ宜シクアルマイト云フ考ヘガアリマシ

テ、ソレニ對シテ政府ハ勿論其考デアルト答ヘマシタ、ソレカラ一ツ希望トシテ、何分此研究所ガ相當ノ成績ヲ舉ゲルノニハ、人ガ必要デアル、研究員ガ必要デアル、今日ハ專任ノ研究員ガ九人、兼任ノ研究員ガ十五人デアリマス、合セテ二十四人、兼任ニハ大學ノ教授ナドガ居マス、モット專任ノ研

究員ガ欲シイデハナイカト云フ說ガアリマシテ、ソレニ對シテ政府ノ答ハ勿論サウデアリマスカラ、今度ノ豫算ニハ專任研究員ハ約十五人ヲ置ク積リデ計算シテ居ル、併シ又委員會ノ論デ十分ニ安心シテ研究ニ從事スル爲ニハ相當ノ待遇ヲ厚クセネバナラス、其點ハ如何デアルカト云フニ對シテハ、研究員ノ俸給ハ月額百圓乃至五百圓、其範圍ニ於テ出來ルダケ厚クスル考デアル、委員會ハ其邊ニ注意ヲ加ヘテ、十分研究ノ目的ヲ達スルヤウニ政府ニ於テモ注意スルコトヲ希望スルト云フ希望ガアリマシテ、ソレデ前申シタ通りニ、本案ハ可決イタシマシタ、右御報告ニ及ビマス、委員會ノ決議ノ通リニ本案ノ成立スルコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵敷篤麿君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 直チニ木案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵敷篤麿君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 直チニ木案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

貴族院議長公爵德川家達殿

右特別委員長  
侯爵細川謹立

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、全部ヲ問題ニ供シマス、原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵敷篤麿君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵敷篤麿君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 日程第六、日本勸業銀行法中改正法律案、第七、農工銀行法中改正法律案、第八、北海道拓殖銀行法中改正法律案、第九、日本興業銀行法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、細川侯爵

日本勸業銀行法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十二年三月七日

農工銀行法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十二年三月七日

右特別委員長

侯爵細川 護立

貴族院議長公爵徳川家達殿

北海道拓殖銀行法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十二年三月七日

右特別委員長

侯爵細川 護立

貴族院議長公爵徳川家達殿

日本興業銀行法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十二年三月七日

右特別委員長

侯爵細川 護立

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔侯爵細川護立君演壇ニ登ル〕

○侯爵細川護立君 唯今日程ニ上リマシタ日本勸業銀行法中改正法律案外三

件ノ特別委員會ノ經過及結果ヲ御報告イタシマス、本案ノ趣意ハ、改正案

ノ趣意ハ既ニ本議場ニ於キマシテ、去ル二月二十六日大藏大臣ヨリ御説明ガ

アリマシタ、私ガ茲ニ申上ゲル必要ハナイト思ヒマス、委員會ニ於キマシテ

ハ更ニ詳シク説明ガアリマシテ、之ニ對シマシテ種々ノ質問ガゴザイマシ

タ、其質問ハ煩雜ニ瓦リマスカラ、之ヲ省略イタシマスガ、唯全體ノ今日ノ

生産ノ金融ニ關スルコト、或ハ住宅組合ラ此法律案ニ入レテアルガ、是ガ果

シテ適當デアルカ否ヤト云フ質問ガアリマシタ、或ハ今日ノ特殊銀行ノ狀態

ト當局監督ノ模様ナドノ質問ガアリマシタ、斯ノ如クシテ委員會ハ二日ノ

後ニ質問ヲ終リマシテ、直チニ討議ニ入リマシタ、討議ニ入リマシタガ、四

案トモ別ニ反対ノ意見ハアリマセヌ、唯本改正案ノ趣旨ハ何レモ異論ハナイ

ケレドモ、此法案ノ改正ニ伴フ運用上ニ於テ之ヲ誤ルニ於テハ非常ナ害ガ多  
イカラ、此點ニ付テ政府當局ノ深甚ナル注意ヲ望ムト云フヤウナ事柄デアリ  
マスカラ、列席委員何レモ異議ナク、此法案四案トモ可決シタ次第デアリマ  
ス

○議長(公爵徳川家達君) 四案トモ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵敷篤麿君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ四案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセ

ヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、全部ヲ問題ニ供シマス、

原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵敷篤麿君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異議ゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、第二讀會ノ決議通リデ御

異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第十一、辯護士法中改正法律案、衆議院提

出、第一讀會

辯護士法中改正法律案

右本院提出案及送付候也

大正十二年三月八日

衆議院議長 紞谷 義三

貴族議長公爵德川家達殿

辯護士法中改正法律案

辯護士法中左ノ通改正ス

第十八條ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ所屬辯護士ノ數寡少ニシテ辯護士會ヲ組織スルニ適セサルトキハ司法大臣ノ認可ヲ受ケ他ノ地方裁判所所屬辯護士ト合同シテ辯護士會ヲ設立スルコトヲ得

同條ニ左ノ一項ヲ加フ

一ノ辯護士會ニ屬スル辯護士三百名以上ニシテ内百名以上ノ同意アルトキハ司法大臣ノ認可ヲ受ケ別ニ辯護士會ヲ設立スルコトヲ得

○議長(公爵德川家達君) 之ニハ質疑ノ通告ガゴザイマスカラ發言ヲ許シマス、磯部四郎君

○議長(公爵德川家達君) 宜シウゴザイマス

○磯部四郎君 衆議院提出案ノ此辯護士法改正ト云フコトニ付テハ、私ハ大

ノ儘質疑ヲ致スコトヲ御許シヲ願ヒマス

○磯部四郎君 甚ダ恐縮デゴザイマスガ、未ダ歩行ニ苦シミマスカラ、著席

モニシテ之ニハ質疑ヲ致スコトヲ御許シヲ願ヒマス

○磯部四郎君 衆議院提出案ノ此辯護士法改正ト云フコトニ付テハ、私ハ大體ニ於テ甚ダ諒解ニ苦ム點ガゴザイマスノデ、私ノ今日マデ三十有餘年ノ間、辯護士ノ職務ニ從事イタシマシタ經驗上或ハ紛争ヲ來シ、種々難多ノ業務ガゴザイマスケレドモ、此辯護士界程穩カニ今日マデ經過シ來タモノハナルト、朝野法曹ノ意見ノ一致スル所デアルカラ云々ト云フ意見ヲ、即チ此案イノデアリマス、甚ダ時間モ切迫シテ居リマスルカラ、長クハ申上ゲマセヌ、一二ノ質問ノ點ダケラ申シテ置キマスルガ、此提案者ハ即チ速記錄ヲ見マスルト、朝野法曹ノ意見ノ一致スル所デアルカラ云々ト云フ意見ヲ、即チ此案ノ理由トシテ申シ出テ居ラレルノデアリマス、斯様ナコトハ全ク案外デゴザイマシテ、即チ東京辯護士會ハ勿論日本辯護士協會並ニ東京辯護士會評議會士會ト云フモノガ若イ先生等ガ澤山ニ殖エテ來マシテ是ガ爲ニ從來ノ老成ナル辯護士諸君ガ占領シテ居ラレタル所ノ役員派ト云フモノガ悉ク少壯ノ人ニ奪ハレタ形デアルノデアリマス、是ガ爲ニ所謂私ガ考ヘマスレバ、老成ナル

先輩諸氏ハ先ヅ若イ者ヲ宜シク指導シテ、サウシテ雋然トシテ平和ニ辯護士會ト云フモノヲ遵クヤウニナサレルノガ親切ナ次第ハアルマイカト思ヒマス、所ガ少壯辯護士ガ數多クシテ或ハ東京辯護士會千七百有餘人アリマシテ、其中二三百人ノ所謂老成者ガ若イ者ヲ振リ棄テ、自分等ガ別段ニ即チ辯護士會ヲ作ッテ殆ド東京ノ町ニ於テ紛争ヲ來タス一原因ノ最モ甚ダシイモノヲ茲ニ惹キ起サウトシタノガ、即チ衆議院案ノ提出セラレタル一理由ノヤウニ承ツテ居リマス、併シ私ハ茲ニ證據ヲ舉グテ一言イタシマスガ、即チ大阪ノ辯護士會ニ於キマシテハ會長竝ニ常議員其外ニ二百七十餘名ノ方ガ即チ斯ノ如キ反対ノ決議ニナツテ居リマス、吾人ハ目下衆議院ニ附議セラレテアル……是ハ決議ノ前デアリマス……辯護士法中改正法律案ハ全ク反対デアルト云フコトニ決議シテ居リマス、ソレカラシテ東京辯護士會ノ決議案ト申シマスルモノモ矢張リ第四十六回帝國議會ニ衆議院議員ヨリ提出セラレテ居ル所ノ辯護士法中改正法律案ハ否決スベキモノデアルト云フ決議ニナツテ居リマス、又之ト同ジク辯護士會ノ常議員會モ亦同ジク否決シテ居ルノデアリマス、然ルヲラズ日本辯護士協會ニ於テモ矢張リ之ヲ否決シテ居ルノデアリマス、ノミナ本案ヲ提出セラレマシタル理由ニ付テハ、在朝在野ノ法曹ノ一致スル所デアル、分離スル事ヲ……斯ウ云フコトノ名義ヲ以テ斯ノ如キ案ガ出マシタノモ、其理由ヲ種々考ヘテ見ルト、是ガ要シマスルニ少壯辯護士ノ數ガ殖エテ、サウシテ是マデノ總テ辯護士會ノ役員ト云フ如キモノノ地位ヲ少壯多數ノ人ガ奪ツテ仕舞ッタ、茲ニ於テ老成ナル諸君ガ之ヲ反省セシムルコトニ努メラレズシテ、其若イ者ヲ置イテキボリニシテ自分等ガ志ヲ得ンガ爲ニ小團體ノ辯護士會ヲ組織シテ依ツテ以テ殆ド少壯辯護士ヲ特殊部落ノ中ニデモ入レテ仕舞ハウト云フヤウナ考ヲ以テ此案ガ出タノデハナカラウカト考ヘテ居リマスル、是ハ甚ダ間違ッタ話デアルカラシテ、私ハ三十年來……三十二年辯護士ノ職務ニ從事シテ居リマスケレドモ、何レノ團體ニモ關係イタシマシタケレドモ、辯護士會ハ平和ニシテ曾テ争ヒモナケレバ誠ニ和氣雋々ノ裡ニ今日マデ過シテ居リマス、而シテ其爲ス所ハ日々訟廷ニ於テ或ハ敵トナリ、或ハ味方トナツテ争ッテ居リマスケレドモ、是ハ其事件ニ關スルノミテ、其事件ヲ離レタ以上ニハ、誠ニ平和ニシテ曾テ争ヒモナケレバ誠ニ和氣雋々ノ裡ニ今日マデ所謂少數派ガ我意ヲ貫カシガ爲ニ提出セラレタ案デハナカラウカト疑フテ居リマス、疑フテ居ルノミナラズ、詐言ヲ以テ所謂在朝在野ノ法曹悉ク一致ス

ル所ノ是ハ案デアルト云フ如キコト茲ニ掲グマシテアルノハ甚ダ遺憾ニ考ヘル、ソレデ私ハ今日茲ニ於テ質問ト致シマシテ伺ヒマスノハ、即チ其第一提案者ハ本案ノ主張ハ朝野法曹ノ意見ノ一致セル所デアルト云フコトヲ申シテ居リマスルガ、政府當局ニ於カレテハ此主張ヲ御認メニナリマスヤ否ヤ、是ガ第一ノ質問デゴザイマス、第二ニハ提案者ハ東京辯護士會ニ紛争ヲ生ジ、見ルニ忍ビザル醜態ガアルト云ハレテゴザイマスルガ、果シテドウ云フ事實ヲ以テ見ルニ忍ビザル所ノ醜態デアル、斯ウ云フ事柄マデモ當局ニ於テ御認メニナツテ居ルカ否ヤト云フコトヲ伺ヒタイ、之ハ勿論チヨット申上ゲマスルガ、辯護士ハ御承知ノ通リ兎角口ガ過ギマスルノデ、何カ争ヒマスル時ニハ口デ云フコトデハ逆モ追付キマセヌカラ、場合ニ依リマスト椅子ヲ降ラセムトスルヤウナコトハ五年ニ一遍七年ニ一遍位ハゴザイマスケレドモ、ソレハ其時限リノコトデ、ソレカラ役員選舉等ガ決ツテ仕舞フト云フト、御互ニ相笑ツテサウシテ交際ヲシテ居ルノデアリマス、然ルニ今日態々東京ノ如キ二千人ニ足ラザル人ノ居リマスル所デ僅カ三百カ四百ノ人ガ相別レテ是ガ老派ト稱シテ、サウシテ一團體ヲ作ッテ、サウシテ今日是ヨリ世ノ中ニ頭角ヲ現ハサウト云フ若イ少壯辯護士ヲ指導シテ成長ニ近ヅケルコトニ御努メナクシテ之ヲ見棄テ、三四百ノ人ガ此東京ヲ支配シテ行カウト云フ如キ論ハ私ノ考ヘル所デハ甚ダ陋デアル、成程役員カラ追ヒ出サレタ以上ハ暫ク謹慎シマシテ、私モ明治四十一年ニ丁度役員カラ追ヒ出サレマシテ既ニ今日マデ謹慎シテ即チ平…平辯護士デ居リマスケレドモ、其業務ヲ執ル所ニ於テハ自由自在、何人モ自分ノ行為ヲ干渉スル者ハアリマセヌ、何人モ自分ニ對シテ彼はレ云フ者モナク、又敵モ味方モ靄々ノ裡ニ、今日マデ和氣靄々ノ裡ニ送リ來タノデアリマス、然ルニ此狭イ東京ニ於テ僅カ千七百人ノ相當教育アル所ノ辯護士ガ其辯護士會ヲ故ラ東西ニ分ツテ、サウシテ茲ニ互ニ争ハシムルト云フコトガ是ガ、即チ此案ガ左様ナ紛擾ヲ釀ス所ノ案ニ對シマシテ却ツテ平和ヲ破ル所ノ案デハナカラウカト思ヒマスルガ、司法當局ニ於テハ如何御認メニ相成リマスルカト云フガ第二ノ質問デアリマス、ソレカラ元來政府ニ於カレテハ、所謂本案ノ如キモノニ依ラナケレバ、何カ辯護士會ニ是ト云フ弊害ガアツテ、之ヲ救フニハ是ヨリ外ニ途ナキモノト政府ニ於テ御認メニナツテ居リマスカ否ヤト云フコトヲ第三ニ伺ヒタイ、ソレカラ第四ニハ現ニ承ル所ニ依リマスルト、今日辯護士法ニ付テ根本的ニ一ノ改正案ヲ今御調査申ニ相成

テ居ルヤウデゴザイマス、其御調查申ニ於キマシテカラ立派ナ法律ニナアウト云フサイ先キニ、僅カ昨年ノ五月ノ辯護士會ノ役員改選ニ於テ何カ縛レテ若手ニ支配サルルノハ甚ダ殘念ダト云フノデ此處ニ來タノデゴザイマスカラシテ、政府ニ於カレテハ此案ヲ暫ク中止セラレテ、宣シテ根本的ニ即チ何トカ方法ヲ講ゼラレル御考ヘデモゴザイマセウカト云フコトヲ伺ヒタイ、ソレカラモウ一ツ假リニ少壯辯護士ガ老成ナル辯護士ニ對シマシテ無禮ヲ働キ、或ハ禮ヲ失スルヤウナコトガゴザイマスルナラバ、辯護士會ハ如何ニモ自由デアリマシテ、行クモノハ追ハズ、來ル者ハ拒マズデアリマスカラ、嫌ナ人ハサッサト御逃ゲナサレテ、浦和ナリ、千葉ナリ、横濱ナリノ方ノ辯護士會ニ加入セラレテモ差支ナイ、私ノ見ル所ニ於キマシテハ斯ノ如キ案ハ唯徒ニ將來恢復スベカラザル紛争ノ種子ヲ播ク案ト考ヘテ居リマスルガ、政府當局ニ於テハ如何ナル考ヲ有ツテ居ラレルカ、相成ルベクハ御漏シヲ得タイト考ヘマス

〔政府委員山内確三郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(山内確三郎君) 唯今ノ礎部博士ノ御質問ニ御答へ致シマス、第一番ニ此法律ハ朝野ノ法曹ノ一致シタル意見ニ基イテ出來テ居ルト云フコトデアルガ、在朝法曹ト云フコトハ、多分判事或ハ檢事ト云フ事柄ダラウト思フ、判事ナリ、檢事ナリガ個人トシテ贊成ヲシタヤ否ヤ、是ハ私ハ承知ヲ致シマセヌ、勿論司法當局ニ正式ニ政府ニ對シテ此點ノ交渉ノアッタコトハ私ハ承知イタシマセヌ、ソレカラ第二ニ此法案ガ出タナラバ辯護士會ノ平和ヲ破ルモノデナイカ、ト云フ意見ヲ持ツテ居ナイカト云フ御話、帝國議會ノ權能ニ於テ法案ガ出ルト云フコトガ或ル團體ノ平和ヲ破ルトハ考ヘテ居ラヌ、ソレカラ其次ニ此外ニ何カ辯護士ノ平和ヲ維持スル方法ハナイカト云フ御話デアリマス、色々辯護士會ノ平和ヲ維持スル方法ハアリマセウ、唯今礎部サンノ言ハレルヤウナ極メテ平和ニ行ツテ居ル其方法ヲ續ケテ行ツタナラバ、矢張リ平和ガ維持サレルカモ知レヌ、私ハ果シテ今日辯護士會ニ紛擾アリヤ否ヤト云フコトハ調査シテ居リマセヌ、併ナガラ私ハ斯ウ云フ範圍内ニ於テハ聞イテ居ル、言ハレタコトガ違フカモ知レナイガ、要スルニ東京辯護士會ト云フモノハ非常ニ人數ガ多イノデ、正ニ二千人ニ垂ントシテ居ル、斯ノ如キ多數ノ辯護士會ヲ秩序能ク完全ニ維持シテ行クト云フコトハ困難デハアライカ、此點ダケニ付テ私ハ聞イテ居ル、紛擾論モ色々衆議院ニ出マシタケ

レドモ、私ハ紛擾ノコトハ假リニ耳ニシナイコトニシテ此法案ニ對シテハ意見ヲ述ベタイト云フコトヲ言フテ居リマス、サウ云フ次第デアリマスカラ、是ガドウシテ平和ヲ維持スルカ、否ヤト云フコトニ付テハ、何モ考ヘテ居ラヌ、ソレカラ中止ヲ望マザルヤト云フ御尋ネ、是ハ帝國議會ノ權能ニ於テ出サレタ法律案、政府ガ法律案ヲ出ス準備ガ整ハザルガ爲ニ、之ヲ理由トシテ法律案ノ議會ヲ通過スルコトニ付テ私ハ之ヲ止メルトカ、中止スルトカ云フ考ハ持タナイ、ソレカラ結局此案ハ良イカ、惡イカト云フ御尋ネノヤウデアリマス、政府ハ是ハ衆議院ニ於テモ申シマシタ通リニ、此案ニ對シテ敢テ反対スルト云フ考ハ持タナイ、併ナガラ司法省内ニハ、唯今磯部君ノ御話ノヤウニ辯護士法改正調査委員會ト云フモノガアリマス、ソレデ全體ノ辯護士法ヲ調查イタシテ居ル、此法案ガ議會デ問題ニナリマスルニ付テ、更ニ其委員會ハ不日會ヲ開イテ此問題ヲ議スルコトニナツテ居ル、反対スル考ハアリマセヌケレドモ、併ナガラ此委員會ノ調査ノ結果、審議ノ結果ガドウナルカト云フコトガ二三日ノ間ニ繋ツテ居ル、司法省ニ於テ確定シタル省議ヲ定メルニ付キマシテハ此委員會ノ決議ノ結果ヲ見タイト思ヒマス、從ツテ唯今此案ガ良イカ、惡イカト云フコトニ付テ確定シタル省議ヲ茲ニ發表スルコトハ暫ク留保イタシタイト思ヒマス、ドウゾ左様御承知ヲ願ヒタイ○磯部四郎君 唯今司法次官ノ御答ニ依リマシテ其意ヲ得マシタガ、私ガ御尋イタシマシタノハ、今日此辯護士會ニ弊ト稱セラレル所ノモノガアリト御認メニナツテ居リマスカ否ヤ、即チ見ルニ忍ビザル所ノ醜態ト云フモノガ今日ノ辯護士會ニアリヤ否ヤ、是ハ政府當局ノ御考ヲ煩スマデモナイ、サウ云フ事實ガ苟モ辯護士會ニアリヤ否ヤト云フ事柄ヲ認メテ居ラレルカ、之ヲ御尋シタイ、ソレカラ今一ツ在朝在野ト云フコトガ、是ハマア語ノ勢デゴザイマセウガ、蓋シ在野法曹ノ意見ガ一致セル所デアルト云フテゴザイマスガ、ソレハ私ヨリモ證據ヲ舉ゲマシタ通リ反対ガ大變ニ多イノデアリマスルガ、其事實ハ御認メニナリマセヌカ、ト云フコトダケラ御尋シタノデ、將來此案ニ付テ留保フナサル、サウシテ大體ノ法律案ガ出マシタ所デ緩ックリト審議ヲ經ラレル、勿論之ニハ異論ハアリマセヌケレドモ、現在ノ所デ少シク辯護士會ガ強ヒラレテ居ルト私ハ考ヘマス、現在ノ辯護士會ニ於テハ多數ノ勢ヲ以テ從來役員ヲ奪ツテ居ル、是ハ餘リ面白クナイ、若イ所ノ方々ハ先ヅ老成ナル先輩ニ讓ツテ自分ノ職務ニ就カレルノガ希望スベキコトデアリマスケレドモ、

權利ノ爭ニナリマシテ選舉ノ結果其地位ヲ占メラレタモノヲ、之ヲ今何トモスルコトガ出來ヌデゴザイマスカラ、私ノ希望イタシマスル所ハドウカ相成ルベクハ若イ方より善道ニ導カレタ方ガ當リ前デアル、ソレガ相互ニ紛争スルト云フ事柄ハ何ダカ少シクドウカ知ラント斯ウ考ヘマスカラ、其事實ヲ紛擾見ルニ忍ビザルモノガアルト云フコトハ御氣付キガアリマシタラ伺ヒタイ、在野法曹悉ク此案ニ一致シテ居ルト云フヤウナコトハ、果シテ司法省ニ於テ御認メニナツタノデアルカ、ソレダケヲチヨット御示シヲ下サレバ宜シウゴザイマス

## 〔政府委員山内確三郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(山内確三郎君) 在野法曹ガ皆一致シテ居ルカ否ヤト云フ其事實ハ、私ハ調査シテ居リマセヌカラ承知イタシマセヌ、又言フニ忍ビザル醜態ガ此東京辯護士會ノ中ニアルカト云フ御話デアリマスガ、言フニ忍ビザル醜態ダカ私ハ承知イタシマセヌ、要スルニサウ云フコトニ付テハ聞イタコトハアリマセヌ、知リマセヌノデアリマス  
○矢口長右衛門君 本員ハ唯今磯部君ノ御質疑ニ對シマシテ、別ニ提灯ヲ點ケルト云フ趣旨デハゴザイマセヌ、此事ニ付キマシテ僅カナル疑義ガゴザイマスルカラ、チヨット御尋イタシマス、私ハ本案提出ノ眞ノ意思ハドコニアルカト云フヤウナコトヲ私ハ問フ者デモゴザイマセヌ、而シテ此法案ガ提出サレマシテカラ、先刻磯部君ノ申サレタ如ク、東京辯護士會ニ於キマシテ一大紛擾ガ起ツタノデゴザイマス、而シテ此間反目、嫉視シテ居リマシテ、實ニ兄弟牆ニ闘クト云フヤウナ有様ニナツテ居ルノデゴザイマス、言フマデモナク、辯護士ハ社會ノ上層者デ、高等ナ智識ヲ有セラレル方デアリマス、若シ此間ニ於テ紛擾等ノアリマスコトハ實ニ由々シキ事柄デ、國家トシテモ實ニ是ハ捨テ置クベキコトデゴザイマセヌ、ダカラ斯ウ云フコトニ際シマシテハ、努メテ政府ニ於テモ慎重ノ態度ヲ以テ此事ニ當ルト云フコトガ、是ハ最モ緊要デアラウト本員ハ信ズルノデアリマス、デ先刻司法次官ノ御辯明中ニ本會ニ付テハ未ダ可否ハ決セヌ、サウ云フ御聲明デゴザイマスルカラ、本員モ聊カ意ヲ安ジマスケレドモ、丁度是ハ物ニ譬ヘレバ一家内ノ紛擾ノ如キモノデ、兄弟ノ論争ヲシテ居ル際ニ、唯其親タル者ガ一方ニバカリ偏シテ叱言ヲ云フヤウナコトハ甚ダ宜シクナイ、能ク其間ヲ調停スルノガ寧ロ親タル者ノ義務デアル、サウ云フ見地カラ申シマスレバ、政府ハ此際ニ於テ此問題

ニ付テハ暫ク慎重ノ態度ヲ執リ、何レトモ可否ト云フヤウナコトヲ決スルコトヲセラレズシテ、暫クハ形勢ヲ見テ居ルト云フノガ、是ハ最モ必要デアラト思フノデアル、先刻御言明ノ中ニサウ云フ御趣意ガゴザリマシタガ、本員ハ今少シク確然タル、サウ云フ御決心ヲ持ツテ戴キタイト思フノデアリマス、之ニ對シマシテ當局ハ如何ニ御考デゴザイマスルカ、今チヨットデ宜シウゴザイマスカラ御答ヲ願ヒマス

〔政府委員山内確三郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(山内確三郎君) 御答ヲ致シマスルガ、可否ノ問題ニ付テ、意見ハ唯今申シマシタ通リニ留保イタシテ置キマス、併ナガラ是ガ或時期ニ於テ可トスル意見ガ定マレバ、ソレハ可トスル意見ヲ言ヒ、否トスル意見ガ確定シタナラバ、否トスル意見ヲ言フ積リデアリマス、併ナガラ唯今御話ノヤウナ法曹ノ中ニ若シ紛擾アリトセバ、是ハ其紛擾ニ付テ當局モ責任ヲ以テ調和シタイト云フ考ノアルコトハ勿論デアリマス、此間ノ辯護士會ノ中ニ紛擾ガアルト云フヤウナコトハ新聞ニ出テ居ルノデ、監督ヲ嚴重ニ能ク其中ニ這入ツテ調査ヲ致シテ居ルノデアリマス、併ナガラ既ニ是ハ法律案トナッテ、衆議院ヲ出マシテ、サウシテ茲ニ貴族院ニ於テ議セラレル際ニ於テハ、ドコマデモ曖昧ノ態度ヲ執ツテ、調和的ノ態度ノミヲ執ツテ意見ヲ言ハナイト云フ譯ニハ行クマイト思ヒマス、可トスル場合ニハ可トスル意見ヲ申上ダヤウ、併ナガラ今ノ矢口サンノ御注意的ノ御質問ニ對シテ、私ハ敬意ヲ表スル積リデアリマス

○子爵板倉勝憲君 私チヨット政府委員ニ御尋ヲ致シマスガ、唯今司法次官ノ御話デハ辯護士會ノ紛擾ノコトハ能ク知ラヌト云フガ、辯護士會ノ會場ニ於テ紛擾ノ續イタコトハ、モウ私達ガ素人デアッテモ兩三年サウ云フコトノアッタコトヲ知ツテ居リマス、殊ニ今年ノ辯護士會ノ如キハ紛擾其度ヲ失シテ居ル、是ハ先キ磯部サンノ御話デゴザイマシタガ、口ガ多イノデ、ツイロデハ言ヘナイト云フヤウナ御話ガアッタガ、口ノ人ガツイ手ヲ用キタト云フコトハ新聞デモ傳ヘテ居ル事柄デ、私達モ知ツテ居リマス、之ヲ司法當局ハ知ラヌト言ハレルノハ私ハ甚ダ如何カト思フ、辯護士ハモウ二千人ニ垂ントシテ居ル、其間ニ紛擾ガアル、之ヲ會ヲ二ツニ分ケルトカ或ハ三ツニ分ケルトカ云フコトニナルノハ何等不都合ハ無イ、其點ヲ一つ司法當局者ニ伺ヒタイ、ソレカラ此案ハ此案ニ賛成ノ意味ヲ持ツテ居ル者デゴザイマスルカラ申上ダマスガ、

先程カラ此御話ノ通り其方ガ却ツテ圓満ニ行クト云フヤウナ考ヲ持ツテ居ルヤウデアリマスガ、之ニ對スル當局ノ御意見ハマダ可トモ否トモ言ハヌト云フヤウナ曖昧ナ御回答デゴザイマスカ、何レ辯護士法ト云ノモノヲ改正ニナリマセウケレドモ、是ハ二年ノ後ニナルヤラ、三年ノ後ノ末ニナルヤラ、ソレハ分リマセヌケレドモ、先づ當初ノ内ニ今度ノ改正案ノ如キモノモ通過シタ方ガ却ツテ辯護士會ノ紛擾ヲ緩和スルト云フ意味ニナリハセヌカ、此二點ニ付テ司法當局ノ御意見ヲ伺ヒタイ

〔政府委員山内確三郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(山内確三郎君) 御答ヲ致シマスガ、年々辯護士會ニ或ハ紛擾ガアルトカ、或ハ議論ガ嵩マッテ結局議論以上ノコトニナル、或ハ此間非常ナ紛擾ガアッタノデ、新聞ニ載ツテ居ッタ云フコトモ噂ノアルト云フコトハ私個人トシテ知ツテ居リマス、併シソレハ個人トシテ知ツテ居ルノデアリマシテ、當局トシテマダ責任ヲ以テ調査シテ居ラヌノデアリマス、司法當局ニ聽力レタ時ニ、責任ヲ以テサウ云フ事實アリト斷言スルコトハ出來マセヌ、新聞ノ記事ハ私讀ミマシタ、ソレカラ私ガ今日マダ意見ヲ留保スルト云フノモ、辯護士法ノ全部ノ改正ヲ終ルマデ意見ヲ留保スルト云フ考デハナイノデアリマス、辯護士法ノ全部ノ改正モ甚年ナラズシテ提案ノ運ビニ至ルダラウトハ考ヘテ居リマス、併ナガラ此問題ガ起ツタニ付テ辯護士法改正調査委員ハ特ニ此問題ニ付テ今審議ヲスルト云フコトニナッテ居ル、ソレガ此十四日ニ會議ヲスルト云フコトデアリマス、ソコデ此辯護士法ノ問題ニ付キマシテハ特ニ辯護士法改正調査委員會ト云フモノヲ作リマシテ、朝野ノ法曹及ビ行政裁判所ノ評定官等モ委員トシテ今審査イタシテ居ルノデアリマス、此機關ニ敬意ヲ表スル考ニ於キマシテ、機關ヲ差措イテ、未ダ機關ガ決定ヲセザル場合ニ可トカ否トカ言フノハ、少シ私ハ避ケタイト思フ、勿論私個人トシテハ意見ガアルノデアリマス、個人ノ意見ハ茲ニ言フ限デハナイノデアリマス、當局ガマダ省議ヲ決定スルニ至ラザル事由ハサウ云フ所ニアルコトヲ御了承ヲ願ヒタイノデアリマス、勿論初カラモ申シマシタ通リニ、此案ニ反對スルト云フ考ヲ今持ツテ居ナイ、是ハ今申上ゲテモ宣イノデアリマス

○子爵板倉勝憲君 モウ一應唯一點ダケ伺ヒマスガ、此間ノ辯護士會ノ紛擾ニ對シテ司法當局ハ唯新聞デ見タダケデ、當局トシテ調査シタト云フコトハ言ハナイノデアリマスガ、アレハモウ昨日ヤ一昨日ノ話デハナイノデアリ

マス、其御調ト云フモノガ……兎ニ角辯護士會ノ紛擾ト云フコトガ一月モ二月モ前ノコトデアルノニ、マダ今日マデ司法當局デ其事實ヲ御調べニナラヌ、マダ能ク分ラヌ、アレハ新聞ヲ唯見タダケダト云フコトニナルト、二月モ以上ノ前ノ辯護士會ノ有様ノコトハイツ當局ハ御調べニナルノカ、是ハ期限ハ付シテハゴザイマスマイガ、餘リニ緩漫ナ御話デハナイカ、是ハ昨日辯護士會ノ紛擾ガアッタ、一昨日アッタト云フコトデアレバ、是ハマダ能ク知ラナイ、唯新聞ヲ見タダケデアルカラ、當局トシテ責任アル答辯ハ出來ヌト云フノハ御尤デアリマス、餘程期限ガモウ長クナッテ、或ハ黴ガ生ヘテ居ル次第デアルト思フ、ソレニマダ調べナイ、責任ヲ以テ何トモ言ヘヌト云フコトハ、私少シ了解シ兼ネマスガ、此點ヲ一應質問ヲ致シマス

## 〔政府委員山内確三郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(山内確三郎君) 御答ヘ致シマスガ、私ハサツキマダ調査ヲ致シテナイ、新聞デ見タト申シマシタノハ、ツイ此間ノコトデアル、ソレハ辯護士會ノ決議ニモ影響スル事柄デアル、新聞ノ報ズル所ニ依レバ二様ノ決議ガ出テ居ル、ソコテ其點ニ付キマシテハ、監督官廳ニ於テ調査ヲ致シテ居ル、併ナガラ未ダ報告ニハ接シナイコトデアル、ズット古イコト等ニ付キマシテハ、司法省ノ紛擾報告ト云フモノノアルノヲ見ナイノデアリマス、私ハツイ此頃此政府ノ司法當局ニナツタノデアリマシテ、承知スル所ガ甚ダ少イ

○議長(公爵徳川家達君) 他ニ御質疑モナイト存ジマスルカラ、特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

## 〔瀬古書記官朗讀〕

## 辯護士法中改正法律案特別委員

伯爵堀田 正恒君	子爵板倉 勝憲君	松 室 致君
男爵太秦 供康君	男爵毛利 五郎君	木内 重四郎君
伊澤 多喜男君	竹村與右衛門君	花井 卓藏君

○議長(公爵徳川家達君) 次ノ議事日程ハ本院彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本日ハ是ニテ散會イタシマス

午後四時十三分散會